

平成30年度

足立区立元洲江公園・生物園 指定管理業務

年度業務報告書

指定管理者

体験型いきものパークマネジメント

東京都立川市錦町2-1-22

代表 株式会社自然教育研究センター

代表取締役 税所 功一 印

平成30年度 元洲江公園・生物園  
指定管理業務 報告書

目 次

第一章 利用促進・教育普及業務

I 長期方針と平成30年度の活動

1.長期方針	1
2.今年度の活動	2
(1) 重点的取り組み	
(2) 平成30年度の数値目標	
(3) 業務実施計画	
(4) 行事計画	

II 受付業務

1.受付窓口	9
(1) 年間入園者数の月別推移とその傾向	
(2) 入園料収入	
(3) インフォメーションの対応実績	
(4) 来園者の声	
2. ミュージアムショップの利用状況と売上実績	20
(1) 利用状況	
(2) 販売状況	
(3) 商品展開	
3. 利用促進のための取り組み	24
(1) 生物園スタンプキャンペーン	
(2) 生物園・東武動物公園「年パス所持者特典相互減免キャンペーン」	
(3) お年玉くじキャンペーン	
(4) 25周年感謝デー	
(5) わんぱく相撲への協賛	

III 展示解説業務

1. 展示解説実施および対応実績	27
2. 夜間特別開園の実施	33
(1) ホタルの夕べ夜間特別開園	
(2) 光の祭典夜間特別開園	
3. 自主事業の実施	34
(1) 特別イベント	
(2) ふれあいプログラム	
(3) 導入型プログラム	
(4) 発展型プログラム	

4. 区民協働活動の推進・支援	38
(1) 昆虫飼育ボランティア	
(2) 生きものふれあいボランティア	
(3) 公園花壇ボランティア	
5. 団体対応	39
(1) 団体プログラム	
(2) 出張授業	
(3) 教職員向け講座	
(4) 教員課程大学生向け講座	
(5) 実習対応	
6. 展示による解説	43
(1) 常設展	
(2) 特別展・企画展	
7. 印刷物による解説	45
(1) セルフガイド	
(2) ニュースレター	
8. 連携事業	47
(1) 元湊江公園・生物園利用促進協議会	
(2) 地元企業との連携	
(3) プログラム連携	

#### IV 広報活動

1. メディア対応と掲載・放映の実績	51
(1) メディアへの情報発信	
(2) 掲載・放映実績	
2. ホームページによる情報発信	53
(1) ホームページアクセス数	
(2) SNSの運用	
3. ポスター・チラシ等による情報発信	55
(1) ポスター	
(2) ニュースレター	
(3) チラシ	
(4) 中吊り広告	
4. その他の情報発信	59
(1) 幼稚園・保育園・その他児童施設や介護施設へのFAX配信	
(2) J:COM デイリーニュースとのコラボレーション	

## 第二章 生物飼育業務

### I 生物飼育業務

1. 平成30年度の飼育状況	61
(1) 昆虫類	

(2) 両生爬虫類	
(3) 水族	
(4) 鳥類哺乳類	
2. 各飼育区分の飼育種数および頭数のリスト	62
(1) チョウ類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(2) 水生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(4) 両生爬虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(5) 水族の年間飼育種数および頭数のリスト	
(6) 鳥類・哺乳類の年間飼育種数および頭数のリスト	
3. 特記事項	71
(1) チョウ類の月別放蝶実績	
(2) ホタルの飼育展示実績	
(3) 「ホタルのタベ」の実現	
(4) フサヒゲリカミキリの生息域外保全モデル事業について	
(5) 観察展示室「ジャングルの世界」の改修	
(6) ピラルクーの成長実績	
(7) コモンリスザルのオス個体導入	
(8) オオカンガルーのメス個体導入	
(9) 干支の生きものとの記念撮影	

### 第三章 施設維持管理業務

I 元渚江公園の維持管理業務	
1. 公園管理上の留意事項	75
2. 公園維持管理業務の主な内容	75
3. 平成 30 年度施設管理業務実施報告（元渚江公園）	78
4. 公園維持管理作業の様子	79
II 生物園の維持管理業務	
1. 生物園維持管理業務の内容	85
2. 平成 30 年度施設管理業務実施報告（生物園）	86
3. 生物園維持管理作業の様子	87

# 第一章 利用促進・教育普及業務

## I 長期方針と平成30年度の活動

### 1. 長期方針

『体験型いきものパーク』実現に向けて4つの機能を充実させます

本共同体は、指定管理業務期間である5年間の中で、元淵江公園および、生物園に『レクリエーションの場としての機能』、『環境学習の拠点としての機能』、『自然科学博物館としての機能』、『生物多様性保全の拠点としての機能』を位置づけ、『体験型いきものパーク』の実現を目指していきます。



## 2. 今年度の活動

### (1) 重点的取り組み

今年度は、11年ぶりに昆虫ドームでの「ホタルの夕べ」を復活させること、また、生物園設立25周年を周知することで、区民の皆様にあらためて「生物園の歴史」と「生物園への愛着」を感じていただき、利用促進につなげることを目指していきます。

#### ① 自主事業の拡充・新企画

##### ● 「ホタルの夕べ」復活（6/7～6/10開催）

平成20年度より「ホタル見night!」と題して実施してきたゲンジボタルの屋内観賞会をやめ、11年ぶりに屋外観賞会「ホタルの夕べ」を復活させます。



##### ● 生物園開園25周年記念感謝デーの開催（9/30開催）

平成5年10月2日に開園した生物園は、今年で25周年を迎えます。そこで、日頃の感謝の気持ちを込めて「感謝デー」当日は来園者全員を無料とし、式典、移動動物園（東武動物公園）、太鼓の演奏（都立淵江高校）などを企画しています

#### ② 連携事業の拡充

本共同体のメリットを活かし、地域との連携をさらに強化し、「区民協働・共創」の推進に努めたいと考えています。また、都市農業公園や桑袋ビオトープ公園、荒川ピシターセンターとの連携を「あだち自然の遊び場プロジェクト」と題し強化していきます。さらに、東武グループのネットワークを生かし広報活動にもさらに力を入れていきたいと考えています。

##### ● 元淵江公園・生物園 利用促進協議会

当初より計画していた利用促進協議会の3つの研究会が全て立ち上がり、「区民との協働・共創」に向けて基盤ができたと考えます。既に15回の開催実績のある「お土産研究会」においては、オリジナル商品の開発やワークショップの実施を加速させ、研究会のさらなる発展を目指していきます。また、教育利用研究会では「教育現場に本当に望まれる生物園」をテーマに、メンバーになっていただいている教員の皆様と共に団体向けプログラムの開発と実践に努めていきます。さらに、今年度立ち上げた地域連携研究会においては、「地域と生物園の連携のあり方」を地元の皆様と共に模索、試行していきたくと考えています。



- 都市農業公園との連携

飼育動物の糞を都市農業公園で堆肥に活用し、都市農業公園で売れ残った野菜を飼育動物のエサとして活用することで資源循環を目指します。また、プログラムや広報活動においても相互協力を積極的に行っていきます。

- 東武グループとの連携

東武鉄道に協力を仰ぎ、竹ノ塚駅を始めとする東武線主要駅に生物園の PR コーナーを設置できるように努めます。また、東武動物公園とは引き続き、獣医の往診や移動動物園、年パス相互減免キャンペーンなどで連携していく予定です。

### ③ PRの拡大

さらなる生物園、元洲江公園の発展・活性化および、来園者増につながる事業として、以下のような取り組みをしていきたいと考えています。

- 団体利用のさらなる促進

平成 29 年度から実施している介護団体・保育園・幼稚園への「見どころ情報」の配信を拡張していきます。昨年度は、過去に生物園を利用したことのある団体を対象として情報配信をしてきましたが、まだ利用歴のない団体を精査し、そこに向けて誘致を進めていきたいと思ひます。



- マスメディアへの情報発信の強化

現在、毎月生物園のプログラムを配信しているメディアは全 15 社になり、主に区内の情報誌や住区センターなどが対象になっています。さらなる PR のために、今年はメディアに向けた発信を強化し広報媒体を増やしていきたいと考えています。特に、「ホテルのタベ」や「わんフェス」のような大型イベントに関しては、TV 局なども視野に情報配信をしていきます。

- 東武鉄道を利用した PR

東武鉄道に協力を仰ぎ、足立区内の東武線全駅で常設の PR スペースを設置できるように努めます。



- 公共性・公益性の高い催事や活動への協賛

わんぱく相撲足立区大会などの催しに積極的に協賛（無料入園券の提供など）することで、生物園の認知度の向上と社会貢献に努めます。

#### ④ 展示の充実

- オーストラリアドーム・小牧場・ふれあいコーナーのリニューアルプラン策定  
オーストラリアドーム、小牧場、ふれあいコーナーの一体的なリニューアルプランを策定し、動物福祉の観点から展示の質の向上を図り、また、利用者の利便性につなげたいと考えています。

#### ⑤ 動物の新規導入

- ミニブタ（ポットベリー）

最近、ペットとして飼うことが注目されているミニブタ。たいへん賢く、知能は犬より高いとも言われています。見ているだけで癒され、来園者を楽しませてくれる魅力を持っています。ミニブタの品種で代表的なポットベリーは平均約 50kg になるといわれています。

- ミズオオトカゲ

東南アジアに生息している大型のトカゲで、最大全長は 2.5m にもなります。ミズオオトカゲという名前の通り、森林の高温多湿の水辺を好み、泳ぎが得意で潜水して魚や両生類などを捕食します。細身の体で、褐色の体色に黄色の斑点模様が美しく、魅力的です。

- フサヒゲルリカミキリ

草原性のカミキリムシで国のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。かつては北海道南西部と本州の各地に生息地がありましたが、現在は長野県と岡山県のみです。平成 30 年度から環境省の生息域外保全モデル事業の対象種に指定されたため、保護増殖の知見収集を行うべく新規導入を決めました。

### (2) 平成 30 年度の数値目標

- ① 目標入園者数：200,000人 → 210,000人

本共同体は指定管理期間である5年間で入園者数を20万人まで増加させることを目標としていました。それを平成 28 年度に既にも実現させることができているため、今年度は目標を 21 万人に上方修正します。

② 生物園目標収入額：34,250,000円

安定的な生物園の運営を可能にするため、入園料収入の増収により収入（指定管理料を除く）を前年度比+50万円を目標収入額とします

収支区分	内容	金額(単位:千円)	備考
その他の収入	入園料	23,000	
	ミュージアムショップ	8,000	
	生物のエサ販売等	1,500	
	金魚すくい等	700	
	その他の有料プログラム	1,000	
	自販機電気料金等	50	
合計		34,250	

③ ミュージアムショップ目標収入額：8,000,000円

ミュージアムショップは生物園運営上、重要な収入源です。利用者ニーズを汲み取り、魅力的かつ、生物園らしい環境教育に資する商品を充実させることで、収入目標額の維持を目指します。

④ 目標年間対応率：100%以上

来園される全ての方に生物園の魅力を伝え、生物や生命の尊さに気付いてもらうため、解説員や飼育員などによる対応をできるかぎり行えるよう努力していきたいと考えています。そこで、総入園者数に対する延べ対応者数の割合が100%を超えることを目標とします。なお、対応者数としてカウントするのは下記の通りです。

インフォメーション: 受付での「見どころ紹介」「イベント案内」「展示案内」など

レンジャートーク: 解説員による「生物解説」「質問対応」「展示解説」など

プログラム: 対象者のレベルに応じて「導入型」「発展型」「セルフ」など

⑤ 発展型プログラムの目標応募率：120%以上

発展型プログラムは、あらかじめそのテーマに関心を持った方を対象に、より高度な内容で実施するため、募集形式を事前申込にしています。そのため応募状況がそのプログラムの人気（ニーズ）のひとつの目安となります。そこで、定員に対する応募者数の割合を応募率とし、それが120%を超えるよう、タイトルや内容、広報などを工夫していきます。

⑥ 導入型プログラムの目標参加率：100%

気軽に参加でき、生物や生命に関心を持つきっかけとなるよう、導入型プログラムは当日申込の形式をとっています。休日には、このプログラムの参加を目的に来園される

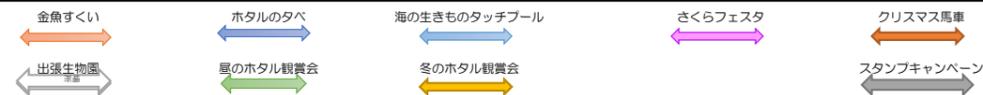
方も多くいます。

天候などに影響を受けることもありますが、プログラムのニーズの目安として、定員に対する参加者数の割合を参加率とし、それが100%に達するよう努力します。



(4) 平成 30 年度行事計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日 公園ツアー	火 休園日	金	1 日 公園ツアー	水	土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ Dream night at 生物園	1 月 都民の日	木	土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ	1 火 年末年始休暇	金	金
2	月	水 ちびっこプログラム	土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ	2 月 休園日	木	日 公園ツアー	2 火 休園日	金	日 公園ツアー	2 水	土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ	土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ
3	火	木 憲法記念日 はじめての飼育ダンゴムシ	日 公園ツアー 海で生きものとり	3 火	金	月 休園日	3 水 ちびっこプログラム	土 文化の日 ヒツジのショー 飼育員のオススメ わんフェス	月 休園日	3 木	日 公園ツアー ポニー	日 公園ツアー ひな壇と記念撮影
4	水	金 みどりの日 折り紙で生きものをつくろう	月 休園日	4 水 ちびっこプログラム	土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ	火	4 木	日 公園ツアー	火	4 金	月 休園日	月 休園日
5	木	土 こどもの日 ヒツジのショー 飼育員のオススメ レザークラフト	火	5 木	日 公園ツアー	水 ちびっこプログラム	5 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	5 土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ	火	火
6	金 抹茶	日 公園ツアー レザークラフト	水 ちびっこプログラム	6 金	月	木	6 土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ	火	木	6 日 公園ツアー こどもクイズ王	水 ちびっこプログラム	水 ちびっこプログラム
7	土 ヒツジのショー・飼育員 寄せ植え教室・花卉販売 抹茶・コンサート	月 休園日	木	7 土 ヒツジのショー 飼育員のオススメ	火	金	7 日 公園ツアー	水 ちびっこプログラム	金	7 月	木	木
8	日 うらがわ探検ツアー 寄せ植え教室・花卉販売 抹茶	火	金	8 日 うらがわ探検ツアー	水	土 生きものガイド 鳴くstright!	8 月 体育の日	木	土 生きものガイド キャンドルづくり	8 火	金	金
9	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	9 月 休園日	木	日 うらがわ探検ツアー	9 火 休園日	金	日 うらがわ探検ツアー キャンドルづくり	9 水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	土 生きものガイド
10	火	木	日 うらがわ探検ツアー	10 火	金	月 休園日	10 水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	月 休園日	10 木	日 うらがわ探検ツアー	日 うらがわ探検ツアー
11	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日 あだち部屋再開	11 水 ちびっこプログラム	土 山の日 生きものガイド キャンドルづくり	火	11 木	日 うらがわ探検ツアー	火	11 金	月 建国記念の日 ひれあい教室	月 休園日
12	木	土 生きものガイド	火	12 木	日 うらがわ探検ツアー キャンドルづくり	水 ちびっこプログラム	12 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	12 土 生きものガイド	火 休園日	火
13	金	日 うらがわ探検ツアー ヒツジの毛で作り 家族で作り教室	水 ちびっこプログラム	13 金	月	木	13 土 生きものガイド	火	木	13 日 うらがわ探検ツアー 昆虫ドームみどころ	水 ちびっこプログラム	水 ちびっこプログラム
14	土 生きものガイド	月 休園日	木	14 土 生きものガイド	火	金	14 日 うらがわ探検ツアー 昆虫ドームのみどころ 家族で作り教室	水 増玉県民の日 ちびっこプログラム	金	14 月 成人の日 うちの日(仮)	木	木
15	日 ニシキ撮影 チョウの飼育体験	火	金	15 日 ニシキ撮影 チョウの飼育体験	水	土 無料開園日	15 月 休園日	木	土 無料開園日	15 火 休園日	金	金
16	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土 無料開園日	16 月 休園日	日 海の日 カブトムシを育てよう①	木	16 火	金	日 ニシキ撮影 らんちゅう倶楽部 チョウの飼育体験	16 水 ちびっこプログラム	土 無料開園日	土 無料開園日
17	火	木	日 ニシキ撮影 チョウの飼育体験	17 火 休園日	金	月 敬老の日 自然体験デー?	17 水 ちびっこプログラム	土 無料開園日	月 休園日	17 木	日 ニシキ撮影 チョウの飼育体験 ポニー乗馬	日 ニシキ撮影 チョウの飼育体験
18	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日	18 水 ちびっこプログラム	土 無料開園日	火 休園日	18 木	日 ニシキ撮影 チョウの飼育体験	火	18 金	月 休園日	月 休園日
19	木	土 無料開園日	火	19 木	日 ニシキ撮影 標本教室 チョウの飼育体験 らんちゅう倶楽部	水 ちびっこプログラム	19 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	19 土 無料開園日	火	火
20	金	日 ニシキ撮影 チョウの飼育体験	水 ちびっこプログラム	20 金	月	木	20 土 無料開園日	火	木	20 日 ニシキ撮影 チョウの飼育体験	水 ちびっこプログラム	水 ちびっこプログラム
21	土 無料開園日	月 休園日	木	21 土 無料開園日 あだち部屋再開	火	金	21 日 ニシキ撮影 らんちゅう倶楽部 チョウの飼育体験	水 ちびっこプログラム	金	21 月 休園日	木	木 春分の日 サメの解剖(仮)
22	日 園長ガイド らんちゅう倶楽部	火	金	22 日 園長ガイド カブトムシを育てよう②	水	土 生きものガイド	22 月 休園日	木	土 生きものガイド クリスマスプレゼント	22 火	金	金
23	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	23 月	木	日 園長ガイド	23 火	金 勤労感謝の日 こども飼育員	日 園長ガイド	23 水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	土 生きものガイド
24	火	木	日 園長ガイド 移動動物園(仮)	24 火	金 生物園に泊まる	月 休園日	24 水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	月 天皇誕生日(振替)	24 木	日 園長ガイド 移動動物園	日 園長ガイド
25	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日	25 水	土 生きものガイド 夜のカエル観察会	火 休園日	25 木	日 園長ガイド	火 休園日 夜猫のみ開園?	25 金	月 休園日	月 休園日
26	木	土 生きものガイド	火	26 木	日 園長ガイド	水 ちびっこプログラム	26 金	月 休園日	水	26 土 生きものガイド	火	火
27	金	日 園長ガイド ヒツジの毛でクラフト	水 ちびっこプログラム	27 金	月	木	27 土 生きものガイド	火	木	27 日 園長ガイド	水 ちびっこプログラム	水
28	土 生きものガイド	月 休園日	木	28 土 生きものガイド UMAイベント(夜間)	火	金	28 日 園長ガイド ポニー乗馬	水 ちびっこプログラム	金	28 月 休園日	木	木
29	日 昆虫ドームのみどころ	火	金	29 日 昆虫ドームのみどころ セミの羽化観察会	水	土 金魚鑑賞の極意	29 月 休園日	木	土 年末年始休暇	29 火	土 年末年始休暇	土
30	月 昭和の日(振替)	水 ちびっこプログラム	土	30 月	木	日 生物園25周年イベント 移動動物園(仮)	30 火	金	日 年末年始休暇	30 水 ちびっこプログラム	土	土 コンサート(仮)
31	木	金	月	31 火	水	土	31 水 ちびっこプログラム	日 年末年始休暇	31 木	日 木のお医者さん(仮)	土	土



## II 受付業務

### 1. 受付窓口

#### (1) 年間入園者数の月別推移とその傾向

今年度の生物園総入園者数は221,123人(月平均18,427人)、平成28年度比106.0%でした。月別来園者数推移を分析すると、今年度は4月、6月、9月、10月に大幅な来園者増を実現できた反面、7月に大きく来園者数を減らす結果となりました。増減要因は以下のとおりです。

4月：メディア効果(広報・TV等)

6月：「ホテルの夕べ」の復活

7月：気象庁が「災害的な猛暑」と発表。外出を控える傾向にあった。

9月：「開園25周年感謝デー」の広報・開催効果

10月：団体誘致の強化

平成30年度 生物園入園状況一覧表

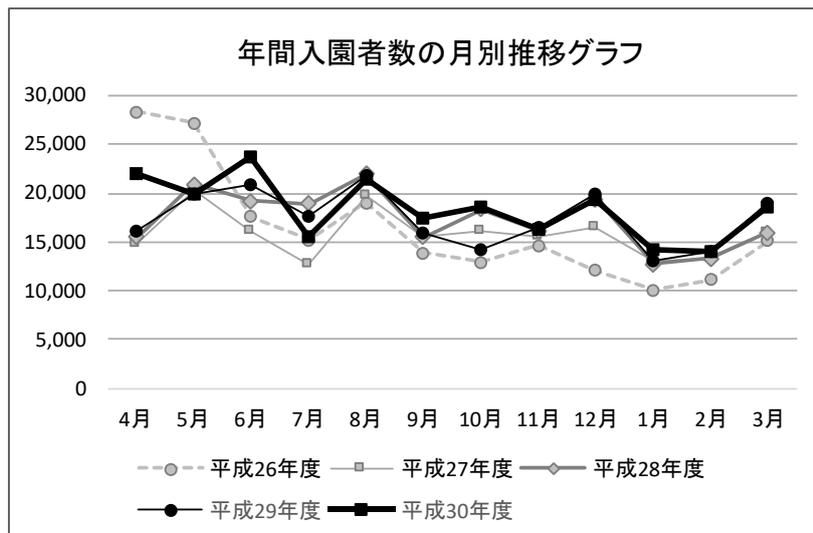
(単位：人)

月	有料入園										無料入園										総入園者数(A+B)					
	一般料金				団体料金		人数合計(A)				入園料免除					パスポート入園								人数合計(B)		
	一日券		パスポート購入		大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	申請書	幼児	高齢	身障		大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人	合計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人	幼児	高齢	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人
4	7,443	2,607	223	99	111	3	7,777	2,709	10,486	897	719	6,224	487	672	108	1,819	532	3,875	7,583	11,458	11,652	10,292	21,944			
5	6,670	1,878	220	77	132	0	7,022	1,955	8,977	1,029	448	6,433	368	621	79	1,616	331	3,634	7,291	10,925	10,656	9,246	19,902			
6	8,800	1,990	226	71	177	14	9,203	2,075	11,278	815	1,046	7,094	559	552	80	1,838	361	3,764	8,581	12,345	12,967	10,656	23,623			
7	4,584	1,431	202	80	0	28	4,786	1,539	6,325	619	521	5,195	290	369	129	1,636	380	2,914	6,225	9,139	7,700	7,764	15,464			
8	7,225	2,930	209	70	12	10	7,446	3,010	10,456	898	556	6,499	371	547	103	1,556	517	3,372	7,675	11,047	10,818	10,685	21,503			
9	5,106	1,229	160	38	0	0	5,266	1,267	6,533	1,561	1,213	5,615	354	421	88	1,390	289	3,726	7,205	10,931	8,992	8,472	17,464			
10	4,611	1,251	180	42	104	31	4,895	1,324	6,219	1,237	1,697	6,506	411	417	101	1,634	296	3,699	8,600	12,299	8,594	9,924	18,518			
11	4,487	1,065	151	19	32	10	4,670	1,094	5,764	963	1,369	5,759	409	375	78	1,422	192	3,169	7,398	10,567	7,839	8,492	16,331			
12	6,539	2,017	188	28	11	10	6,738	2,055	8,793	1,211	639	5,563	583	665	105	1,633	229	4,092	6,536	10,628	10,830	8,591	19,421			
1	4,777	1,001	227	30	5	20	5,009	1,051	6,060	491	375	4,914	366	335	78	1,465	194	2,657	5,561	8,218	7,666	6,612	14,278			
2	4,175	832	191	28	0	0	4,366	860	5,226	807	188	5,378	295	289	71	1,544	244	2,935	5,881	8,816	7,301	6,741	14,042			
3	5,685	1,559	197	40	23	0	5,905	1,599	7,504	1,018	311	6,800	489	467	90	1,621	333	3,595	7,534	11,129	9,500	9,133	18,633			
計	70,102	19,790	2,374	622	607	126	73,083	20,538	93,621	11,546	9,082	71,980	4,982	5,730	1,110	19,174	3,898	41,432	86,070	127,502	114,515	106,608	221,123			

平成30年度と過去4年間の月別入園者数推移の比較

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成26年度	28,313	27,196	17,612	15,180	19,051	13,846	12,913	14,649	12,097	10,059	11,103	15,115	197,134
(26年度累計)	28,313	55,509	73,121	88,301	107,352	121,198	134,111	148,760	160,857	170,916	182,019	197,134	
平成27年度	14,727	20,362	16,024	12,676	19,628	15,519	16,076	15,528	16,524	13,034	13,189	15,994	189,281
(27年度累計)	14,727	35,089	51,113	63,789	83,417	98,936	115,012	130,540	147,064	160,098	173,287	189,281	
平成28年度	15,502	20,895	19,175	18,925	21,944	15,484	18,341	16,166	19,402	12,753	13,303	15,960	207,850
(28年度累計)	15,502	36,397	55,572	74,497	96,441	111,925	130,266	146,432	165,834	178,587	191,890	207,850	
平成29年度	16,109	19,961	20,814	17,686	21,761	15,922	14,118	16,420	19,886	13,006	13,939	18,914	208,536
(29年度累計)	16,109	36,070	56,884	74,570	96,331	112,253	126,371	142,791	162,677	175,683	189,622	208,536	
平成30年度	21,944	19,902	23,623	15,464	21,503	17,464	18,518	16,331	19,421	14,278	14,042	18,633	221,123
(30年度累計)	21,944	41,846	65,469	80,933	102,436	119,900	138,418	154,749	174,170	188,448	202,490	221,123	
前年同月比%	136.2	99.7	113.4	87.4	98.8	109.6	131.1	99.4	97.6	109.7	100.7	98.5	
前年同月累計比%	136.2	116.0	115.0	108.5	106.3	106.8	109.5	108.3	107.0	107.2	106.7	106.0	



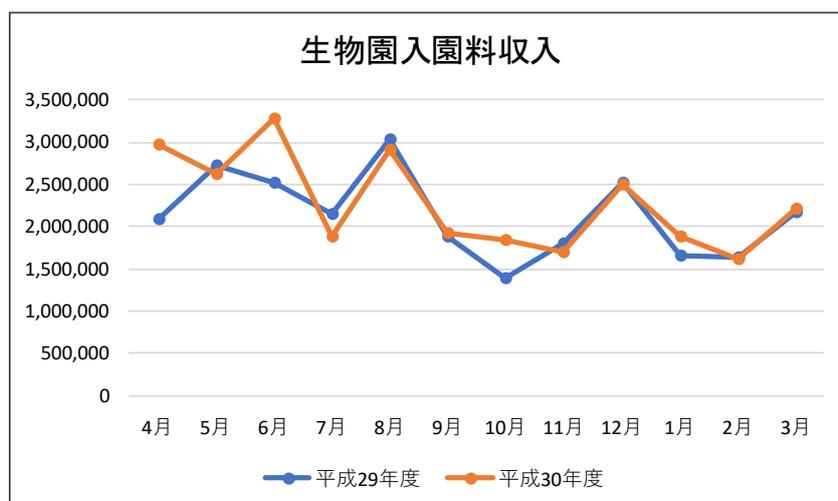
## (2) 入園料収入

今年度の生物園の入園料収入は 27,355,100 円で、昨年度比+1,762,600 円(106.9%) となりました。入園料収入の月別推移は、入園者数の月別推移と比例しており4月、6月、10月に昨年度の実績を大きく上回っています。

### 平成 30 年度と平成 29 年度の入園料収入の比較

(単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度	2,087,700	2,735,050	2,519,650	2,148,600	3,042,700	1,889,550	1,381,700	1,794,250	2,514,600	1,664,250	1,647,300	2,167,150	25,592,500
平成30年度	2,973,450	2,619,300	3,289,100	1,883,050	2,903,200	1,930,950	1,836,050	1,705,850	2,509,850	1,876,650	1,623,300	2,204,350	27,355,100



### (3) インフォメーションの対応実績

受付では入園券の受け取りや年間パスポート作成の他に、来園者に対して、利用やイベント、展示情報などニーズに合わせた適切な情報提供も行っています。今年度受付で対応したインフォメーションの実績は、年間 142,461 回、146,191 人になりました。

生物園の入り口に位置する受付は、来園者にとって最も生物園の印象を受けやすい場のひとつとなります。そのため「元気に笑顔で…」をモットーに積極的な接客対応を心がけました。

また、受付窓口や解説員は、利用者との会話の中でニーズや不満を聞き取る場面が多くあります。これらの声を聞き漏らさず、ホスピタリティの精神をもって敏感に吸い上げることは、利用しやすい生物園の実現のため重要となります。そこで、利用者の意見が聞かれた場合、随時「お客様の声記録簿」を作成し、スタッフ間での情報共有と区への報告、対応策の検討に役立てました。

#### 平成 30 年度インフォメーション対応実績

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	15,883	12,932	15,771	9,939	14,122	11,314	10,495	9,957	12,023	9,671	8,770	11,584	142,461
大人	9,291	7,486	9,528	5,396	7,666	6,336	5,251	5,271	7,806	5,350	4,705	6,574	80,660
子ども	7,144	5,513	6,459	4,856	6,902	5,448	5,892	5,109	4,747	4,282	4,078	5,101	65,531
計	16,435	12,999	15,987	10,252	14,568	11,784	11,143	10,380	12,553	9,632	8,783	11,675	146,191

### (4) 来園者の声

ご来園下さるみなさまが満足していただけるように、寄せられた要望は真摯に受け止め、よりよいサービスを提供できるように心がけた対応を行なっています。

月例会議にてこれらの声を、区へ報告・提案し、改善へつなげることで、来園者へのサービス向上に努めました。会議で取り上げた1年間のお客様の声を以下の表にまとめました。

#### ポジティブなご意見

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	スタッフ、生物たちが生き活きとされ、大変すばらしく思いました。ありがとうございます。				済
	20年前来た時以来の来園です。懐かしく、新しく、楽しかったです。	50歳	女性		済
	すごく楽しかった。チンチラが展示されているのでテンションが上がった。チョウの放し飼いや良かった。	24歳	女性		済
5月	【メール】先日、足立区役所のイベントで昆虫担当の方にカブトムシの幼虫の育て方を詳しく教えていただいた者です。2匹いるうちの1匹が本日無事に脱皮しました！女の子でした。色々教えていただきありがとうございますとお伝えください。				済
	【アンケート】ウンチのハガキ作りやりたいです！	20歳	女性		済
	【受付にて口頭】久しぶりに来たらずいぶん変わっていた。展示もキレイになっていて見違えた。これからはもっと来たいと思う。癒された。				済

	ホテルの褒詞多数				済
6月	【アンケート】まさるくんがいつもたのしくて良くてくれます。毎日とても楽しいです。他のスタッフの方も皆優しく生物園大好きです。	26歳	女性		済
	【アンケート】イベントが30分キザみくらいであって何度も来たいと思った。(飽きない)	36歳	女性		済
	【アンケート】ウォータークーラーの水質検査されていて安心しました。掃除が行き届いて(中も外も)気持ちよかったです。	35歳	女性		済
7月	ぼくは生物園に来て、とても生きもののことを知れました。また色々な生きものに会うために生物園に行きたいです。	5歳	男性		済
	展示の全てが工夫されていて本当に素晴らしかったです。特にチョウには感動しました。	71歳	女性		済
8月	300円でこれだけ見られてすごいと思いました。(1,500円くらいでも納得です)	30代	男性		済
	夏休み毎日やって頂いて助かります！				済
	ガのエサやりの方法を詳しく教えていただきました。ヤマユも見せてくださりありがとうございました！子どもがずっと憧れていたガでしたので、大満足でした！	7歳	男性		済
9月	学校の授業でツシムウラボシジミの新聞記事を紹介されて観にきました！絶滅危惧種、絶対見なきゃ！	10代	女性		済
	ここは何度来ても飽きない。家や学校の近くにこんな場所があるなんて本当に良いですね。	70代	男性		済
10月	初めて北海道から来ました。動物園などが好きで、色々周りますが、こちらはスタッフの方の説明がとてもわかりやすく、愛情をもって飼育されている事が伝わりました。	30代	女性		済
	すごく楽しくて、ここだとおうちがちかくていつでもこれるしあかるいきぶんになります。	8歳	女性		済
11月	何年も前に来たことがありますが、展示方法も工夫され、動物の生態もわかりやすかった。	46歳	女性		済
	光の祭典がもうすぐ始まりますね！そして夜間特別開園もやるんですね。ホテルを楽しみにしています。以前、ホテル飼育の話を読みました。	60代	夫婦		済
12月	小学生クイズ王があつてよかった	9歳	男性		済
	素晴らしい施設、手入れの行き届いた展示等々感動しました。ありがとうございました。	42歳	女性		済
	300円の入場料で見られるとは思えないウオリティーの高さでした。	35歳	女性		済

1月	スタンプキャンペーンを集めるのが楽しいです。				済
	最近のFacebookすごく良いですね。内容がぎっしりで面白いです。置いてかれるくらいのマニアックさが良い。	30代	女性		済
	コンパクトながら素晴らしい展示です。係の方の熱意を感じます。	70代	女性		済
	東武動物公園の縁で来園しました。また来たいと思います！きっかけをありがとうございます。				済
	以前、東京タワー水族館で働いており飼育していた魚たちが、こちらでお世話になっているということで来ました！楽しかったです！ありがとうございます！また来ます！	30代	女性		済
2月	東武動物公園の年パスもあるが、生物園の年パスも検討している	70代	女性		済
	アート展の優秀賞を、作者である子どもと見に来ました(園児と先生)				済
	夜の生物園も見られたらおもしろそう。展示も解説もわかりやすく、解説員の方も丁寧に答えてくださり、過ごしやすく楽しめた。	20代	女性		済
	ヘビがほんとながくて、かわいらしくて、さわれるのがすごいな、と思いました。	6歳	女性		済
3月	桜のライトアップがきれい。ごみを捨てられて助かる。	複数			済
	とても充実の内容で大人も大満足でした。また、よく展示方法も利用者に対しても動物への配慮も行き届いていて、感心いたしました。	45歳	女性		済
	コンサートが無料で見られてよかった。	70代 複数			済

## 要望・課題

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	モルモットにエサをあげたくて、電車とバスで松戸から参りました。エサを買うため30分前から並んでましたが(エサに限りがあるのは承知なので)ヒツジのショーをはさんでエサを買うことが出来ず、子どもがとてものがっかりしていました。ショーを見る人とエサを買う人の列を作るなど工夫していただけないものかと思いました。			遠方からのご来園ありがとうございます。早くからお並び頂いたにも関わらず、動物たちのエサやりをご提供できずに申し訳ございませんでした。ご指摘の通りこれまでヒツジのショーの際はエサやりの列を設定しておりませんでした。ヒツジのショーの時間設定やエサやりの整理券対応なども視野にいれて今回のようなご不満を生まないような運営を心がけていきたいと思えます。	済
	サメのエサの説明はマイクを使ってくれると聞き取りやすい。	48歳	女性	ご指摘ありがとうございます。劣化により音量が出なかったマイクセットを新しいものと交換しました。多くの方が参加されるようなプログラムの際には、有効的に活用し、皆さんに解説トークが伝わるよう配慮していきます。	済

5月	もう少し新しい動物や体験を幅広く扱って欲しい。あまり変わらないのであきました。	10歳	女性	生物園では休憩コーナーやチョウの飼育室のパネル展も併せると、年間30回以上の展示入れ替えを行っています。また、哺乳類・鳥類に関しては、普段生物園で見ることができない動物とのふれあい体験などが出来る「移動動物園」を年二回実施しています。新しい動物の導入も随時検討していきますので、今後とも生物園をご愛顧下さいませ。	済
	再入園の表示をもう少しわかりやすくして欲しいです。	20歳	女性	ご意見ありがとうございます。ご指摘の通り、これまで再入園の案内は受付での表示のみで、混雑時には見えにくい場所となっております。今回、新たに自動ドアの横と券売機付近に案内を掲出させていただきました。ご確認頂けたら幸いです。	済
6月	昆虫ドームの入口端の二ヶ所にも注意事項を書いた方が良くと思います。端から入ると「柵の中に入っちゃだめ」「触る時は優しく」などわかりません。小学生の子たちが柵を越えてカブトムシに群がっていました…。	31歳	女性	ご指摘ありがとうございます。昆虫ドームの入口全3か所とドーム内の柵に「昆虫ドームのおやくそく」(ピクトサイン)を設置しました。その中で「柵より奥に入らない」「生きものにやさしく」などのルール周知に合わせ、スタッフの巡回も定期的に行っていきます。	済
	駐輪場に屋根をつけてほしい(夏場は子どもの座席が熱くなり火傷するし、雨が降った時などはイスを拭いたり載せたりする時濡れなくて済むと思う。	38歳	女性	ご意見ありがとうございます。駐輪場は広範囲に及ぶ敷地となりますので、長期的な展望として検討していきたいと思っております。現在はサドルが濡れてしまった場合などはタオルをお貸出しすることは可能ですので、受付にお気軽にお声がけ下さい。	済
	1F受付横の文庫コーナーで本を読んだところ、本から埃が落ちてきて手が汚れてしまいました。定期的に本棚の掃除をお願いします。	27歳	男性	ご指摘ありがとうございます。すぐに対応しました。今後も定期的な清掃を心がけます。	済
7月	なぜ年間パスポートに子ども(未就学児)と映ってはいけなくなったのか。私はパスポートを捨てずに記念に持っていて、子どもと映っているのをたまに見ては思い出し、「こんな頃に通ったなあ」と懐かしく思っています。是非、また未就学児の内は子どもと一緒にパスポートの写真に写りたいと思う。お願いします。	39歳	女性	ご指摘ありがとうございます。数年前に年間パスポート用のカメラを交換したことで画角が変わってしまい、現在はお子様と一緒に写真を撮るのがシステム的に難しくなっております。今後、カメラシステムを変更する際には、お子様と一緒に映れるような画角のカメラを選びたいと思っております。	済
	大変立派なので驚きました。アロワナetc.の表示を今の10倍くらいの大きさにしてください。	70歳	男性	種名板は明るさも含め、より見やすくなるように改善を検討していきます。	済
	まーしー園長の探検を増やして欲しい			楽しんでいただきありがとうございます。イベントの回数を増やすのは難しいですが、ご要望があった場合などには、展示室やバックヤードを案内する機会を設けています。是非、生きものへの質問や興味をお持ちでしたらお気軽にお声がけください。	済
	往復ハガキじゃなく、インターネットで応募できるといい。			大変申し訳ございません。個人情報保護の観点から、インターネットやメールなどで個人情報のやりとりをしない規定となっております。お手数おかけしますがご了承下さいませ。	済

8月	娘がチンチラのエサやりでドームに並んでいたら抜かされて見る事ができなかったので注意して欲しい。	25歳	女性	チンチラのごはんの時間につきましては、特に列などを作らず自由観覧となります。ドームの周りでご覧いただく際には、担当者が「小さなお子様が見やすいように」とお伝えするようにしています。また、トンネルに入る場合も「順番に譲り合ってお入りください」と表記し、混雑時は子どもたちにも直接声を掛けていきます。ご理解の程お願いいたします。	済
	手を洗う場所に石鹸を付けて欲しいです。	11歳	女性	ご意見ありがとうございます。手洗い場に石鹸は可能な限り設置しておりますが、館内から庭園へと出る手洗い場のみ排水の構造上石鹸の使用ができません。石鹸で手を洗う際は、お手数ですがお手洗い、またはふれあいコーナーにてお願いいたします。	済
	【メール】 千葉銚子市の閉館水族館にイルカやペンギン、魚500匹ほどが半年間放置されているとのニュースを知り、メールをお送りしています。どうかひとつの命だけでもすくってはいただけないでしょうか。水族館の生きものを救えるのは水族館だけです。宜しくお願い致します。			女性	お問い合わせありがとうございます。犬吠崎マリパークの件は、生物園としまして(公社)日本動物園水族館協会を通して協力するつもりです。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。  (ご返信) お返事ありがとうございました。生物に対して何も出来ずに心苦しいですが、足立区生物園へ遊びに行かせていただきます。
9月	アナウンスが聞き取りにくいです。	30代	女性	ご指摘ありがとうございます。ご来園頂いておりますみなさまに、聞き取りやすい発声とゆっくりとアナウンスすることを受付スタッフに指導してまいります。	済
	水槽の顔を出す設備を大人でも入れるようにして欲しい。				観察展示室のトンネルは年齢制限を設けておらず、どなたでもご利用いただけます。周りのお子様にご配慮頂きお楽しみください。
10月	土日に売っている動物パンの材料をシンプルなものに代えて欲しいです。子どもが食べるものなので添加物を無くして欲しいです。	30歳	女性	ご指摘ありがとうございます。以前にパンの製造委託業者へは添加物の可能な限りの削減を依頼し、最小限の分量にさせて頂いております。委託販売という形態上、これ以上の削減は難しい事をご理解頂けたら幸いです。	済
	魚の水槽を掃除している所を見ました。少し雑な感じでした。モップが魚に当たっていました。可愛そうです。	39歳	男性	ご指摘ありがとうございます。動物福祉や環境に配慮した清掃を心がけるようスタッフを指導してまいります。	済
11月	団体で来園している小学生について、チョウの温室でチョウに触ってしまっている子がたくさんいます。あまりに気になる子には肩を叩いて「ダメだよ」と注意しました。スタッフの方にも見て頂けたらと思います。	70代	女性	ご指摘ありがとうございます。小学生向けの団体にはウェルカムトークとして来園時に「温室のチョウに触らない」など、生物園でのお約束をお伝えしています。また、他のスタッフもそういったお子様を見た際には注意をしています。今後もお気づきの際にはお手数ですがスタッフへお声がけ頂けたら幸いです。	済
	シマリスがチューブを通っているところを見たことがないのでいつ通ることが多いか教えて欲しいです。	20代	男性	シマリスは昼行性のため、夕方になるとパイプの中などお気に入りの寝ぐらに隠れてしまいます。比較的午前中～お昼前後は活発に空中トンネルを走り抜ける場所が見れると思いますので是非探してみてください。	済
	こんにちは。 私は足立区内の小学校で、体に障害を持つ生徒の介助員をしています。今、音楽の授業で『真つ赤な秋』の歌を練習しているのですが、歌詞に出て来る“烏瓜”の実物を、子供達に見せてあげたいと先生方が話していました。 烏瓜を見る事は(写真を撮る・出来れば実を一つでも良いので、分けていただけると有難いです)可能ですか？ 教えて下さい。				都市農業公園に隣接する河川敷にて、見事に“真つ赤な烏瓜”を分けていただく事が出来ました。 ～中略～ 生徒達にも実物の烏瓜を見せてあげたいと思います。 音楽の授業に間に合う良いタイミングで見付ける事が出来て、心から感謝しています。見事に“真つ赤な烏瓜”歌詞にピッタリの状態で見付けられるなんて、奇跡的です。本当に、有難うございました。 足立区生物園の方・佐藤様の心遣いがあっての事です。“足立区の温かさ”それも同時に生徒達に伝える事が出来るので、良い形で見付ける事が出来て本当に良かったです。今度は個人的に、ゆっくり足立区生物園・都市農業公園に行ってみようと思います。

トイレの便座クリーナー(アルコールスプレー等)を置いて欲しいです。			ご意見ありがとうございます。便座クリーナーの設置を検討していきます。設置までの間、受付にお申し付け頂ければアルコールスプレーをお貸出しますので、お気軽にお声がけ下さい。 ※3月31日、園内トイレに便座クリーナーを設置しました。	済
ミニブタを生物園の仲間にして下さい。人気者になると思います。	48歳	男性	ご意見ありがとうございます。ミニブタのモモタロウはこれから体がどんどん大きくなり、50kgを超えるほどになります。男の子で力も強く現在の設備での継続飼育は難しいものがありますが、今後施設の改修を検討しながら展示計画を立てていきたいと思っています。	済
もっと大きな施設に拡張して足立区の名物として広まってほしい	40代	男性	ありがとうございます。今後も区民の皆様が誇りと思えるような施設を目指していきたいと思いません。拡張に関しましては今後、区の所管課と中・長期的展望を持って協議していきたいと思しますので、末永く生物園をご愛顧頂けたら幸いです。	済
虫ギライの人が増えているのでそれを解消して欲しい。	60代	男性	ご意見ありがとうございます。生物園の3つの主題「ふれあい いのち 共生」のテーマに沿い、生きものとふれあい、命の尊さや素晴らしさを感じて頂けるようなイベントと展示を常に心がけています。今後も、昆虫の魅力や人との関わりについて伝えるような展示に力を入れていきますので、多くの方に楽しんで頂けたら幸いです。	済
ホタル観察室、前に並んでいたら前から順番に座らせてもらえると嬉しいです。			ご意見ありがとうございます。今後は皆様にご満足いただけるよう誘導を工夫していきたいと思います。	済
マングローブの世界の正面側にも踏み台を置いてください。横にはあるけど奥の方が見えません。	5歳	男性	以前からも同様の声は頂いていましたが、やはり安全管理上やバリアフリーの観点から、ご指摘の位置に踏み台を設置することは難しいと園として結論づけております。ただし、混雑時でない場合に限りスタッフに声をかけてもらい、目の届く範囲でしたら踏み台の利用も可能ですので、その際はお気軽にお声がけください。	済
子ども用の手洗い場に踏み台があると嬉しいです。もう少しのところで手が届かないので。	39歳	女性		
チョウの温室を楽しみに来たが、残念。また来ます。	60代	男性	申し訳ございません。お客様に安全にご利用いただくために緊急のメンテナンスを行う場合がございます。ホームページ等で告知をさせていただいていますが、電話でのお問合せもお気軽にお寄せ下さい。	済
アンケートのつくえがガタガタする。	9歳	女性	ご不便をおかけして申し訳ございません。クッション材にてがたつきを解消いたしました。	済
モルモットのあかちゃんをさわりたい。	8歳	女性	ご意見ありがとうございます。モルモットのふれあいは、お客様の安全の確保と、モルモットへのストレスを軽減するため、事前に訓練を行って問題の無い個体を使用しています。そのため、あかちゃんはガラス越しの展示のみとさせていただきますので、ご理解いただければ幸いです。	済

ネガティブな意見・課題

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	<p>度々 他地区から 子どもが 気に入っていて足を運んでいました。普段は 何事無く 楽しく過ごさせて頂いていましたが、本日 おたまじゃくしを触れるコーナーにて 子どもが 手を入れにくい上げてしまい こちらも 直ぐに 水から出しちゃダメよ！と 注意していたところ 係の女性が 凄く ぶっきらぼうな 言い方で お兄ちゃん こは おたまじゃくしをとるところじゃないからね！と言われました…</p> <p>取るところって 言い方は 酷くありませんか？取るところ つまみ上げたり 何度も何度も そのような行為を繰り返していたり 何度も 注意をされていたなら 未だしも…</p> <p>初めて そこに手を入れにくい上げてしまっただけで そのように言われてとても 哀しいやら 悔しいやら とにかく 嫌な気持ちになりました。ゴールデンウィークで 駆り出され 人が多いので お疲れだったのか知りませんが、こちら側には そのような事情は一切関係ありませんし もっと 子どもに接していると言う自覚を持たれるなり 教育するなり なさってはいかがでしょうか？</p> <p>それが できないならば 触れ合いコーナー 自体 お考えになってはいかがでしょうか？</p>			<p>いつも生物園をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>お子様が当園を気に入ってくださっているとのこと、本当にうれしく思います。</p> <p>そのような中、この度は当園スタッフの対応によりご不快な思いをさせてしまったこと、大変申し訳なく思っております。</p> <p>当日担当していたスタッフに状況を確認しましたところ、確かにご指摘のような注意をしたことが判明いたしました。</p> <p>早速、当人を含めた解説チーム全員で今回の件に関しまして共有と改善を進めるよう指示いたしました。</p> <p>今後このようなことがないように、指導と教育を徹底してまいりたいと思います。</p> <p>今後とも皆様に生物園を気持ちよくご利用していただけるよう、スタッフ全員で努力してまいります。</p> <p>貴重なご意見、本当にありがとうございました。</p>	済
5月	<p>【アンケート】ふれあい広場の中年のおじさんの子どもに対する言葉遣いが怖い！！</p>	45歳	女性	<p>スタッフの対応により不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。今後、言葉遣い含め、表情や声のトーンなど接客の基本的な素養をスタッフに教育していくよう努めます。</p>	済
6月	<p>2Fのイートスペースのイスの座る所がけば立っていてふとももを少しケガをしました</p>			<p>大変申し訳ございませんでした。このお声を確認し次第すぐに触診したところ、節の部分にひっかかりがございましたので、サンドペーパーで木肌を整えました。こういった安全管理は定期的に行っておりますが、肌の露出が高まる夏場などは、より細やかな点検をしていきます。ご指摘ありがとうございました。</p>	済
9月	<p>図書コーナーの明るさは、子どもが本を読むには暗すぎるのでもう少し明るくして欲しいです。</p>	30代	女性	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘を頂戴した後、すぐに照度計を用い計測したところ、確かに読書をするには照度数値が足りない結果となりましたので、すぐにワット数の高いLED電球に交換させて頂きました。現在は、読書環境に対応する照度となっておりますので、ゆっくりと読書をお楽しみください。</p>	済
1月	<p>ネコの気まぐれタイムのチケット2枚をもってずっと待っていたがスタッフが来なくて戻ったらプログラムが始まって「途中からの参加になります」と言われた。何度もネコのプログラムを利用しているが、きちんと集合時間にスタッフが来て欲しい。</p>	30代	女性	<p>大変申し訳ございません。今後は、ねこのお部屋の上にあるオルゴール時計の時間を基準にプログラムを開始することをスタッフに統一させていただきます。ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。</p>	済
2月	<p>本日ショップで買い物をしたが、スタッフが電話中で対応が悪かった。</p>	70代	女性	<p>大変申し訳ございません。担当者には電話対応の際は、店頭のお客様を最優先とすることを共通の認識として持つように伝えております。今後みなさまに気持ちよく利用して頂けるショップにしていきたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。</p>	済

区との定例会議の中でお客様から頂いた、褒詞を 36 点、改善すべき意見・要望・課題を 32 点、ネガティブな意見・課題を 6 点取り上げました。区との協議を経て、それぞれの意見に真摯に向き合い、38 点中 37 点のご意見に対して当園の取り組みや方針を示させて頂きました。

ネガティブな意見に対しても、その場に居合わせたスタッフにヒアリングを行い、どんな対応が望まれたかをしっかりと話し、全体へ共有することで接客のホスピタリティ向上に努めました。

また、ご意見やご要望などの他に、受付にて随時募集しているアンケートの結果が以下になります。

### 2018年度アンケート集計

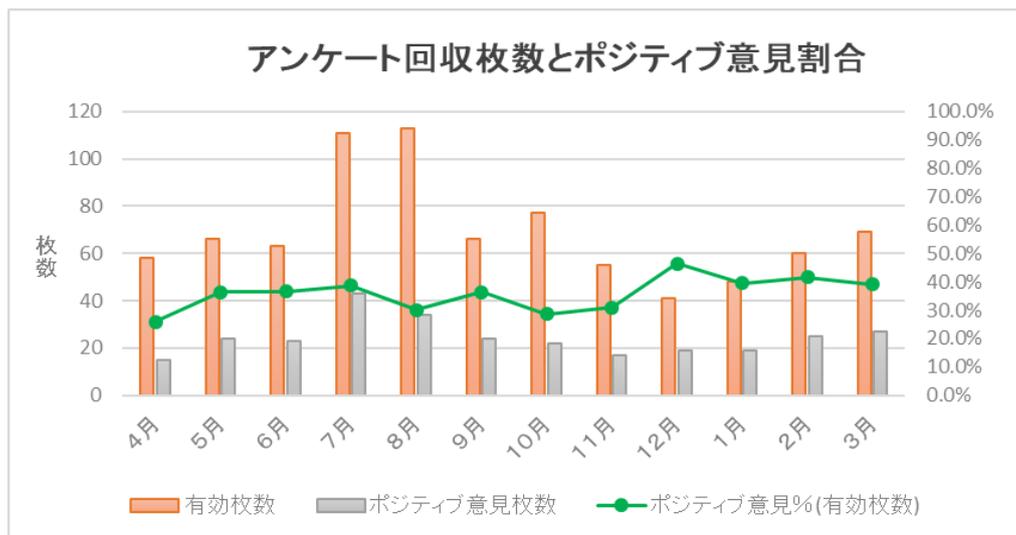
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
性別	女性	63	38	46	33	51	33	29	28	21	22	21	29	414
	男性	34	17	20	25	37	12	12	13	15	17	15	19	236
年齢	4歳	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	6
	5歳	0	1	1	1	0	1	1	1	1	2	2	3	14
	6歳	6	3	2	3	5	1	3	4	4	2	3	0	36
	7歳	9	6	11	9	9	4	3	6	4	5	3	4	73
	8歳	15	2	8	8	10	6	9	3	3	8	5	12	89
	9歳	19	8	9	6	18	2	3	6	7	1	5	7	91
	10歳	14	12	8	7	17	2	2	5	1	3	5	6	82
	11歳	5	2	3	2	6	5	1	2	1	3	0	1	31
	12歳	1	0	0	4	1	0	2	1	2	0	0	0	11
	13歳	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	6
	14歳	0	0	0	2	1	3	1	2	0	1	1	4	15
	15歳	4	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	8
	16歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	17歳	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	18歳	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5
	19歳	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	20代	6	4	4	2	4	5	2	4	2	2	2	1	38
	30代	3	1	5	4	1	5	4	2	1	5	3	4	38
	40代	3	4	3	0	3	0	3	3	5	3	2	5	34
	50代	1	1	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	8
60代	3	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7	
70代	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	1	0	7	
80代	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	4	
住まい	区内	62	34	36	32	47	30	24	26	24	13	31	38	397
	区外	44	25	36	33	61	22	20	22	22	31	10	20	346
来園回数	はじめて	26	16	26	18	23	10	11	6	11	12	7	8	174
	2~4回	25	10	8	14	30	17	14	14	14	9	5	5	165
	5回以上	56	34	38	36	54	27	18	29	21	23	29	45	410
知ったきっかけ	以前から	61	33	34	29	60	30	24	29	27	23	22	31	403
	あだち広報	8	2	1	1	1	2	2	1	2	2	3	0	25
	ニュースレター	1	0	3	0	1	2	0	0	2	0	0	0	9
	ちらし	12	5	3	6	5	3	3	5	1	2	2	4	51
	フェイスブック	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	中吊り広告	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	HP	3	7	9	10	14	5	3	4	4	8	4	4	75
	テレビ	3	3	3	1	1	2	0	1	2	3	2	0	21
	その他	18	11	19	20	28	10	10	9	9	7	8	19	168
交通手段	自転車	30	22	22	14	22	11	17	12	15	7	15	26	213
	自動車	48	24	33	29	59	23	19	22	19	24	12	18	330
	電車	4	4	5	3	3	1	0	6	6	4	1	1	38
	路線バス	4	1	3	1	4	3	2	4	4	2	8	0	36
	徒歩	15	5	10	8	10	10	0	3	2	2	3	7	75
	その他	1	2	1	2	6	1	1	0	0	0	0	6	20
どなたと	家族	56	42	57	44	78	33	30	35	41	38	30	36	520
	友人	38	14	15	6	19	16	8	5	4	3	4	14	146
	ひとり	5	2	2	8	8	2	5	2	0	4	5	0	43
	その他	4	1	1	6	4	3	0	4	2	0	2	8	35
来園目的	生きもの	62	41	39	39	70	38	31	28	32	34	29	43	486
	イベント	9	3	13	7	5	3	3	5	5	2	3	0	58
	その他	16	5	5	9	11	4	1	6	3	0	0	10	70
	生きものとイベント	8	8	15	5	11	8	7	5	4	7	6	5	89

## ポジティブな意見・感想

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
楽しかった	10	7	9	7	12	11	5	6	2	8	6	14	97
素晴らしい	4	1	5	1	0	2	2	0	2	2	1	3	23
動物がかわいかった	4	1	0	3	2	2	0	1	8	2	0	4	27
説明が良かった	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
子供が喜んでいました	1	2	0	1	2	1	0	1	0	1	0	0	9
勉強になった	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
蝶々がきれい	0	1	3	1	1	1	2	1	1	0	0	1	12
展示方法が良い	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	7
イベントがたくさんで良い	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
施設が綺麗	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	4
トイレが綺麗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触合える距離が近くていい	4	1	0	2	2	0	0	1	0	0	1	0	11
色々な動物が見れて良かった	6	3	7	4	7	2	4	4	1	3	2	0	43
パンが美味しかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金魚がすごい	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ホタルがすごい	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
イルミがきれい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お土産がかわいい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	34	17	37	20	30	19	13	16	15	17	11	23	252

○回収枚数	114	62	82	71	118	59	45	52	54	46	43	61	807
○有効枚数	108	61	77	69	110	55	44	49	47	45	41	60	766
○割合(回収枚数)	29.8%	27.4%	45.1%	28.2%	25.4%	32.2%	28.9%	30.8%	27.8%	37.0%	25.6%	37.7%	31.2%
○割合(有効枚数)	31.5%	27.9%	48.1%	29.0%	27.3%	34.5%	29.5%	32.7%	31.9%	37.8%	26.8%	38.3%	32.9%

(※有効枚数：アンケート回収枚数から明らかなイタズラ書きなどを除いたもの。)



一年間を通じてのアンケート回収枚数は807枚（有効枚数766枚）で昨年度の884枚（有効枚数827枚）と比較して77枚数を落としました。また、アンケートにご協力いただいた方の中で、「ポジティブな意見」を記入して下さった方の割合を比較すると今年度は32.9%で、平成29年度の35.3%を若干下回りました。

しかし、アンケートの投稿数は減っていますが、生物園に「はじめて」来園された方の投稿は昨年157人から、今年は174人に増えています。また、昨年と比較した際に、区外の方の投稿数が増えていることも特筆に値すると思います。

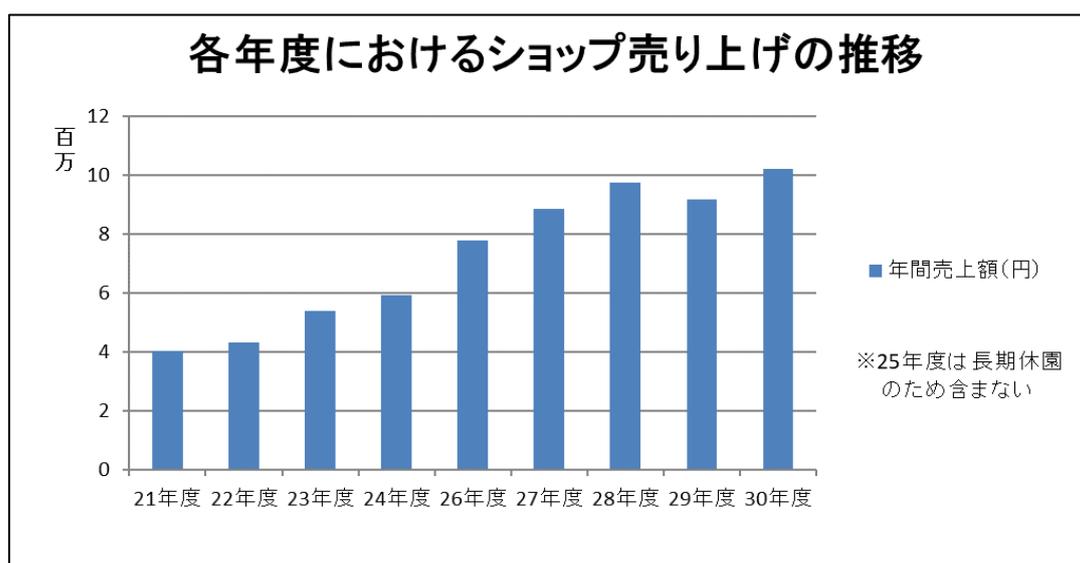
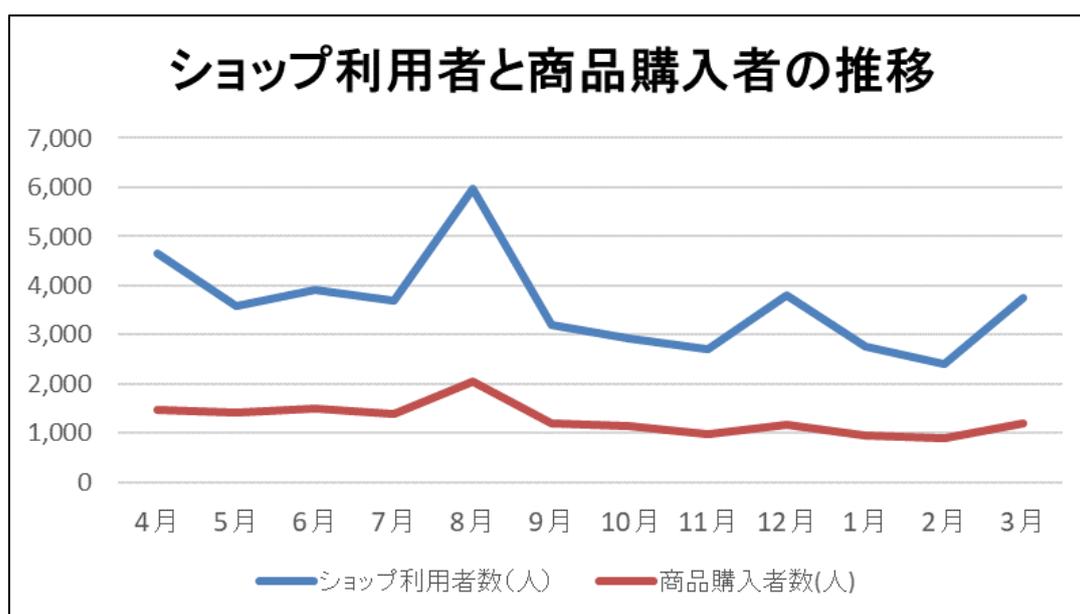
生物園利用者様からのネガティブな意見・クレームなど、お叱りの声は年々少なくなっていますが、まだまだ拾い切れていない小さな声があると感じます。来年度以降は、それらの声を拾い出すようなモニタリング計画を検討していきたいと思っております。

## 2. ミュージアムショップの利用状況と売上実績

### (1) 利用状況

平成 30 年度のミュージアムショップ（以下ショップ）利用者数は 43,326 人、商品購入者数は 15,338 人でした。ここでのショップ利用者とは、ショップ内に立ち入り、商品を眺める、触れる、商品についてスタッフに尋ねるといった行動をした人数を指します。

ショップ利用者に対する商品購入者の割合は平均およそ 35%になります。また、月別に見たショップ利用者数と商品購入者数の推移を表したのが以下のグラフです。利用者と購入者の増減は概ね同じ傾向にあり、最も人数の多い8月と最も人数の少ない2月を比較すると、どちらも倍以上の差がみられます。



## (2) 販売状況

### ① 年間売上額

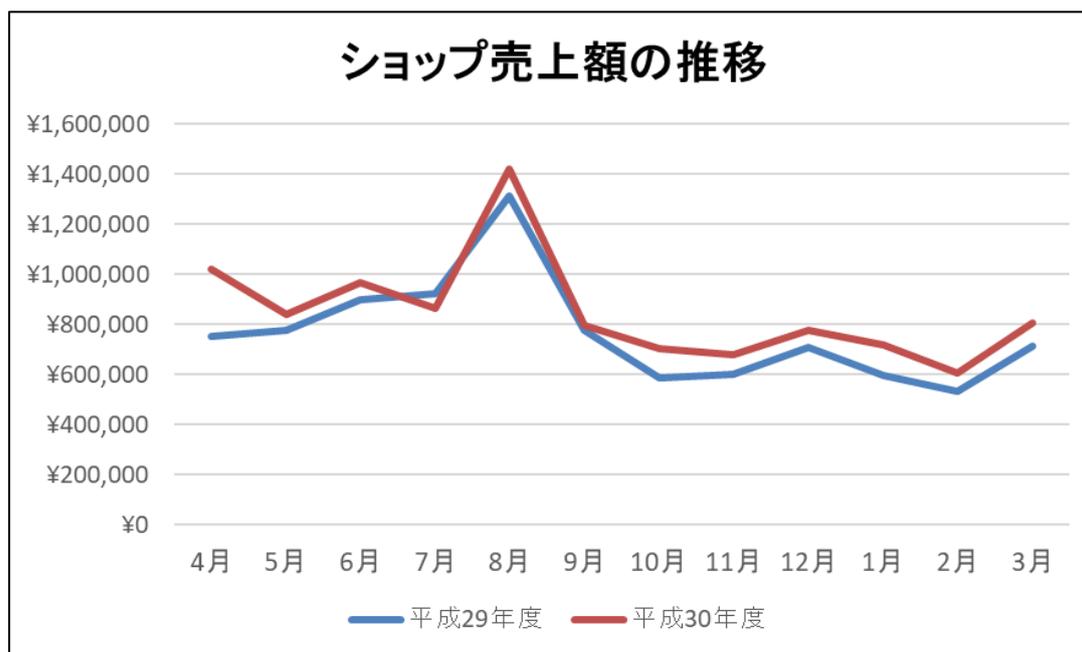
平成 30 年度のショップ売上額は 10,203,568 円です。足立区の有料頒布物「荒川の昔」はショップで販売していますが、別会計で売上を全て区に納めているため、ショップの売上には含まれません。

ミュージアムショップ開店から 30 年度までの、各年度におけるショップ年間売上額の推移をまとめたものが前頁下のグラフです。昨年度は売りが落ち込みましたが、本年度は 100 万円に到達し、平成 28 年度の売上げまで上回る結果となりました。

### ② 月別販売状況

各月のショップ売上額を前年度と比較したものが以下のグラフです。

昨年と比較して、全体的に上回る結果となりました。7 月のみ昨年度を下回る売上げになりました。これは、本年度は記録的な猛暑だったため、来園者の落ち込みに伴い売上げも減少したと推察されます。



### ③ 客単価

客単価はショップの売上額をのべ購入者数で割ったものです。平成 30 年度平均客単価は 667 円でした。昨年度の 630 円から 37 円の増加になります。

客単価が最も高かったのは 1 月で、748 円でした。ショップでは 1 月 2 日より「お年玉くじキャンペーン」を行っており、1,000 円以上購入されたお客様は、はずれ無しのくじを引くことができます。したがって、くじを引くために 1,000 円以上購入しようというお客様もいっしょに、結果として客単価が高くなったといえます。また、昨年度との差額が最も大

きかった2月は、話題性のある数量限定のカプセル商品(500円)が多く出たため、閑散期であるにもかかわらず客単価が大幅に増加したと考えられます。また、5月は前年度より88円客単価が減少しました。これは、今まで6月に開始していたアイスの販売を5月から始めたことが一因であると考えられます。アイスは140円~200円といった価格帯ですので、これらが多く売れたことにより客単価が減少したと推察されます。

年間で販売した商品数は33,503個、購入者数が延べ15,676人でした。このことから、1回の購入個数は平均2個程度であるとみなせます。客単価が667円ということと合わせると、150~400円程度の比較的単価の低い商品を、2,3個購入されるお客様が多いと考えられます。実際に商品ごとの売上個数をみると、上位10位の商品は全て500円以下のものでした。特に、いきものパンやクッキー、ドライフルーツは、様々な種類を展開して選べるようにしたためか、お一人で3つ、4つとお買い上げになるお客様が多くいらっしゃいました。今後も、こうした売れ筋価格を意識した商品展開を行うことが求められます。

一方で、今年度は書籍や双眼鏡等、高価格帯の商品を多く取り入れました。このことも客単価が増加した一因であると考えられます。こういった商品は、環境教育的商品として今後も積極的に売り出していくことを検討し、客単価を上回る価格でも購入いただけるような、質の高い商品展開を心がけてまいります。

月別客単価における前年度との比較			
	29年度	30年度	29年度との差額
4月	¥650	¥699	¥49
5月	¥688	¥599	¥-88
6月	¥659	¥649	¥-10
7月	¥569	¥619	¥50
8月	¥636	¥694	¥58
9月	¥597	¥668	¥71
10月	¥620	¥610	¥-10
11月	¥621	¥699	¥78
12月	¥645	¥661	¥17
1月	¥680	¥748	¥67
2月	¥572	¥677	¥104
3月	¥617	¥679	¥62
平均	¥630	¥667	¥37

### (3) 商品展開

ミュージアムショップは単なる「お土産屋さん」ではなく、生物園での体験や感動をアフターフォローできるようなグッズを提供することを目指しています。30年度は生物園ならではのオリジナル商品の開発に力を入れただけでなく、足立区内の法人が販売している、足立区ならではの商品も販売しました。

## ① 新規取り扱い商品

平成 28 年度に取り扱った商品は 61 法人 468 種で、7 法人と 1 個人が新たに取り先として加わりました。以下が新たにお取引を開始した企業一覧です。このうち、K-Dash design & ONION PRINT は足立区在住のデザイナー、常盤ゴム株式会社は足立区企業の製品を取り扱っている企業です。

平成30年度新規取引先一覧	
取引先名	取り扱い商品
K-Dash design & ONION PRINT	生物園オリジナルトートバッグ
常盤ゴム(株)	リポブロック
(株)小学館	小学館の図鑑NEOシリーズ
(株)実業之日本社	ゆるふわ昆虫大百科
(株)博報堂プロダクツ	カップパッジ
Life is small. Company	モバイル顕微鏡
(有)ボンズ企画	絶滅に瀕する蝶カレンダー2019
(株)TAKEO	昆虫スナック

新規の取り扱い商品で特筆すべきものとして、株式会社小学館の「小学館の図鑑 NEO」、株式会社実業之日本社の「ゆるふわ昆虫大百科」が挙げられます。当ショップでは、昨年度より直接的な学習に繋がる商品として、図鑑の取り扱いを増やしております。そこで、小さい子供でも学習しやすい「小学館の図鑑 NEO」を新商品として販売することといたしました。また、「ゆるふわ昆虫大百科」はかわいらしい雰囲気とは裏腹に、身近な昆虫の生態について学ぶことができる1冊となっております。本格的な図鑑とは違い面白さ、親しみやすさに重点が置かれているため、本書籍をきっかけに、より多くのお客様が昆虫に興味を持つことができると考えております。このように、年齢層や関心度合に合わせた商品展開は、今後も検討して参ります。

## ② イベントと連携した商品

夏休みの自由研究にと8月より販売していた「モバイル顕微鏡」ですが、9月に本製品を使用するイベントが実施されたため、園内の催しと繋がりのある商品として店頭にて売り出しました。「モバイル顕微鏡」とは、スマートフォンのカメラ部分に取り付ける接写レンズです。倍率は約30倍で、身の回りのものや、昆虫やプランクトンなど小さい生きものの観察に適しています。1,080円という比較的高価格の商品ですが2日間の実施で14個販売することができました。イベントと繋がりを持たせることで販売数の増加も見られ、ショップはただのお土産屋さんではなく環境教育的要素もあるということをお客様に認識していただけたと考えられます。

### ③ 区内企業の商品の取り扱い

今年度は、足立区内の企業が製造している商品を積極的に取り扱い、アンテナショップとしての商品展開を拡充させました。

ミユキ精工株式会社の自社製品「リポブロック」を発売しました。ミユキ精工株式会社は足立区内にあるプラスチック玩具製造の会社で、大手メーカーからの受注を中心に事業を行っている会社ですが、この度、会社の主力商品としてオリジナルの玩具を開発されたそうです。カブトムシやカマキリといった昆虫モチーフのブロックもあり、ぜひ生物園で販売してほしいと営業にお越しくださりました。

### ④ 生物園の素材を使ったオリジナル商品の販売

8月に、園で飼育するミツバチが集めたはちみつを販売しました。はちみつを購入するために朝一番で来園して下さるお客様や、自分用とお土産用にと複数個購入して下さるお客様も多く、2か月経たずに完売しました。園で採れたはちみつの販売は今年で4回目です。お客様からは、「毎年楽しみにしています」、など、多くの反響が寄せられました。

また、生物園で飼育しているヒツジの毛を用いたアクセサリーや、クラフトグッズの販売も行いました。以前より、ニットキュア株式会社との共同開発で商品を企画制作している商品で、開発当初は需要の高いアクセサリーのための販売でしたが、翌年はクラフトグッズ、さらに翌年は羊毛に色を付けた羊毛での商品展開をと、バリエーション豊富な商品展開に取り組んでいます。(本年度の新商品に関しては「連携事業」にて別途記載)

## 3. 利用促進のための取り組み

### (1) 生物園スタンプキャンペーン

足立区生物園の入園者数は年間を通してみると、季節によって増減があります。特に梅雨とかさなる6～7月と、気温の低下する1～2月は毎年月当たりの入園者が落ち込みやすいです。そこで年間を通じて入園者を安定させるため、梅雨時期と冬期のそれぞれ2か月間に生物園スタンプキャンペーンを実施しました。

キャンペーン中は来園1回につき1個スタンプを押し、集めたスタンプの数に応じてプレゼントを贈呈しました。梅雨時期の雨の日、冬期の寒い日はスタンプが2倍となりま



す。

## (2) 生物園・東武動物公園「年パス所持者特典相互減免キャンペーン」

12月1日～2月11日の間、生物園と東武動物公園の年間パスポート所持者を対象に、相互に入園料の減免を行いました。キャンペーンをきっかけに年パスを購入されるお客様もみられ、促進効果があったと考えられます。

冬期の閑散期であります。両施設でのイルミネーションや年末年始を含む期間であるため、今後も同様のキャンペーンを行っていきます。



## (3) お年玉くじキャンペーン

ミュージアムショップの利用促進のため、1月2日よりレシートを利用したお年玉くじキャンペーンを実施しました。ショップでのお買い上げ 1,000 円分のレシートで、1 回くじを引くことができます。景品は生物園の年間パスポートや今年の干支であるブタのぬいぐるみ、オリジナル缶バッジなどを用意しました。開始から5日で100個の景品が終了しました。



## (4) 25周年感謝デー

生物園開園 25 周年を記念した「感謝デー」では、来園者皆さまを無料でご招待しました。町内の掲示板、竹ノ塚駅などにポスターを掲示した他、中つり広告などで PR を行いました。この機会にと初めての来園だけでなく、数年ぶりに訪れたという方もいらっしゃいました。



## (5) わんぱく相撲への協賛

わんぱく相撲大会（墨田大会実行委員会・足立大会実行委員会）への協賛として、生物園無料招待券（小人限定）を提供しました。墨田区大会では 750 枚、足立区大会では 400 枚を配布し、参加したお子さんがご家族と一緒に来園するように促しました。特に、西新井大師で開催された

足立大会では主催者側の配慮で、のぼり旗を掲げていただくなどのPRもでき、普段生物園を利用しない方々に対するPRとして効果的であったと考えます。今後ご要望があれば、お応えしていきたいと考えています。

### Ⅲ 展示解説業務

#### 1. 展示解説実施および対応実績

生物園・元湊江公園を活用し、数々の催しを開催しました。自主事業では生物園のテーマ「ふれあい・いのち・共生」を踏まえた内容のプログラムを行いました。当日募集のプログラムの中には、未就学児でも楽しめる「ふれあいプログラム」と、生きものに関心や興味を持った方を対象にした「導入型プログラム」の性質が違う2つのプログラムを行いました。また事前募集のプログラムでは生きものや自然により深い興味・関心を持たせる「発展型プログラム」を行いました。

団体向けには通常の生物園内での団体向けプログラムを中心とした団体対応や、小学校へスタッフが赴きプログラムを行う出張授業を行うなど、団体利用を促進しました。

また職場体験やインターンなど中学校や大学・専門学校などで行われる総合学習に対しても積極的に対応を行いました。

生物園以外の施設と連携した施設連携も積極的に行い、園内のプログラムはもちろん他施設へ出張して行うプログラムも行い、お互いの利用促進に努めました。

また区民に向けては生物園・元湊江公園で活動を行うボランティアを飼育系と解説系、公園管理系の3つを運営し活動を行いました。

生物園・元湊公園の魅力やレジャー機能を向上させるために、魅力的な常設展を展開し、また定期的に特別展・企画展を開催することで飽きずに楽しめる運営を心がけました。

平成30年度イベント開催数など

番号	事業	回数	応募者数	参加者数	備考
1	当日募集	84	0	306,694	
2	事前募集	12	660	311	
3	団体対応	12	0	7,348	} 団体対応
4	出張授業	10	0	695	
5	総合学習	39	0	125	
6	施設連携	15	0	11,123	
7	ボランティア	3	0	36	登録人数
8	特別展	6	0	0	
9	企画展	24	0	0	
	合計	205	660	326,332	
	<b>事務事業評価の指標該当事業</b>	<b>129</b>	<b>660</b>	<b>307,041</b>	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。

平成 30 年度当日募集イベント開催数

番号	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
	当日募集				
1	カニ釣り	1		58,158	毎日開催
2	きっずルーム	1		12,533	毎日開催
3	哺乳類のふれあいコーナー	1		100,073	毎日開催
4	金魚すくい	1		8,551	
5	クリスマス馬車で記念撮影	1		423	
6	タッチプール	1		12,309	
7	チョウを放そう	1		6,458	毎日開催
8	ヒツジのショー	1		795	毎週第1土曜日開催
9	飼育員のおススメ	1		236	毎週第1土曜日開催
10	魚のごはん	1		17,609	毎日開催
11	昆虫のごはん	1		4,653	毎日開催
12	ミツバチの飼育	1		263	毎週日曜日開催(冬季を除く)
13	爬虫類のごはん	1		7,589	毎日開催
14	ニシキヘビと記念撮影	1		690	毎週第3日曜日開催
15	昆虫ドームの見どころ	1		141	
16	ポニー乗馬	1		569	
17	アルパカと記念撮影	1		818	
18	モルモット雑壇と記念撮影	1		71	
19	干支の生きものと記念撮影	1		1,782	
20	干支の引継ぎ式	1		35	
21	カブトムシ・クワガタムシにさわろう	1		1,228	カブクワ展連動プログラム
22	ゴキブリたち！	1		1,073	ゴキブリ展連動プログラム
23	カメになってだませ！	1		58	だまされた展連動プログラム
24	生きものを探せ！	1		130	だまされた展連動プログラム
25	生きものたちでだませ！	1		45	だまされた展連動プログラム
26	生きものタッチ	1		8,476	春のふれあい展連動プログラム
27	カエルの大冒険	1		6,590	両生類展連動プログラム
28	標本解説	2		11,263	標本展連動プログラム
29	なりきり飼育員	1		639	夏だ！生きもの育てよう！展連動プログラム
30	金魚すくい練習	1		144	金魚展連動プログラム
31	金魚折り紙	1		298	金魚展連動プログラム
32	金魚観賞の極意	1		8	金魚展連動プログラム
33	だれのうんち？	1		7,646	うんち展連動プログラム
34	うんちのにおい	1		1,846	うんち展連動プログラム
35	アートコンテスト表彰式	1		50	アートな生きもの展連動プログラム
36	生きもの折り紙	1		448	アートな生きもの展連動プログラム
37	公園ツアー	1		130	毎月第1日曜日開催
38	生きものガイド	1		306	毎週第2第4土曜日開催
39	まーしー園長のガイドツアー	1		220	毎月第4日曜日開催
40	ちびっこプログラム	1		449	毎週水曜日開催
41	うらがわ探検ツアー	1		228	毎月第二日曜日開催
42	チョウの飼育体験	1		203	毎月第三日曜日開催
43	屋のホタル観賞会	1		5,397	
44	生きものにクリスマスプレゼント！	1		20	

45	レザーアニマルクラフト	1	437	
46	オリジナルキャンドルづくり	1	568	
47	モバイル顕微鏡	1	645	
48	こどもクイズ王選手権	1	27	
49	らんちゅう倶楽部	1	2,754	
50	はじめての飼育「ダンゴムシ」	1	10	
51	おりがみで生きものを作ろう!	1	133	
52	ヒツジの毛刈り	1	125	
53	体験! 生きものふれあい教室	1	40	
54	スポットガイド「庭園解説」	1	68	
55	うんちで紙すき	1	100	
56	虫のうんちで染め物	1	21	
57	うんちをつくろう	1	70	
58	貴重なチョウのプラ板図鑑キーホルダーづくり	1	20	
59	さくらコンサート	1	62	さくらフェタ
60	寄せ植え教室	1	32	さくらフェタ
61	抹茶サービス	1	64	さくらフェタ
62	Dreamnight at the zoo 2018 生物園	1	187	さくらフェタ
63	鳴く虫コンサート	1	82	鳴く虫night
64	スズムシ飼育教室	1	12	鳴く虫night
65	虫の音観賞会	1	269	鳴く虫night
66	お抹茶でおもてなし	1	99	鳴く虫night
67	魚のごはん「ピラルクー」	1	14	25周年感謝デー
68	魚のごはん「オオカミウオ」	1	20	25周年感謝デー
69	哺乳類のごはん「リスザル」	1	15	25周年感謝デー
70	昆虫のごはん「タガメ」	1	33	25周年感謝デー
71	両生類のごはん「カエル」	1	13	25周年感謝デー
72	哺乳類のごはん「ネコ」	1	15	25周年感謝デー
73	金魚折り紙	1	289	25周年感謝デー
74	移動動物園	1	1,122	25周年感謝デー
75	ヒヨコのふれあい	1	551	25周年感謝デー
76	フライトショー	1	350	25周年感謝デー
77	わんフェス	1	5,034	
78	木のお医者さんになろう	1	7	さくらフェスタ
79	さくらコンサート	1	150	さくらフェスタ
80	出張とれたて野菜販売	1	122	さくらフェスタ
81	ホタルのタベ	1	7,515	
82	冬のホタル観賞会	1	4,411	
83	ナイトツアー「熱帯の世界」	1	557	
	小 計	84	306,694	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。実際の開催数は「自主事業の実施」の項目を参照してください。

平成 30 年度事前募集イベント開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	事前募集				
1	家族で釣り教室	1	72	35	
2	ヒツジの毛でクラフト	1	13	13	
3	春の海で生きもの採り	1	40	39	
4	カブトムシを育てよう！	2	49	38	
5	生物園に泊まろう！	1	167	30	
6	セミの羽化観察会	1	60	32	
7	標本教室	1	33	16	
8	夜のカエル観察会	1	36	29	
9	家族で釣り教室	1	89	39	
10	子ども飼育員	1	52	16	
11	解剖！魚の研究会	1	49	24	
	小 計	12	660	311	

平成 30 年度団体対応開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	団体対応				
1	ウェルカムトーク・お見送りトーク	1		5,403	年間数回実施
2	クイズラリー	1		1,050	年間数回実施
3	生物園ガイド	1		355	年間数回実施
4	チョウの一生	1		74	
5	チョウの一生(幼保)	1		250	年間数回実施
6	生きものふれあい	1		48	
7	公園ガイド	1		94	
8	一日飼育員	1		4	
9	生きものを解説しよう	1		7	年間数回実施
10	レポート対応	1		4	年間数回実施
11	教員向け講座	1		28	
12	インタープリテーション概論	1		31	年間数回実施
	小 計	12	0	7,348	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を 1 回にまとめて計上しております。実際の開催数は「団体対応」の項目を参照してください。

平成 30 年度出張授業開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
	出張授業				
1	チョウの飼育教室	3		232	
2	昆虫の体のつくり	1		48	
3	校庭の生きもの観察	4		351	
4	腐葉土をつくろう	1		24	
5	チョウの飼育教室(大学生向け)	1		40	
	小 計	10	0	695	

平成 30 年度総合学習開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	総合学習				
1	職場体験	13		38	対応者数
2	職場訪問	8		36	対応者数
3	インターン	10		17	対応者数
4	学芸員実習	1		13	対応者数
5	学生ボランティア	7		21	対応者数
	小 計	39	0	125	

平成 30 年度ボランティア登録人数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	ボランティア				
1	昆虫飼育ボランティア	1		28	登録人数
2	生きものふれあいボランティア	1		5	登録人数
3	公園管理ボランティア	1		3	登録人数
	小 計	3	0	36	

平成 30 年度施設連携開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	施設連携				
1	出張生物園「しょうぶ祭り」	1		1,789	
2	出張生物園「パサージュ西新井」	3		3,234	
3	出張生物園「ポンテ・ポルタ」	2		1,920	
4	出張生物園「環境フェア」	1		1,066	
5	出張生物園「舎人公園」	1		2,152	
6	出張生物園「大谷田公園梅まつり」	1		218	
7	秋のスポーツ・健康フェスタ	1		250	
8	東京藝術大学アウトリーチコンサート	1		143	
9	畑でチョウの幼虫探し	1		14	
10	畑のチョウを育ててみよう	1		15	
11	金魚すくい	1		176	
12	自転車安全教室	1		146	
	小 計	15	0	11,123	

平成 30 年度特別展・企画展開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	特別展				
1	だまされた展	1			生きもの研究室
2	生きものタッチ展	1			生きもの研究室
3	夏だ！生きもの育てよう！	1			生きもの研究室
4	金魚展	1			生きもの研究室
5	うんち展	1			生きもの研究室
6	アートな生きもの展	1			生きもの研究室
	企画展				
1	エイプリルフール展	1			園内全体
2	両生類展	1			生きもの研究室
3	標本展	1			生きもの研究室
4	生物園の母の日展	1			休憩コーナー
5	生物園の父の日展	1			休憩コーナー
6	身近な生きものの飼い方	3			休憩コーナー
7	生物園のハロウィン展	1			休憩コーナー
8	ハンターな虫たち展	1			むしむしコーナー
9	迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威	1			むしむしコーナー
10	カブトムシ・クワガタムシ展	1			むしむしコーナー
11	ゴキブリ展	1			むしむしコーナー
12	人と虫の衣・食・住展	1			むしむしコーナー
13	チョウの蝶能力	1			チョウの飼育室
14	チョウを探しに出かけよう	1			チョウの飼育室
15	ツシマウラボシシジミの保全	1			チョウの飼育室
16	チョウの自由研究	1			チョウの飼育室
17	食欲の秋！チョウの大好物は何だ！？	1			チョウの飼育室
18	いもむし大集合	1			チョウの飼育室
19	いもむし大集合～結果発表～	1			チョウの飼育室
20	冬のチョウ	1			チョウの飼育室
21	五月人形	1			であいの広場
22	七夕	1			であいの広場
23	クリスマス	1			であいの広場
24	ひな祭り	1			であいの広場
	小計	32			
	計	207	660	326,332	

また、これらの展示解説業務の他にも、来園者に対して質問・相談や展示解説を直接聞くレンジャートークを実施する場面を提供しました。解説員の常駐する生きもの研究室中心に実施し、解説はもちろん質問や相談の対応も行いました。本年度は年間 50,929 回 128,144 人に実施しました。

レンジャートークの年間対応数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
回数（回）	5,243	4,397	5,075	3,508	4,959	3,994	4,765	4,096	4,038	3,123	3,375	4,356	50,929
対応人数（人）	13,268	11,439	13,424	8,680	12,559	10,130	11,084	9,671	10,842	8,188	8,285	10,574	128,144

## 2. 夜間特別開園の実施

### (1) ホタルのタベ夜間特別開園

6月7日から10日まで、特別イベント「ホタルのタベ」に伴う夜間特別開園を行い、4日間で6,789人の来園がありました。実施中は18:00-21:00までの特別夜間開園のほか、屋外昆虫ドーム内に飛び交うホタルを歩きながら鑑賞いただく「ホタルのタベ」を11年ぶりに実施しました。またホタルにちなんだ展示や「ホタルの解説コーナー」も設け、充実したイベント開催を目指しました。



ホタルのタベ

「ホタルのタベ」プログラム実績

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数（人）			
			大人	小人	合計	
ホタルのタベ	6月7日～10日	4	5,065	2,450	7,515	
		計	4	5,065	2,450	7,515

### (2) 光の祭典夜間特別開園

12月1日～12月25日まで元渚江公園で開催される「光の祭典」にあわせ、土・日・祝日に加え、12/25（火）のクリスマス当日にも夜間特別開園を行いました。10日間で8,480人の来園がありました。昨年度に続けて「冬のホタル観賞会」と「ナイトツアー熱帯の世界」も実施しました。

「光の祭典」に合わせて実施したプログラム実績

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数（人）			
			大人	小人	合計	
冬のホタル観賞会	12月1日～12月24日の土・日・祝、12月25日	10	2,824	1,587	4,411	
ナイトツアー「熱帯の世界」	12月1日～12月24日の土・日・祝、12月25日	10	305	252	557	
		計	20	3,129	1,839	4,968

### 3.自主事業の実施

#### (1) 特別イベント

年に数回大規模なテーマを定めた特別なイベントを行いました。テーマに合ったプログラムをまとめることで、異なるテーマや異なる対象で生物園や元洲江公園を楽しめるよう工夫しました。

特別イベント開催内容一覧

内容	実施日	対応人数（人）			
		大人	小人	合計	
さくらフェスタ	さくらコンサート	4月7日	48	14	62
	寄せ植え教室	4月7日,8日	16	16	32
	抹茶サービス	4月6日～8日	64	0	64
Dreamnight at the zoo 2018 生物園		9月1日	104	83	187
鳴く虫night!	鳴く虫コンサート	9月8日	52	30	82
	スズムシ飼育教室	9月8日	12	0	12
	虫の音観賞会	9月8日	135	134	269
	お抹茶でおもてなし	9月8日	50	49	99
25th感謝デー	魚のごはん「ピラルクー」	9月30日	6	8	14
	魚のごはん「オオカミウオ」	9月30日	12	8	20
	哺乳類のごはん「リスザル」	9月30日	7	8	15
	昆虫のごはん「タガメ」	9月30日	15	18	33
	両生類のごはん「カエル」	9月30日	7	6	13
	哺乳類のごはん「ネコ」	9月30日	7	8	15
	金魚折り紙	9月30日	86	203	289
	移動動物園	9月30日	632	490	1122
	ヒヨコのふれあい	9月30日	284	267	551
	フライトショー	9月30日	175	175	350
わんフェス		11月3日	3,020	2,014	5034
さくらフェスタ	木のお医者さんになろう	3月31日	5	2	7
	さくらコンサート	3月31日	80	70	150
	出張とれたて野菜販売	3月31日	100	22	122

本年度は5種類の特別イベントを行いました。春の「さくらフェスタ」では、夜桜のライトアップ、さくらがテーマの歌を中心としたナイトコンサート、秋の「鳴く虫night!」では「音を楽しむ」をテーマに、庭園における鳴く虫観賞会を行いました。「Dreamnight at the zoo」では、障害をお持ちのお子さんとそのご家族を生物園に招待し、特別なふれあい体験などを行いました。

生物園開園25周年を記念した「感謝デー」では、台風の接近に伴い一部内容を変更したものの、多くのお客さまにご来園いただきました。

#### (2) ふれあいプログラム

ふれあいプログラムは当日募集で、来園者が生きものに触れたり、餌やりを見ることができるプログラムです。このように直接的にさわる、見るなどの体験は、未就学児のような低い年齢層の来園者にも、効果的に興味や関心を引き出すことができます。

ふれあいプログラム内容一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数 (人)		
			大人	小人	合計
カニ釣り	毎日	318	27,066	31,092	58,158
きつずルーム	毎日	316	6,083	6,450	12,533
哺乳類のふれあいコーナー	毎日	318	47,385	52,688	100,073
金魚すくい	年間数回	9	4,524	4,027	8,551
クリスマス馬車で記念撮影	12月22日～24日	3	200	223	423
タッチプール	7月21日～9月2日	44	5,613	6,696	12,309
チョウを放そう	毎日	314	3,119	3,339	6,458
ヒツジのショー	毎月第1土曜日	12	402	393	795
飼育員のおススメ	毎月第1土曜日	12	109	127	236
魚のごはん	毎日	513	8,509	9,100	17,609
昆虫のごはん	毎日	294	1,783	2,870	4,653
ミツバチの飼育	毎週日曜日(雨天、冬季を除く)	18	132	131	263
爬虫類のごはん	毎日	361	3,945	3,644	7,589
ニシキヘビと記念撮影	毎月第3日曜日	12	361	329	690
昆虫ドームの見どころ	4月29日、7月29日、10月14日、1月13日	4	58	83	141
ポニー乗馬	10月28日、1月27日、2月17日	3	0	569	569
アルパカと記念撮影	2月24日	1	402	416	818
モルモット雛壇と記念撮影	3月3日	1	30	41	71
干支の生きものと記念撮影	12月1日～1月6日(土日祝)	11	890	892	1,782
干支の引継ぎ式	1月2日	1	15	20	35
カブトムシ・クワガタムシにさわろう	7月21日～9月2日(土日祝)	13	578	650	1,228
ゴキブリたっち!	9月8日～12月24日(土日祝)	37	491	582	1,073
カメになってだませ!	4月1日	1	19	39	58
生きものを探せ!	4月1日	1	52	78	130
生きものたちでだませ!	4月1日	1	16	29	45
生きものタッチ	4月3日～5月13日	36	3,279	5,197	8,476
カエルの大冒険	5月19日～7月8日	37	2,532	4,058	6,590
標本解説	5月19日～7月8日、2月11日～3月31日	54	5,584	5,679	11,263
なりきり飼育員	7月15日～9月24日	69	86	553	639
金魚すくい練習	10月6日、7日、8日	3	70	74	144
金魚折り紙	10月1日～27日	22	77	221	298
だれのうち?	11月8日～1月28日	66	3,109	4,537	7,646
うちのにおい	11月8日～1月28日	46	534	1,312	1,846
アートコンテスト表彰式	2月17日	1	20	30	50
生きもの折り紙	2月1日～3月31日	38	69	379	448
計		2,990	127,142	146,548	273,690

本年度は35種類のふれあいプログラムを行い、計2990回実施し273,690人に対応を行いました。各種生きものの「ごはんの時間」は時間をずらして開催することで、いつ来園しても楽しめるようにしました。

各種生きものの「ごはんの時間」は実施時間をずらして開催することで、いつ来園しても楽しめるようにしました。この時間を目当てに来園し、解説員に生きものの質問をする方もいました。

また「モルモットひな壇と記念撮影」では71人の方がモルモットと並んで写真を撮り、大盛況となりました。飼育員手作りのひな壇、牛車にモルモットを配置し、季節のイベントを楽しんでもらいました。



モルモットひな壇と記念撮影

### (3) 導入型プログラム

導入型プログラムは当日募集で気軽に楽しめるプログラムで、生きものに関心や興味を持った方をターゲットとしています。

導入型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (日数)	対応人数 (人)		
			大人	小人	合計
公園ツアー	毎月第1日曜日	9	50	80	130
生きものガイド	毎月第2・4土曜日	23	106	200	306
まーしー園長のガイドツアー	毎月第4日曜日	12	105	115	220
ちびっこプログラム	毎週水曜日※祝祭日、夏休みを除く	40	218	231	449
うらがわ探検ツアー	毎月第2日曜日	14	108	120	228
昼のホタル観賞会	6月16日～7月8日(土日祝)、1月2日～5日	12	2,908	2,489	5,397
生きものにクリスマスプレゼント!	12月22日	1	0	20	20
金魚観賞の極意	9月29日	1	7	1	8
レザーアニマルクラフト	5月5日、6日	2	210	227	437
オリジナルキャンドルづくり	8月11日、12日、12月8日、9日	4	284	284	568
モバイル顕微鏡	9月22日、23日	2	329	316	645
こどもクイズ王選手権	1月6日	1	0	27	27
らんちゅう倶楽部	4月22日、8月19日、9月16日、10月21日	4	1,507	1,247	2,754
はじめての飼育「ダンゴムシ」	5月3日	1	0	10	10
おりがみで生きものを作ろう!	5月4日	1	63	70	133
ヒツジの毛刈り	5月14日	1	58	67	125
チョウの飼育体験	毎月第3日曜日	12	0	203	203
体験! 生きものふれあい教室	2月11日	1	8	32	40
スポットガイド「庭園解説」	終日随時	7	16	52	68
うんちで紙すき	1月14日	1	5	95	100
虫のうんちで染め物	1月14日	1	6	15	21
うんちをつくろう	1月14日	1	31	39	70
貴重なチョウのプラ板図鑑キーホルダーづくり	2月24日	1	3	17	20
	計	152	6,022	5,957	11,979

本年度は年間で計 152 回実施し 11,979 人に対応を行いました。定期的に行われるプログラムは 5 種類あり、生きものガイド、ちびっこプログラムなど全てが毎回テーマを変えて行っているプログラムで来るたびに新しい楽しみがあります。

うらがわ探検ツアーでは来園者が普段は入れない場所に特別に入ることが出来るため、人気があります。掃除の仕方や健康管理方法など飼育員だからこそ知っている生きもの秘密や飼育方法のコツを紹介しました。不定期に行われるものでは「うんちイベント」を実施しました。うんちを通じて生きものの食性、生態に興味をもってもらえるよう、3種類のプログラムを用意しました。生物園にいるリクガメ、ミゼットホースのうんちを使っての紙すき体験では、自分で作った紙を大切に持ち帰る様子が見受けられました。

### (4) 発展型プログラム

発展型プログラムは事前募集で、より深く生きものや自然について学べるプログラムです。興味・関心の高い層をターゲットとしており、人との共生を考える内容や、解剖などの高度なプログラムも行いました。

### 発展型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数 (人)			定員 (人)	参加率	応募人数 (人)	応募率	
			大人	小人	合計					
家族で釣り教室	5月13日	1	18	17	35	40	88%	72	180%	
ヒツジの毛でクラフト	5月27日	1	2	11	13	15	87%	13	87%	
春の海で生きもの採り	6月3日	1	21	18	39	40	98%	40	100%	
カブトムシを育てよう!	7月16日・22日	2	0	38	38	40	95%	49	123%	
生物園に泊まろう!	7月24-25日	1	0	30	30	25	120%	167	668%	
セミの羽化観察会	7月29日	1	15	17	32	30	107%	60	200%	
標本教室	8月19日	1	0	16	16	15	107%	33	220%	
夜のカエル観察会	8月25日	1	11	18	29	30	97%	36	120%	
家族で釣り教室	10月22日	1	19	20	39	40	98%	89	223%	
子ども飼育員	11月23日	1	0	16	16	14	114%	52	371%	
解剖! 魚の研究会	3月21日	1	0	24	24	20	120%	49	245%	
		計	12	86	225	311	309	101%	660	214%

本年度は年間で計 12 回実施し 311 人に対応を行いました。年間の総応募率は目標であった 120%を上回る 214%でした。

「子ども飼育員」では、生きものを飼育する責任、魅力を実感してもらうことを目的に実施しました。小学 3 年生～6 年生を対象に 16 人が参加し、哺乳類コース、サカナ・カメコースに分かれて飼育員の仕事を体験しました。アンケートでは「動物の気持ちになって物事を考えることが大切だとわかった」という声があり、興味を持っている生きものや職業について深く学ぶことができました。

「家族で釣り教室」では、つりを通じて、身近な池の魚類の種類や生態に興味を持つことを目的に実施しました。小中学生とその保護者を対象に年間 2 回開催し、35 組 74 人が参加しました。講師から釣りに関する基本的なレクチャーを受け、元湊江公園釣り池にて約 2 時間じっくりと釣りを楽しみました。プログラムの最後には釣れた魚の生態について解説を行い、魚への興味、関心を深められるようにしました。アンケートでは「最初はえさの赤虫にびっくりしてさわれなかった子どもたちも何回かしたら慣れていた。」という声があり、親子で楽しめるプログラムとなりました。

「解剖! 魚の研究会」では、サメの解剖観察を通して、参加者が魚の体のつくりと暮らす環境の関係について考えられるようになることを目的に実施しました。小学 4 年生～6 年生を対象に 24 人が参加しました。ヒトの体と比較しながらサメを解剖することで骨や胃の仕組みがどのように違うのかを参加者自身が発見していくことができました。参加者からは「サメは食べものを丸飲みをしていると思っていたけれど、ちゃんと中身が消化されていた」という声があがり、魚の体についてさらに興味を深めていくことができました。

#### 4. 区民協働活動の推進・支援

生物園は区民参加型の協働施設を目指しており、本年度も区民参加のボランティア活動を行いました。ボランティアは生物飼育の補助を行う「昆虫飼育ボランティア」と来園者への解説対応を行う「生きものふれあいボランティア」、公園の草花の管理を行う「公園花壇ボランティア」の3つのボランティアを運営しました。来年度も興味に合わせたボランティア活動が出来るように運営していきます。

##### (1) 昆虫飼育ボランティア

昆虫飼育ボランティアは、展示昆虫、餌用昆虫の飼育や、餌用植物などの管理を行うボランティアです。活動はボランティア登録者が任意の日付と時間を選び活動を行う通常の活動と、昆虫ドームなどの展示施設の整備を行う定期的な活動があります。また参加者向けの講習会なども行いました。

昆虫飼育ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
その他 (第2週)	内容	説明会	飼育講習	安全講習	里山講習	なし	なし	標本講習	標本講習	なし	なし	なし	ふりかえり		
	参加人数(人)	24	24	24	16			13	11					20	132
通常活動	回数(回)		21	26	28	27	27	27	28	27	27	30	22	30	320
	参加人数(人)		54	55	54	59	51	49	53	56	52	48	43	52	626
計														758	

本年度は28人の登録があり、年間320回、のべ758人の参加がありました。活動により飼育や消耗品などの飼育補助や、植替えや害虫駆除など屋外での管理作業が充実しました。また講習会では飼育補助の技術を高めるための飼育講座を行いました。通常活動に加えてこれらの講習会を行うことで、活動意欲の向上につなげることができました。

##### (2) 生きものふれあいボランティア

生きものふれあいボランティアはふれあいプログラムの補助、展示解説活動を行うボランティアです。活動は開園日のうち登録者が任意の日付と時間を選び活動を行うものです。また年2回の講習会と3回の勉強会を行い、解説に必要な技術や安全管理の視点について伝えました。

生きものふれあいボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
その他 (第3週)	内容	説明会	解説講習	安全講習				展示作成	展示評価			ふりかえり		
	参加人数(人)	6	5	4	0	0	0	3	3	0	0	4	0	25
通常活動	回数(回)	6	5	6	6	6	3	5	4	5	7	4	4	61
	参加人数(人)	14	8	10	8	7	5	8	7	8	8	7	8	98
計														123

本年度は5人の登録があり、年間61回のべ123人の参加がありました。活動は来園者の多い土日祝を中心に行われ、ボランティア活動により、多くの来園者に充実したふれあい体験や解説を行うことができました。

本年度は展示作りにも積極的に関わって頂き、来園者が展示を楽しく学ぶ空間作りにも力をいれました。また、プログラムの補助として、公園ツアーやDreamnight at the Zooにて備品の準備、参加者の写真撮影、片付けなどプログラムを支える裏方としても活躍の場を広げてきました。来年度はプログラムにおける活動へ参加しやすくするため、ボランティアに対する事前の情報共有を丁寧に行います。

### (3) 公園花壇ボランティア

公園花壇ボランティアは、元渚江公園内の花壇や草木管理を行うボランティアです。毎月第二木曜日を活動日とし、天候不良の際は同月内で変更しました。

公園花壇ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
その他 (第2週)	内容	説明会												
	参加人数(人)	3												3
通常活動	回数(回)		1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	10
	参加人数(人)		3	2	1	0	3	1	3	3	3	3	3	25
計														28

本年度は3人の登録があり、年間11回のべ28人の参加がありました。花壇の植え替えや除草など、草花の維持管理を行いました。今年度は猛暑により8月の実施は行いません。作業中は公園利用者から感謝のお声をいただくこともあり、活動意欲の向上にもつながったと考えられます。

## 5. 団体対応

生物園には幼稚園、小・中学校などの教育施設はもちろん、デイサービスなどの介護施設、一般団体など年間を通してたくさんの団体利用があります。本年度は1,020団体、計23,621人の利用があり、総来園者数の約10.8%を占めていました。これらの団体のうち希望のあった団体には解説員による団体プログラム対応を行いました。また、それ以外の団体対応として、園外へ出張して行う出張授業や、中学校・専門学校、大学への実習対応も行いました。

### (1) 団体プログラム

園内でのプログラム対応を行った団体は、のべ102団体、計7,320人でした。小学校には、園内の見どころや注意事項を紹介する「ウェルカム・お見送りトーク」や「クイズラリー」等のプログラムを提供しました。本年度も様々な種類の生きものを観察し解答する「クイズラリー」が人気で、小学校から多くの要望がありました。

団体プログラム活動一覧

プログラム内容	回数 (回)	対応人数 (人)		
		大人	小人	合計
ウェルカムトーク・お見送りトーク	62	377	5,026	5,403
クイズラリー	12	129	921	1,050
生物園ガイド	13	271	84	355
チョウの一生	1	4	70	74
チョウの一生(幼保)	4	14	236	250
生きものふれあい	1	4	44	48
公園ガイド	1	5	89	94
一日飼育員	1	0	4	4
生きものを解説しよう	2	0	7	7
レポート対応	3	4	0	4
インタープリテーション概論	2	31	0	31
計	102	839	6,481	7,320

## (2) 出張授業

本年度も小学校を対象とした出張授業を行いました。結果、小学校 9 校に実施し対応人数は計 655 人でした。実施したプログラムは「校庭の生きもの観察」や「チョウの飼育体験教室」など、1、2 年生生活科や 3 年生理科の授業に合わせたものが多かったです。

出張授業活動一覧

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
4月26日	足立区立弘道第一小学校	校庭の生きもの観察	4	117	121
5月11日	足立区立千住第八小学校	チョウの飼育教室	2	97	99
5月17日	足立区立足立小学校	チョウの飼育教室	4	109	113
6月8日	足立区立長門小学校	校庭の生きもの観察	5	106	111
6月15日	足立区立弘道小学校	昆虫の体のつくり	2	46	48
7月19日	足立区立本木小学校	チョウの飼育教室	4	16	20
10月12日	足立区立青井小学校	校庭の生きもの観察	2	45	47
10月22日	足立区立洲江小学校	校庭の生きもの観察	2	70	72
12月4日	足立区立洲江第一小学校	腐葉土を作ろう	2	22	24
合計 9団体			27	628	655

## (3) 教職員向け講座

小学校の教員を対象とした講座を用意しました。本年度は 1 回 28 人に対応を行いました。教員からの要望として、校庭で見られる生きものの観察方法を季節ごとに紹介しました。

教員向け講座活動一覧

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数 (人)		
			大人	小人	合計
9月12日	墨田区立小学校理科部会	校庭で見られる生きもの	28	0	28
合計 1団体			28	0	28

## (4) 教員課程大学生向け講座

学校教員や幼稚園保育園の職員を目指す大学生向けの講座を用意しました。本年度は 1 回 40 人に対応を行いました。チョウの飼育方法を中心に、身近な生きものの扱い方について紹介しました。

教員課程大学生向け講座活動一覧

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数 (人)		
			大人	小人	合計
7月24日	帝京科学大学	チョウの飼育教室	40	0	40
合計 1団体			40	0	40

(5) 実習対応

本年度は職場体験・訪問、インターン、学芸員実習と4種類の対応を行いました。

① 職場体験

職場体験は、13校38人に対応を行いました。実施中は園内のいくつかの業務を数日に分けて体験することができ、各種飼育や解説業務（プログラム・展示作成）などを体験しました。また体験後はそれぞれの適正に気付き将来設計に役立てられるよう振り返りを行いました。

職場体験対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
足立区立東島根中学校	6月26日	1	4	4
足立区立谷中中学校	6月27日	3	3	9
足立区立竹の塚中学校	7月10日	3	3	9
足立区立湊江中学校	7月12日	2	3	6
足立区立栗島中学校	9月5日	3	3	9
足立区立花畑北中学校	9月12日	3	3	9
足立区立千寿桜堤中学校	9月19日	2	3	6
足立区立花保中学校	9月21日	1	2	2
足立区立十四中学校	9月25日	1	3	3
足立区立鹿浜菜の花中学校	9月26日	3	3	9
足立区立伊興中学校	11月7日	3	3	9
足立区立東綾瀬中学校	11月27日	3	2	6
足立区立十三中学校	2月5日	3	3	9
		31	38	90

② 職場訪問

職場訪問は8校36人に対応を行いました。ほとんどが動物園や水族館に関心のある生徒で、「生きものを仕事にする上で大切な事は何か？」など仕事に関する様々な質問に対応しました。

職場訪問対応一覧

実施対象	実施日	対応人数(人)
北海道教育大学附属函館中学校	4月11日	4
東京都立葛飾総合高等学校	4月13日	4
石巻市立河南西中学校	4月25日	3
花畑北中学校	5月14日	3
岡崎市立甲山中学校	6月12日	6
足立区立栗島中学校	9月6日	7
足立区立花畑中学校	11月30日	6
足立区立第五中学校	2月1日	3
	計	36

### ③ インターン

インターンは専門学校や大学など 10 回 17 人に対応を行いました。全ての学生が生物学や飼育を専門にしている、キャリアアップのために実践的な飼育や解説体験を行いました。

インターン対応一覧

実施対象	体験開始日	期間(日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
大宮国際動物専門学校	6月4日	19	3	57
国際動物専門学校	6月11日	12	1	12
玉川大学	8月3日	11	1	11
東邦大学	8月6日	11	1	11
日本獣医生命科学大学	8月7日	7	2	14
埼玉動物海洋専門学校	9月4日	26	1	26
大宮国際動物専門学校	10月15日	20	5	100
東京コミュニケーション専門学校	12月16日	15	1	15
帝京科学大学	2月17日	7	1	7
日本獣医生命科学大学	3月11日	13	1	13
		計	17	266

### ④ 学芸員実習

学芸員実習は大学での学芸員資格を取得するために必要な実習で、1 回 13 人に対応を行いました。実習では博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験実習を行いました。

実施対象	体験開始日	期間(日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
帝京科学大学 学芸員実習	8月24日	10	6	60
東京農業大学	8月24日	10	2	20
北里大学	8月24日	10	2	20
明治大学	8月24日	10	1	10
立教大学	8月24日	10	1	10
日本獣医生命科学大学	8月24日	10	1	10
		計	13	130

### ⑤ 学生ボランティア

学生ボランティアは、大きなイベントに合わせ専門学校や高校から参加してもらいました。高校生には子どもたちの盛り上げ、ドックトレーニングを学ぶ学生にはわんフェスのドッグランなど、各学校や専門に合わせたイベントで依頼しました。

学生ボランティア対応一覧

実施対象	体験開始日	期間(日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
大宮国際動物専門学校	4月28日	2	4	8
淵江高等学校	7月25日	1	2	2
大宮国際動物専門学校	8月3日	3	4	12
大宮国際動物専門学校	9月30日	1	3	3
淵江高等学校	11月3日	1	1	1
大宮国際動物専門学校	11月3日	1	5	5
淵江高等学校	1月6日	1	2	2
		計	21	33

## 6. 展示による解説

### (1) 常設展

観察展示室「ジャングルの世界」の改修に伴い、より観察しやすい展示としました。生息環境に近い造形や魚類やカメ類など新規生物の導入に加え、今まで人気であった下からの覗きスペースも、広く見やすいものへと作り変えました。



ジャングル水槽

### (2) 特別展・企画展

来園者にいつ来ても新鮮な内容で楽しめるように定期的に入れ替える展示を園内各所で行いました。

#### ① 特別展

特別展は特別イベントや特別な生体展示と合わせて開催される展示で、本年度は6回開催しました。全ての特別展が生きもの研究室全体を使って開催しました。

展示中は生体のふれあい等の体感できるハンズオン展示に力を入れました。特に「生きもの育てよう展」の「なりきり飼育員」では、実際に使っている制服や道具を設置し、生きものを飼育する環境を体感していただきました。



「夏だ！生きもの育てよう！展」

また「うんち展」では、小学校高学年を対象としたパネルを作成しました。生きもののおうちに含まれる成分やそこからわかる情報だけでなく、うんちを利用した生存戦略を体感できるハンズオンを作成することで小学生の興味関心をより高められる内容を心掛けました。



「うんち展」

うんちに擬態した昆虫を探す

#### 平成30年度特別展開催実績一覧

タイトル	展示場所	開始	終了
だまされた展	生きもの研究室	—	4月1日
生きものタッチ展	生きもの研究室	4月3日	5月13日
夏だ！生きもの育てよう！	生きもの研究室	7月11日	9月24日
金魚展	生きもの研究室	9月27日	11月4日
うんち展	生きもの研究室	11月7日	1月27日
アートな生きもの展	生きもの研究室	1月30日	3月31日

## ② 企画展

企画展は比較的小規模な展示です。本年度は24回の企画展を園内各所で行いました。

本年度もむしむしコーナーや生きもの研究室で行われる企画展のほかに、季節や行事に合わせた「生物園の母の日展」や「ひな人形」などの展示を行いました。

### 平成30年度企画展開催実績一覧

タイトル	展示場所	開始	終了
エイプリルフール展	園内全体	4月1日	4月1日
両生類展	生きもの研究室	5月16日	7月8日
標本展	生きもの研究室	5月16日	7月8日
生物園の母の日展	休憩コーナー	4月24日	5月13日
生物園の父の日展	休憩コーナー	5月29日	6月17日
身近な生きものの飼い方	休憩コーナー	—	4月22日
		5月14日	5月27日
		6月19日	10月21日
		11月6日	—
生物園のハロウィン展	休憩コーナー	10月23日	11月4日
ハンターな虫たち展	むしむしコーナー	—	5月6日
迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威	むしむしコーナー	5月9日	7月16日
カブトムシ・クワガタムシ展	むしむしコーナー	7月19日	9月2日
ゴキブリ展	むしむしコーナー	9月5日	12月28日
人と虫の衣・食・住展	むしむしコーナー	1月2日	3月31日
チョウの蝶能力	チョウの飼育室	4月4日	7月22日
チョウを探しに出かけよう	チョウの飼育室	4月4日	5月6日
ツシマウラボシジミの保全	チョウの飼育室	5月8日	11月4日
チョウの自由研究	チョウの飼育室	7月24日	8月31日
食欲の秋！チョウの大好物は何だ！？	チョウの飼育室	9月1日	11月18日
いもむし大集合	チョウの飼育室	11月6日	1月20日
いもむし大集合～結果発表～	チョウの飼育室	1月23日	3月31日
冬のチョウ	チョウの飼育室	11月20日	3月31日
五月人形	であいの広場	4月26日	5月4日
七夕	であいの広場	6月24日	7月7日
クリスマス	であいの広場	12月4日	12月28日
ひな祭り	であいの広場	2月14日	3月3日



迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威展



母の日展

## 7. 印刷物による解説

### (1) セルフガイド

セルフガイドは生物園の展示をより楽しめるような生きものなどに関する情報や家庭でできるプログラムや生きもの飼育についてまとめた配付物です。A4 白黒三つ折で、手軽に持ち帰ることができるようになっています。

No	セルフガイドタイトル	配布数												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	きらわれものいきものたち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	しいくシリーズ① カブトムシ	40	71	235	130	90	50	1	86	77	97	20	0	897	
3	バタフライ・ウォッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	イヌ 人とであう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	流水の天使クリオネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	標本をつくろう！カブトムシ編	20	72	143	119	107	53	21	20	0	40	0	0	595	
7	荒川とそこにすむ魚たち	88	144	165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	397	
8	標本をつくろう！チョウ編	0	40	100	72	80	18	43	0	26	14	40	80	513	
9	魚の口じまん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	ハチのふしぎのせかい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	干潟のいきもの	20	0	20	20	20	40	39	2	0	0	0	20	181	
12	のぞいてみようミクロの世界	63	57	29	51	55	65	81	65	47	47	53	28	641	
13	ホタルのふしぎ	139	163	671	7	135	70	87	52	89	60	49	71	1593	
14	うんちのひみつ	79	29	20	21	79	40	20	163	62	153	12	0	678	
15	アリの世界	102	64	40	20	80	40	35	45	0	0	45	35	506	
16	水生昆虫大研究	150	146	84	99	180	131	125	55	0	70	118	132	1290	
17	チョウのうんこ染めに挑戦	0	0	0	0	0	75	73	126	54	65	27	20	440	
18	鳴く虫のはなし	0	0	0	40	147	97	60	57	0	0	0	0	401	
19	カエルがわかる	63	97	165	25	32	52	76	69	11	14	46	0	650	
20	虫の冬ごし	0	0	0	0	0	20	42	119	49	71	59	81	441	
21	東京の生物多様性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
22	ハットとおどろく菌のはなし	6	0	80	36	44	20	61	0	0	0	0	0	247	
23	生きもの伝説ウソ?!ホント?!	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	40	41	
24	セミの観どころ 見分けどころ?	0	0	33	138	161	0	1	0	0	0	20	0	353	
25	みつけてかんさつダンゴムシ	87	51	88	129	200	156	69	148	142	66	70	74	1280	
26	生きものっていい漢字!	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	
27	イモムシのエサさがし!	39	118	103	39	41	130	117	74	0	20	0	60	741	
28	むしとりをしよう!	0	0	0	18	134	0	1	0	0	0	0	0	153	
29	金魚を飼う	409	20	20	99	569	193	469	80	20	59	120	61	2119	
30	とぶ飛ぶ跳ぶ生きもの	23	0	0	0	124	48	89	60	40	35	41	84	544	
31	カマキリを飼う	0	0	20	98	139	76	128	0	0	0	102	58	621	
32	ナミアゲハを飼う	179	170	217	144	305	194	182	140	76	65	89	137	1898	
33	虫たちの巣	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	
34	池で釣りをしよう	40	100	67	58	66	49	61	30	0	40	72	88	671	
35	夜の生物園を楽しもう	20	48	134	21	20	0	21	73	87	0	0	0	424	
36	ゴキブリいろいろ★	110	103	167	0	40	150	276	177	180	0	40	58	1301	
37	うたのなかの生きもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	ハチミツとミツバチ	48	0	5	35	30	63	39	149	0	35	53	52	509	
38	カタツムリ	115	115	57	111	170	121	114	76	22	66	64	92	1123	
39	熱帯と亜熱帯	73	45	20	0	60	20	64	37	40	20	0	0	379	
40	バッタを飼う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	40	
41	公園の野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	60	
7	荒川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	
合計		1943	1653	2683	1530	3108	1971	2398	1903	1022	1037	1140	1391	21779	

本年度はセルフガイドを 21,779 部 配布しました。42 種類、うち 3 種類は新規に作成したものです。施設内で展示されている生きもの関連は配布数が多く、園外で観察できる題材については少ない傾向にありました。

新規に作成したセルフガイドは、これまで要望の多かった「バッタを飼う」、公園で良く見られる野鳥を取り上げた「公園の野鳥」、既存の荒川とそこにすむ魚たちに情報の相違があったため、荒川について新しい情報を取り入れた「荒川」の 3 点を発行致しました。



新たに作成したセルフガイド

(2) ニュースレター

ニュースレターは A4 両面フルカラーの印刷物で、表面は生物園の展示やプログラムなどのイベント案内を中心とした広報媒介ですが、裏面には解説的な内容を掲載しています。広報媒介に解説的な内容を織り込むことにより、ニュースレターをより読みたくなるようにしました。

ニュースレター裏面のコラム一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生きものみどころ情報	ヤエヤマトガリナナフシ	モンシロチョウ	セイヨウミツバチ	パルマワラビー	オオカミウオ	アオダイショウ
解説員のひとりごと	気になる樹木はありますか？	田んぼの中には？	普段は見られない姿に癒される	ワクワクの巡視	足立を舞う緑の鳥	田んぼで暮らす仲間
ちょっとひといき	右と左でなにが違う？	コイのたきのぼり	まちがいがし	模様いろいろ	カマキリのまちがい探し	ゴキブリの名前はどっちでしょ〜♪

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生きものみどころ情報	ヒョウモントカゲモドキ	チリメンナガクビガメ	ピラルクー	オカメインコ	シバヤギ	ハイロゲンゴロウ
解説員のひとりごと	秋にさくらフェスタはありませんが・・・	ノーベンパーステップ	動物たちの冬じたく	太陽と金魚の水槽	冬でも楽しい！釣りの世界	地上にある不思議な根
ちょっとひといき	返送名人 コノハチョウはどれ？！	だれのうんち？	いきものさがし	ウリ坊はどこ？	ハチにそっくりな虫たち	こどもとおとな

裏面の内容にはそのときに見ごろの生きものについて紹介した「生きものみどころ情報」、スタッフの目線で生きものや自然の楽しみ方を紹介する「解説員のひとりごと」、クイズやゲームなどのお楽しみ要素を生物園風に作成した「ちょっとひといき」の計 3 コラムを掲載しました。

### 生きものみどころ情報

#### アオダイショウ

英名 *Aesopis as as*  
学名 *Elytus olivaceus*

**展示場所** 1階 あだちのいきの観察室

1階 あだちのいきの観察室

**生きもの情報**  
北海道〜本州、四国、九州以北幅広く生息しています。日本産有数のヘビで、体長は最大2m程と日本最大種です。森林から人家にも生息し、カエルやネズミなどを食べます。

**飼育ポイント** **舌を出すのは理由がある？**  
ヘビが舌を出すことにはどんな理由があるのでしょうか？実は、ヘビは舌を使って「においをかいで」います。舌を出すことでおおいの分子を舌に付着させ、舌の裏にあるヤコブソン器官で嗅ぐという仕組みです。毎週土曜14:30からの「ヘビのごはんの時間」で見ることができるので、じっくり観察してみてください。

### 解説員のひとりごと

#### 田んぼで暮らす仲間

私はどなかた田舎に住んでいて、田舎の隅には田んぼが広がっています。私もそんな田んぼを持つ二人、白鳥田んぼとその周りの生きもの観察を行っています。

秋も近づく9月、稲穂はたわわに実っています。この時期になると、私も種々の草履をあつたしくなっています。草履から種取り機（コンバイン）や農圃用の軽自動車、乾燥機に稲藁機と様々な機械や車を引っ張り出してメンテナンスを行います。

でも、もしかしたらあつたほしいのは私だけではないのかもしれない。稲刈りの時期になると、田んぼの草はなくなり、カエルやタニシ、ザリガニたちは穴を掘って冬眠の準備を仕掛けていきます。生きものたちの苦勞に、共感してしまう今日の讀です。

飼育員 すがま まさる

### ちょっとひといき

#### ゴキブリの名前はどっちでしょ〜♪

ゴキブリといっても種類はいっぱい。Gと一様に実在するゴキブリの名前を選んでゴールをめざそう！

スタート  
チリメンナガクビゴキブリ  
マッチョゴキブリ  
シロゴキブリ  
クロゴキブリ

ゴール  
グリーンアップルゴキブリ  
マダガスカルゴキブリ  
マダガスカルゴキブリ

ゴール  
コキブリの新しい情報はホームページを見てね。

#### ご利用案内

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）  
年末年始（12月29日〜1月1日）

観覧料  
9:30~17:00 9:30~16:30  
大人 300円  
小人 150円  
幼児 50円

足立区立生物園  
TEL 03-3884-5577  
FAX 03-3884-8996  
@setsubuon\_info  
@setsubuon

### 生きものみどころ情報

#### ピラルクー

英名 *Araucaria Prarucu*  
学名 *Arpaima gigas*

**展示場所** 1階観察室 大遊園 大温室

**生きもの情報**  
南アメリカ・アマゾン川流域〜オシロイソウシの流れる熱帯の森や、かたごころの地に生息し、最大で5m近くまで成長する世界最大級の淡水魚です。主に魚類を食べますが、時には鳥類や草履も捕食します。

**観覧ポイント** **目の前の獲物は逃さない**  
獲物の顔は、背を泳ぎ泳ぎと目に見え、大きな唇を立てて飲み込みます。ピラルクーは成魚でも泳ぐことはできません。魚の目の水や空気と飲み込む事で自分よりもずばっといくほも前進することができます。「プログラム大魚捕獲のこぼし」の観には絶望で見ることもできますので、ぜひ遠くまで目で楽しんでください。

### 解説員のひとりごと

#### 動物たちの冬じたく

冬は寒いもので、今年も獲るところあつたわすかたになりました。冷え込みも厳しくなり、衣替えを済ませた方も多いと思います。

生物園の動物たちも冬準備を前に、衣替えを済ませています。

冬に丸まったツツジたちも、毛が生えそろうモコモコのウール100%の草履を編んでいます。アヒルなどの鳥たちもダウンに覆われ、とても暖かそうです。人が編めるような草履でもアヒルちゃんのように、メーメー、ガーガー元気いっぱいです。

皆さんもそんな動物たちに負けず、元気一杯、生物園へいらしてください。

飼育員 ひろし はるのぶ

### ちょっとひといき

#### いきものさがし

生物園に生息する生きもの名前があと7つ隠れているよ！（例は除く）  
見つけたら例のように耳でかこんでね、全部見つけたかな？  
答えは下にあります。

3つだけ  
コキブリ

例  
コキブリ  
カオ  
オト  
ロム  
サカ  
バ  
ゴキ  
キア  
キミ  
ズ  
クラ  
ゲク  
ヤウ  
サ  
ギキ  
ハ  
ロ  
ア  
オ  
ダイ  
ショウ  
マ  
ゲ  
ン  
ゴ  
ロ  
ウ  
モ

#### ご利用案内

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）  
年末年始（12月29日〜1月1日）

観覧料  
9:30~17:00 9:30~16:30  
大人 300円  
小人 150円  
幼児 50円

足立区立生物園  
TEL 03-3884-5577  
FAX 03-3884-8996  
@setsubuon\_info  
@setsubuon

ニュースレター裏面レイアウト(左:9月号 右:12月号)

## 8. 連携事業

元湊江公園・生物園では周辺の地域や企業・団体と連携した施設運営を行うことで、地域に愛され利用される施設を目指しています。今年度もさまざまな連携を行いました。

### (1) 元湊江公園・生物園利用推進協議会

元湊江公園・生物園利用推進協議会は地域の利用者や企業、団体、学校と意見交換会を行い、要望や意見を汲み取り利用促進やサービス向上につなげるものです。今年度もミュージアムショップが中心となって足立区の多様な企業とともに生物園のお土産を開発する「生物園お土産研究会」、区内の教育施設の実務者と専門家による「教育利用研究会」、元湊江公園の活性化につなげるため周辺町会との「地域利用研究会」を各2回開催しました。

#### ① お土産研究会 (p.195~198 参照)

7月6日の第16回お土産研究会は、オリジナル商品の販売状況や連携事業についてのご報告と、「オリジナル商品を評価しましょう」というワークショップ形式の2つをメインに行いました。ミュージアムショップからの報告としましては、前回と同じ「オリジナル商品の販売状況についてお話ししました。また、羊毛グッズの共同開発を行っているニットキュア株式会社に、ちびっ子プログラムでワークショップを実施していただいたので、それについてのご報告をしていただきました。

「オリジナル商品の評価をしましょう」では、既存のオリジナル商品について実際に売り場を見ながら「商品のコンセプトは伝わるか」、「この商品を買おうと思うか」、「改善点や新展開などのアイデア」等をワークシートに記入していただき、商品ごとにグループを分け意見交換を行いました。

2月22日の第17回お土産研究会は、オリジナル商品や連携事業についてのご報告と企業の皆さまからのご提案をメインに行いました。

ミュージアムショップからの進捗報告に関しましては、前回の研究会で行った「オリジナル商品の評価」で出た意見を参考に、商品の売場のディスプレイや売り方を改良したことについてお話ししました。

また、本年度わんフェス出店についてのご報告を、参加企業の皆様からしていただきました。生物園での催しが研究会参加者それぞれの事業発展の一助となれるよう、今後もイベントとの連携を続けてまいります。

「自社製品のご紹介、新規取り組みのご提案」では、多くの企業からご提案やご意見をいただきました。

#### ② 教育利用研究会 (p.199~202 参照)

6月26日に行われた教育利用研究会では、保育園・幼稚園、小学校、中学校のそれぞれの教員と大学教員1名で3つのグループにわかれ、新規プログラムの具体的な内容を検討しました。その後中学校は夏休み、それ以外は秋に試験的な実施をしました。

2月12日に行われた研究会では、各グループのこれまでの経緯や新規プログラムの実施報告を行った後、プログラムの改善や今後の他教育施設への展開について話し合いました。

### ③ 地域連携研究会 (p.203~207 参照)

H29年度より発足した地域連携研究会は、10月22日に2回目の会議を設けました。南保木間町会、東保木間町会の2町会の町会長含め、各部会の代表者の方々と元湊江公園のさらなる利用について意見交換を実施しました。その中で、元湊江公園内を含めた近隣地域での危険な自転車走行が目立つというご意見がありました。そこで、安全・安心に公園を利用して頂けるような企画を検討し、2019年3月16日に第3回地域連携研究会「元湊江公園 自転車安全教室」を実施しました。



自転車安全教室では、2町会の他に、竹の塚警察署交通安全課に協力を頂き、実技講習や交通安全教育映像視聴コーナー、白バイに乗って記念撮影など様々なコンテンツをご用意して頂きました。また、参加者には、足立区交通対策課と竹の塚警察署提供のリフレクターやキーホルダーを特典としてお渡ししました。実質1時間の開催で、参加者数は146人でした。

来年度も地域とのつながりを強め、元湊江公園が地域のシンボルとなるような公園となるように様々な連携を計画していきたいと思っております。

## (2) 地元企業との連携

生物園ではミュージアムショップを中心に、足立区の企業と連携した商品の開発や販売イベントの実施を行っています。

### ① オリジナル商品開発における連携

以前よりニットキュア(株)との連携で開発・販売をしている「生物園のヒツジの毛」シリーズに、カラー羊毛が新登場しました。前回出した羊毛、毛糸は自由研究などに使えるクラフトグッズとしての売り出しだったのですが、商品の包み方やラベルを拘り、生物園に来る母親層をターゲットにしました。

また、K-Dash design&ONION PRINTとの連携で、オリジナルデザインのトートバッグが新商品として登場しました。生物園で人気のある3匹のネコや、金魚のオリジナルデザインを起用して作成しました。「生物園に来るときは必ずこのバッグを持ってきます」と気に入って使用して下さる常連客もいます。

### ② プログラムやイベントとの連携

5月に実施したちびっこプログラムをニットキュア(株)と共に行いました。今までのクラフト系ワークショップの実施とは異なる新しい取り組みになります。

また、11月開催のわんフェスでは「お土産研究会」ブースとして(有)篠原刃型、(有)クラ工業、(有)クラフトファクトリーワカナベの3社が出店しました。

### ③その他

動物園情報誌「どうぶつのくに」の読者プレゼントや、東京スカイツリーの「Beautiful NIPPON」全国観光 PR コーナーにて、12月に足立区観光交流協会が出展した際のキャンペーンの景品に、多くの生物園のオリジナル商品が起用されました。このように、区内企業との連携で開発した生物園のオリジナル商品は、ショップ外でも足立区の PR として紹介されています。

### (3) プログラム連携

展示やプログラムを園外の施設で行う出張形式のイベント連携だけでなく、園内で実施していただくコンサートなどのイベントも行いました。

#### ① イベントとの連携

本年度も足立区主催のイベント等さまざまなイベントに協力を行いました。区内の公園や施設で実施されたイベントには出張生物園を行い、生物園の生きものの展示やふれあいからPRへ結びました。

#### 連携イベント一覧

日付	イベント	主催	開催場所	協力内容
4月7日～8日	千本桜まつり	立区観光交流協会、足立区、東京都建設局、東京都交通局、(公財)東京都公園協会	舎人公園	出張生物園
5月13日 (日)	第回足立子どもまつり	足立子どもまつり実行委員会	元洲江公園	会場提供、告知など
5月19日～20日	地球環境フェア	足立区、足立区温暖化防止区民会議実行委員会	足立区役所本庁舎	出張生物園
6月2日～3日	しょうぶ祭り	足立区観光交流協会・足立区	しょうぶ沼公園	出張生物園
7月29日 (日)	建設フェスタ	東京土建一般労働組合足立支部 足立建設業人材育成支援センター	元洲江公園	会場提供、告知など
9月8日 (土)	東京藝術大学アウトリーチコンサート	足立区地域文化課・東京藝術大学	足立区生物園	会場提供、告知など
10月21日 (日)	秋のスポーツ・健康フェスタ	桜花亭	桜花亭	出張生物園
10月28日 (日)	公園まるごとおもちゃ箱	公園おもちゃ箱の会	元洲江公園	会場提供、告知、ポニー乗馬など
12月1日～25日	光の祭典	足立区観光交流協会	元洲江公園・足立区生物園	夜間特別開園、ホテル観賞会など
3月3日 (日)	梅まつり	足立区公園整備課	大谷田公園	出張生物園

#### ② 区内商業施設との連携

区内の商業施設との連携も行いました。西新井の商業施設 西新井パサージュ(6月、8月、11月)、新たに千住のポンテ・ポルタ(7月、11月)にて出張生物園を行いました。モルモットなどの哺乳類とのふれあいや生物園の生きもの、標本を多数用意しました。また、生物園のポスター掲示やパンフレットなどの配布を行いました。

#### ③ あだち自然の遊び場連携

あだち自然の遊び場における連携として、都市農業公園のイベントでプログラムを行いました。また、都市農業公園からは、わんフェスやさくらフェスタにて「出張朝市」に来てもらいました。また、都市農業公園で行われたイベントで金魚すくいなどのプログラムを行いました。

### あだち自然の遊び場連携一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容	
			大人	小人		
5月13日	(日)	畑でチョウの幼虫探し	都市農業公園	4	10	プログラム実施
6月10日	(日)	畑のチョウを育ててみよう	都市農業公園	9	6	プログラム実施
8月4日～6日		金魚すくい	都市農業公園	88	88	金魚すくいの実施
11月3日	(土)	わんわんマルシェ(出張野菜販売)	足立区生物園	—	—	出張野菜販売
3月31日	(日)	とれたて野菜販売	足立区生物園	—	—	出張野菜販売

#### ④ 観光交流協会（東武鉄道との連携）

今年度も足立区観光交流協会実施の「竹の塚マップ&スタンプラリー」に協力しました。竹の塚を知り、愛着を育むことを目的としており、生物園ではマップの配布、スタンプラリーのポイント、景品の引換を行いました。

また、東武鉄道とも連携し、12月1日～3月31日の間は、生物園に入園いただいた方に東武鉄道オリジナルグッズの配布も行いました。



生物園正面玄関前スタンプ台

## IV 広報活動

### 1. メディア対応と掲載・放映の実績

#### (1) メディアへの情報配信

毎月1回、各月のプログラム情報を定期配信した他、大きなイベントやショップの新商品については個別にプレスリリースを配信しました。配信先は、平成31年3月31日現在で17件です。昨年度より2件配信先を増やし、より多くの方に当園のプログラムを届けるよう努めました。

H30年度 情報発信記録

配信日	リリース内容	配信先の数	備考
4月1日	5月のプログラム情報	15件	
4月20日	ツシマウラボシシジミ公開展示	19件	
5月1日	6月のプログラム情報	15件	
5月11日	迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威	19件	
5月25日	ホテルのタベ	19件	
6月1日	7月のプログラム情報	17件	
6月30日	8月のプログラム情報	17件	
7月31日	9月のプログラム情報	17件	
8月10日	はちみつ販売	19件	
8月31日	10月のプログラム情報	17件	
8月31日	鳴く虫night!	19件	
9月17日	25周年	19件	
10月1日	11月のプログラム情報	17件	
10月27日	わんフェス	19件	
11月1日	12月のプログラム情報	17件	
12月1日	1月のプログラム情報	17件	
1月1日	2月のプログラム情報	17件	
2月1日	3月のプログラム情報	17件	
3月1日	4月のプログラム情報	17件	

H30年度 情報定期配信先

NO	配信先名
1	ジェイコム足立
2	朝日新聞とうきょうマリオン
3	読売新聞 江東支局
4	東京新聞ショップパー さいたま支社
5	足立区観光交流協会
6	足立朝日
7	足立よみうり
8	足立経済新聞
9	株式会社 ばど
10	読売新聞 シティライフ
11	竹ノ塚地域学習センター
12	保塚地域学習センター
13	サンケイリビング新聞社 東京本部
14	株式会社かみゆ(日経DUAL)
15	足立区福祉部親子支援課一人親家庭支援担当
16	サンケイリビング新聞社 東葛本部
17	あだち百景

#### (2) 掲載・放映実績

本年度は、184件のメディア掲載・放映がありました（昨年度比9件増加）。

区分別掲載・放映実績

	H30年度	前年比	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
情報誌	80	10	70	70	65	69
新聞	31	2	29	50	47	37
WEB	39	-8	47	35	19	14
TV	19	3	16	17	17	31
書籍	3	-2	5	5	8	6
その他	12	4	8	19	14	3
合計	184		175	196	170	160

H30年度 情報誌への情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
あだち広報	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
ぼど	・	1	・	1	1	・	1	・	・	1	1	1	7
保塚地域学習センター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
竹の塚地域学習センター「たけのこ」	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
中央本町地域学習センター「オアシス」	・	・	・	・	・	1	1	1	1	1	1	1	7
足立区全地域学習センターミニコミ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	1
POLUS発行「住まいリング」	1	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2
まみたん(ぼど別冊)	1	1	・	・	・	1	・	1	・	・	・	・	4
あんふあん	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
TXリビング	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
どうぶつのに	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
機関誌『エース』2019年新春号(No.262)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1
あだち百景	1	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	2
マナビゲート	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1
as Partners	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
るるぶ「こどもとあそぼ」	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	1
Traiii(トレイール)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	1
こどもとおでかけ365日	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1
合計	7	7	5	7	6	7	6	6	6	8	7	8	80

H30年度 新聞への情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
足立朝日	1	1	1	・	1	1	1	1	1	1	1	1	11
読売新聞 江東版	・	・	・	・	1	1	・	1	1	・	・	2	6
足立よみうり	・	1	・	・	・	1	1	・	・	1	・	1	5
朝日新聞マリオン	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	1
読売新聞	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	1
朝日新聞	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1	2
読売シテイライフ	・	1	・	・	1	・	・	・	1	・	・	・	3
The Japan News	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
公明新聞	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
合計	1	3	2	0	3	4	2	3	3	3	1	6	31

H30年度 WEBへの情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
いこーよ	・	1	1	1	・	1	1	1	・	・	1	・	6
オデッソ	・	1	1	1	1	・	・	・	・	・	1	・	5
EventBank	・	1	1	1	1	・	1	1	・	・	・	1	7
Dokka	・	1	1	1	1	・	1	1	・	・	・	・	6
足立経済新聞	・	1	・	・	・	1	・	・	1	・	・	1	4
カレコ	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
ロコナビ	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
どうぶつのにWEB	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1
足立区観光交流協会HP	・	・	・	・	1	・	・	・	1	・	・	1	3
339(sansaku)	・	・	・	・	・	1	1	・	・	・	・	・	2
かみゆ	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
テニテオ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1
ままでい	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	1
合計	0	5	5	5	5	2	4	4	3	1	2	3	39

H30年度 TVへの情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
J:COM「デイリーニュース」	1	・	・	・	・	1	1	1	・	・	2	3	9
NHKEテレ「みいつけた！」	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
ぶらり途中下車の旅	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
NHK「まいごちすくすく」	・	・	・	4	・	・	・	・	・	・	・	・	4
所さんの目がテン!	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
ねづっちい散歩	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	1
NHK「ひるまえほっと」	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
朝の!散歩道	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1
合計	3	0	0	4	0	2	1	2	1	1	2	3	19

H30年度 書籍への情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
関東・東北じゃらん	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
kodomoe6月号	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
出没!あだちつく天国	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	1
合計	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3

H30年度 その他への情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
映画「くそ野郎と美しき世界」	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
平成30年版・わたしたちの東京都・東京都の地図	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
豆の木メール	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
あだち教育だより71	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
スカイツリー足立区広報リーフレット	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
TOBU GROUP報	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1
観光交流課「秋は千住がオモシロイ」	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
日経DUAL	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
光の祭典リーフレット	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	1
東武緑地社内報	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
足立区職員採用試験パンフレット	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	2
合計	3	0	1	1	0	2	0	1	3	0	0	1	12

## 2. ホームページによる情報発信

### (1) ホームページのアクセス数

今年度のホームページアクセス総数は、263,933件と昨年に比べ41,848件増加しました（昨年アクセス総数：222,085件）。

本年度アクセスグラフを見ると4月が13,339件と大きく増加しており、これは映画（「くそ野郎と美しい世界」）、TV（「ぶらり途中下車の旅」、「NHK みいつけた」）、あだち広報で特集を組まれるなど、大きなメディア露出が重なったためと思われます。

逆に、7、8月のアクセス数が減少しているのは猛暑日が続いたため、多くの方が外出を控えたためと思われます。この猛暑は、来年以降も想定されますので、今後、涼しく楽しめる夏のイベントなど広報計画を立てていけたらと考えております。

H30年度 足立区生物園HP更新実績

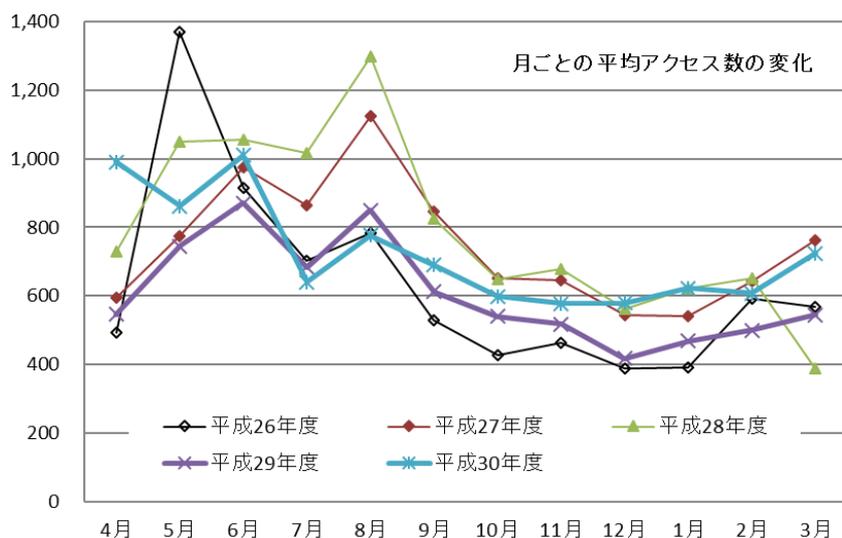
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
1-1 アイキャッチ画像	3	2	2	2	2	1	0	0	4	1	2	2	21	月1回
1-2 開園情報														Twitterで告知
1-3 生物園からのお知らせ	4	4	4	10	4	6	5	4	4	6	2	4	57	随時
1-4 Facebook	7	6	6	6	5	3	8	10	6	6	5	4	72	週2回
1-5 Twitter													746	毎日
2-1 施設案内												1	1	年1回内容確認
3-1 プライバシーポリシー												1	1	年1回内容確認
3-2 年間報告書				1									1	年1回
2-2 園内マップ												1	1	年1回内容確認
2-3 プログラム情報	2	3	3	1	1	1	1	1	1	2	2	1	19	月1回
2-4 生物園の生きもの	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	2	1	10	月1回
2-5 よみもの	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
3-3 ニュースレター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	月1回
3-4 解説員のひとりごと	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	月1回
3-5 調査・研究・受賞								1					1	随時
2-6 交通案内												1	1	年1回内容確認
2-7 団体のお客様へ										1		1	2	年1回内容確認
2-8 元洲江公園の情報												1	1	年1回内容確認
2-9 お問い合わせ												1	1	年1回内容確認
3-6 よくある質問												1	1	年1回内容確認
3-7 電話での問い合わせ												1	1	年1回内容確認
3-8 メールでの問い合わせ												1	1	年1回内容確認
2-10 プレスリリース	1	2											3	随時
2-11 リンク												1	1	年1回内容確認
2-12 指定管理業者												1	1	年1回内容確認
1-6 特設サイト		1					1				1		3	随時
月ごとの合計	21	21	18	24	16	15	19	20	19	19	17	28	983	

※セル内数字は更新回数

## 月ごとのアクセス数推移

	月の日数	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり
4月	30	2,908(3日)	493	17,811	594	21,846	728	16,391	546	29,730	991
5月	31	42,511	1,371	24,013	775	32,588	1,051	23,089	745	26,741	863
6月	30	27,475	916	29,272	976	31,657	1,055	26,123	871	30,303	1,010
7月	31	21,738	701	26,752	863	31,550	1,018	21,209	684	19,833	640
8月	31	24,296	784	34,909	1,126	40,252	1,298	26,341	850	24,068	776
9月	30	15,897	530	25,356	845	24,729	824	18,349	612	20,697	690
10月	31	13,242	427	20,194	651	20,088	648	16,722	539	18,543	598
11月	30	13,898	463	19,375	646	20,313	677	15,527	518	17,308	577
12月	31	12,055	389	16,861	544	17,461	563	12,952	418	17,959	579
1月	31	12,109	391	16,811	542	19,294	622	14,509	468	19,272	622
2月	28	16,597	593	18,624	642	18,269	652	14,007	500	17,028	608
3月	31	17,558	566	22,128	763	12,051	389	16,866	544	22,451	724

※数字はトップページのビュー数。※平成27年度はうるう年のため2月は29日

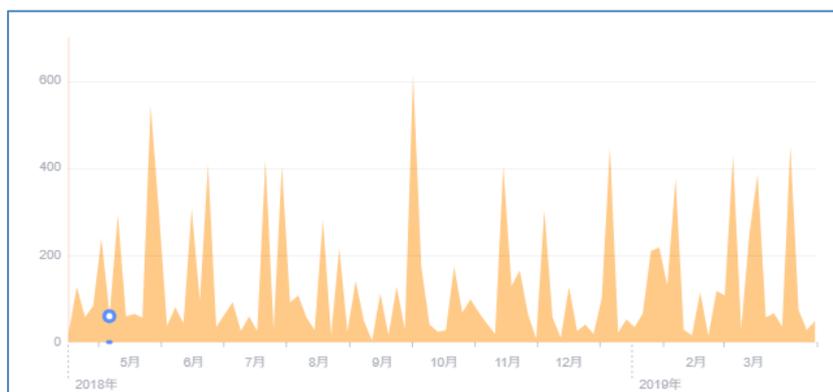


## (2) SNS の運用

### ① Facebook アカウントの運用

H28年5月から運用を開始したFacebookですが、読者の「知的好奇心をくすぐるコラム」をテーマに運用を続けました。今年度は72の記事を投稿し、中でも9月に投稿した【ゴキブリとカマキリ】が約2,500リーチとなり人気の記事でした。続いて、【イモムシ総選挙】(1月)や【死んでしまった生きもののゆくえ】(3月)などが1,000を超えるリーチとなり、多くの方に届いた記事となっています。

H31年3月31日現在、フォロワー数は1,154人となっています。



## ② Twitter アカウントの運用

H29年11月から運用を開始したTwitterですが、「瞬間的な生物園の魅力を伝える」ツールとして、飼育員ならではの視点でPRに活用し、原則毎日投稿をしました。

H31年3月31日現在、フォロワー数は1,132人となっています。

記録期間	2017/10/25~2019/04/20 ( 543日間 )
総ツイート数	746件
つぶやいた日数	471日
つぶやかなかった日数	72日
一日の平均ツイート数	1.5件
一日の最高ツイート数	5件 ( 2019/02/01 )
ツイート文字数	57,830文字 ( 77.5文字/件 122文字/日 )
コミュニケーション率	0.1%
フォロー増加ペース	0.0人/日
フォロワー増加ペース	2.1人/日
フォロワー/フォロー比率	0 (逆:0)
フォロー可能人数	5,000人 (残り5,000人)
Twitter登録日時	2017年09月06日 14時41分10秒

## 3. ポスター・チラシ等による情報発信

### (1) ポスター

昨年度に引き続き、期間展示情報、プログラム情報、イベント情報などをポスターにして掲示しました。掲示箇所は生物園入口・元渚江公園入口掲示板(各2枚)、園内(基本1枚、必要に応じ2枚)、生物園建物壁面(2枚)、竹ノ塚駅前看板(2枚)、アトリウム(1枚)です。また、竹ノ塚駅高架工事に伴い、掲載のできなかった竹ノ塚駅通路にて、10月のわんフェスポスターから常設として再開しました。

例年通りアトリウムのポスターは、背景を右記のスケジュールで更新しました。季節に応じたデザインで来庁される方の視線を誘導するように強くアピールできたのではないかと思います。

また、大型イベントに関しては、南保木間町会、東保木間町会の地域掲示板スペースをお借りし、近隣住民の方へPRしました。

4月	上旬	さくら
	下旬	さくら
5月	上旬	新緑のさくら
	下旬	新緑のさくら
6月	上旬	あじさい
	下旬	あじさい
7月	上旬	湿地の緑
	下旬	湿地の緑
8月	上旬	湿地の緑
	下旬	湿地の緑
9月	上旬	花と空
	下旬	花と空
10月	上旬	花と空
	下旬	秋の草原
11月	上旬	秋の草原
	下旬	秋の草原
12月	上旬	クリスマス
	下旬	クリスマス
1月	上旬	冬景色
	下旬	冬景色
2月	上旬	冬景色
	下旬	冬景色
3月	上旬	さくら
	下旬	さくら

## ポスターの掲示実績

掲示場所	生物園入口		元瀬江公園入口		園内	建物屋外壁面		竹ノ塚駅前看板		竹ノ塚駅通路	アトリウム		
	1	2	3	4	1~数枚	1	2	1	2		1	2	
サイズ	80×80 (cm)	80×80 (cm)	80×80 (cm)	80×80 (cm)		B2	B2	53×53 (cm)	53×53 (cm)	B1	B1	B1	
4	上	生きもの タッチ展	4月の プログラム	金魚すくい	4月の プログラム	4月のプログラム	生きもの タッチ展	チョウ 企画展	生きもの タッチ展	未掲載	生きもの タッチ展		
	中		5月の プログラム	ホテルの タペ	5月の プログラム	5月のプログラム						両生類展 /標本展	ホテルの タペ
	下												
5	上	ホテルのタ ペ	5月の プログラム	ホテルの タペ	5月の プログラム	5月のプログラム	スタンプCP	両生類展 /標本展	両生類展	未掲載	ホテルのタ ペ		
	中												
	下												
6	上	昼のホタル /移動動物園	6月の プログラム	昼のホタル /移動動物園	6月の プログラム	6月のプログラム	スタンプCP	両生類展 /標本展	両生類展	未掲載	昼のホタル /移動動物園 (ハーフ?)		
	中												
	下												
7	上	夏休み イベント	7月の プログラム	夏休みイベ ント	7月の プログラム	7月のプログラム	カブクワ展	生きもの育 てよう!	カブクワ展	未掲載	夏休みイベ ント		
	中												
	下												
8	上	鳴く虫night	8月の プログラム	鳴く虫night	8月の プログラム	8月のプログラム	カブクワ展	生きもの育 てよう!	カブクワ展	未掲載	夏休みイベ ント		
	中												
	下												
9	上	25周年	9月の プログラム	25周年	9月の プログラム	9月のプログラム	カブクワ展	生きもの育 てよう!	カブクワ展	未掲載	25周年イ ベント		
	中												
	下												
10	上	わんフェス	10月の プログラム	わんフェス	10月の プログラム	10月のプログラム	ゴキブリ展	金魚展	わんフェス	わんフェス	わんフェス		
	中												
	下												
11	上	冬のホタル 観賞会	11月の プログラム	冬のホタル 観賞会	11月の プログラム	11月のプログラム	ゴキブリ展	うんち展	冬のホタル 観賞会	冬のホタル観賞会	冬のホタル観賞会		
	中												
	下												
12	上	うんち祭り クイズ王	12月の プログラム	うんち祭り クイズ王	12月の プログラム	12月のプログラム	ゴキブリ展	うんち展	うんち	未掲載	うんち		
	中												
	下												
1	上	アート コンテスト	1月の プログラム	うんち祭り クイズ王	1月の プログラム	1月のプログラム	スタンプCP	人と虫の衣 食住	うんち	未掲載	うんち		
	中												
	下												
2	上	ポニー /移動動物園	2月の プログラム	ポニー /移動動物園	2月の プログラム	2月のプログラム	スタンプCP	アートな生 きもの展	ポニー /移動動物園	生物園PRポ スター	ポニー /移動動物園		
	中												
	下												
3	上	さくら フェスタ	3月の プログラム	さくらフェ スタ	3月の プログラム	3月のプログラム	スタンプCP	アートな生 きもの展	さくらフェ スタ	生物園PRポ スター	さくらフェ スタ		
	中												
	下												

### (2) ニュースレター

今年度もイベントや展示など生物園のPRに関する情報を載せたニュースレターを毎月1回発行・印刷を行いました。印刷したニュースレターは区内の施設や生物園の受付などで配布する他、近隣の小学校10校（瀬江第一小、瀬江小、保木間小、東栗原小、加平小、中島根小、平野小、花保小、花畑小、竹の塚小）で配布を行いました。

また、4月号から新しい配布先として東保木間町会と南保木間町会の回覧板で各家庭に毎月回して頂くことが地域連携研究会で決定しました（東保木間町会77部、南保木間町会35部）。これにより近隣住民の方から、さらなる生物園の活用が期待されます。

発行日	種類	サイズ/仕様	部数	主な掲載内容
4月7日	ニュースレター5月号	A4	8,000	春の金魚すくい
5月14日	ニュースレター6月号	A4	10,000	ホテルのタベ
6月5日	ニュースレター7月号	A4	9,000	海の生きものタッチプール
6月30日	ニュースレター8月号	A4	9,000	夏の金魚すくい
8月6日	ニュースレター9月号	A4	10,000	生物園25周年感謝デー
9月11日	ニュースレター10月号	A4	9,000	わんフェス
10月14日	ニュースレター11月号	A4	9,000	うち展/ゴキブリ展
11月12日	ニュースレター12月号	A4	9,000	夜間特別開園in光の祭典
12月7日	ニュースレター1月号	A4	9,000	小学生クイズ王選手権
1月9日	ニュースレター2月号	A4	9,000	アートな生きもの展
2月11日	ニュースレター3月号	A4	9,000	さくらフェスタ
3月11日	ニュースレター4月号	A4	9,000	冒険あそび

■ニュースレター6月号

今年のホテルは ちよつとちがう 生物園  
**ホテルのタベ**  
 14年ぶりにあの光景がよみがえる！  
 今宵、昆虫ドームでホテルが舞う  
 6月7日(木)～10日(日)  
 19:30-21:00 (入場 18:00から 観覧料 20:30)  
 入場料 大人300円 小人150円

夜の生物を観察  
 ホタル解説コーナー  
 屋のホタル観賞会  
 6月16日～7月3日  
 18:00-19:00 (観覧料 20:30)

スタンプキャンペーン  
 6月1日～7月20日  
 期間中、来園された方にスタンプを捺印し、スタンプを5個集めると、景品をプレゼント！

【食品】毎週のちよつとちフリス&ストラップ  
 景品を集めてはちよつとちの部分を交換しよう！  
 スタンプがもらえるのは、15時30分までです。

プログラムの参加しよう！  
 チョコを放そう 毎日 15:30-  
 ちよつとちプログラム 毎週水曜日 11:00-  
 生きものガイド 第2・4土曜日 14:00-  
 飼育員のオススメ 6月2日(土) 14:00-

■ニュースレター12月号

夜は光のイベントたくさん 生物園  
**光の祭典**  
 14年ぶりにあの光景がよみがえる！  
 夜間特別開園  
 冬のホテル観賞会  
 特別開園 18:00-20:30  
 期間中 (30分ごとに観覧) 各回40人  
 12/1, 2, 8, 9, 15, 16, 22, 23, 24月(25)夜  
 ナイトツアー「熱帯の世界」  
 特別開園 18:30-20:30  
 期間中 (30分ごとに観覧) 各回40人  
 12/25 (祝) 特別開園 (17:00-21:00)  
 ※生体(16:00まで) ※観覧料を大人1,000円 ※小学生以下は観覧料【大人料金のみ】無料

昼はサンタになる？イベントたくさん  
 干支の生きものと記念撮影  
 オリジナルキャンドル作り  
 クリスマスマチエと記念撮影  
 生きものにクリスマスプレゼント！

プログラムの参加しよう！  
 チョコを放そう 毎日 15:30-  
 ちよつとちプログラム 毎週水曜日 11:00-  
 生きものガイド 第2・4土曜日 14:00-  
 ビジのショー 雨天 12月1日(土) 13:10- 中止

飼育員のオススメ 12月1日(土) 14:00-  
 公園ツアー 12月2日(日) 11:00- 中止  
 ちよつとちプログラム 12月9日(日) 11:00-  
 ニシキヘビと記念撮影カメラ 12月16日(日) 14:30- 持参  
 家～し～園長のガイドツアー 12月23日(日) 11:00-

年末年始の休園日  
 平成31年12月31日(日)～平成32年1月1日(月)の期間、休園させていただきます。  
 平成31年1月2日から再開いたします。

(3) チラシ

本年度は 15 回のチラシを発行・配布を行いました。生物園内での配布や、近隣町会、イベント関係団体など幅広く配布を行いました。また昨年度に引き続き、東武動物公園の折り込みチラシにて、「生物園 25 周年感謝デー」「東武動物公園×足立区生物園 相互減免キャンペーン」の部分掲載を行い広域に渡って配布をして頂きました。

発行日	種類	サイズ/仕様	部数	配布状況
4月15日	つり教室	A4	100	生物園内で配布
5月4日	ヒツジの毛でストラップ	A4	55	生物園内で配布
5月20日	ヒツジの毛でストラップ	A4	50	生物園内で配布/あまり20程度
6月9日	ホテルのタペ	A4	300	生物園内で配布
9月1日	東武動物公園新聞折り込みチラシ	A4	100,000	東武動物公園から約20km圏内に配布
9月15日	25周年感謝デー	A5	500	生物園内で配布
9月17日	25周年感謝デー	A5	300	生物園内で配布
9月23日	25周年感謝デー	A5	400	生物園内で配布
10月19日	わんフェスチラシ	A4	2,500	生物園内で配布
10月20日	わんフェス(輪転機)	A4	200	生物園内で配布
10月23日	わんフェス(輪転機)	A4	500	生物園内で配布
11月9日	アート展チラシ	A4	2,000	近隣小学校/生物園内で配布
12月下旬	東武動物公園新聞折り込みチラシ	A4	100,000	東武動物公園から約20km圏内に配布
2月10日	元洲江公園 自転車安全教室	A4	200	南・東保木間町会/生物園内で配布
3月1日	さくらコンサート	A4	200	生物園内で配布

### ■わんフェスチラシ



### ■家族で釣り教室



### (4) 中吊り広告

本年度は中吊り広告を4回掲載しました。11年ぶりの開催となった「ホテルのタペ」と「わんフェス」の全面広告を東武スカイツリーラインとアーバンパークラインに掲出しました。「中吊りを見て来た」という声もあり、大きく生物園のPRに寄与したのではないかと考えます。

開始日	終了日	種類	サイズ	部数	配布状況
5月10日	6月10日	ホテルのタペ	B2	3,510	東武スカイツリーライン、東武アーバンパークライン
9月1日	9月30日	スポット掲載 (生物園25周年感謝デー)	B2	20,000	東武線全線
10月10日	11月3日	わんフェス	B2	3,510	東武スカイツリーライン、東武アーバンパークライン
12月20日	1月31日	スポット掲載 (年パスキャンペーン)	B2	20,000	東武線全線

■ホタルの夕べ

■わんフェス



4. その他の情報発信

(1) 幼稚園・保育園・その他児童施設や介護施設への FAX 配信

平日の比較的に園内が空いてる時間帯をもっと団体の施設見学などに利用して欲しいと考え、昨年度から「生物園みどころ情報 FAX」を毎月幼稚園や保育園、介護施設などに許可を得て送信する取り組みを始めました。配信当初は261事業所を対象としていましたが、今年度は12件宛先を増やし273事業所を対象としました。

ニュースレターのような凝ったものではなく、FAXの送信に耐えられるシンプルなデザインを心がけ、団体でいらしたお客様も皆さんで楽しんで貰えるような情報を配信していきます。

**足立区生物園**  
Adachi Park of Living Things  
みどころ情報 (H30.6月)

毎年恒例、生物園のホタル観賞会の季節がやってきました！今年は何年と11年ぶりとなる屋外観賞会を復活させることとなりました！自然が産んだ夏のイルミネーションをご家族・ご友人とお楽しみください。

**ホタルの夕べ**  
6月7日(木)～6月10日(日)  
19:30～21:00  
生物園夜間開園は18:00から開園(最終入園は20:30)

昔は足立区にもホタルが生息しており、夏の風物詩として親しまれていたそうです。しかし、現在は都市化が進み、ホタルが暮らせる環境は失われつつあります。今回実施するホタルの観賞会は、当時を知る来園者の方から多くご要望を頂き、11年前まで行われていた屋外の観賞形式を復活させることとしました。昆虫ドームの中を無数のゲンジホタルやヘイケホタルが幻想的に明滅し光線を描く様を、触れられそうな程近い距離でお楽しみ頂けます。

※生体の発生状況により内容が変更になる場合もございます。  
※大変混雑が予想されますので、ご来園は公共交通機関をご利用下さい。尚、「ホタルの夕べ」時は団体駐車場はご利用頂けません。予めご了承下さいませ。

**ふれあいコーナー**  
毎日 行っている  
モルモットやワサギなどかわいい小動物とふれあえます。  
10:00～12:00 13:30～15:30  
※団体でのご利用は、前日までの予約が必要です。(土日祝は予約不可)

**ごはんの時間**  
生きている  
プログラム  
生きものたちがごはんを食べる様子を観察できます。  
昆虫 10:30頃< 大型魚類 11:30頃< 土曜 アーチーフウガ13:00頃  
リクガミ 13:45頃 金魚 14:00頃 Aヒ 14:30頃  
哺乳類 15:00頃 鳥類 15:00頃 チンチラ 16:00頃

団体利用のお申し込みやお問合せ、またご案内のFAXがご不要な場合はご連絡ください。  
【連絡先】〒121-0064 東京都足立区保木間 2-17-1 TEL.03-3884-5577

**足立区生物園**  
Adachi Park of Living Things  
みどころ情報  
2019年 3月号

待ちに待った桜の季節がやってきました！3月22日現在、元洲江公園のソメイヨシノも少しずつ開花し始めました！足元を見ると春の野草にテントウムシなど春を告げる沢山の命の息吹を感じられます。みなさんも公園で春の訪れを探してみてください。

**さくらフェスタ in 元洲江公園**  
3月21日(木祝)～4月7日(日)

今年で3回目となる元洲江公園inさくらフェスタ、決して桜の本数は多くないですが、たわな枝ぶりのソメイヨシノは毎年見事な花をつけます。夜桜のライトアップやコンサートなど様々な催しを行いますので、生物園を楽しんだ後は、公園の夜桜観賞はいかがですか？

桜の開花情報はこちら！ → twitter: @saibutuen\_info

<b>夜桜ライトアップ</b> 3月21日(木祝)～4月7日(日) 期間中 18:00～21:00 元洲江公園の桜をライトアップします。夜空を白く染める美しいソメイヨシノの花をお楽しみください。	<b>さくらコンサート</b> 3月30日(土)、31日(日) 15:00～16:00(16:00前開始) 無料(特設入園料) 【出演】 3月30日(土) 杉本カラオケ 3月31日(日) 足立区立音楽隊 コーラス・パフォーマンス部	<b>ケータリングカー</b> 3月21日(木祝)～4月7日(日) 期間中 11:00～ お花を盛り上げる美味しい軟食売場が期間中毎週末公園にやっています！
--	--	---

**ふれあいコーナー**  
毎日 行っている  
モルモットやワサギなどかわいい小動物とふれあえます。  
10:00～12:00 13:30～15:30  
※団体でのご利用は、前日までの予約が必要です。(長期休み・土日祝は不可)

**ごはんの時間**  
生きている  
プログラム  
生きものたちがごはんを食べる様子を観察できます。  
昆虫 10:30頃< 大型魚類 11:30頃< 土曜 アーチーフウガ13:00頃  
リクガミ 13:45頃 金魚 14:00頃 Aヒ 14:30頃  
哺乳類 15:00頃 鳥類 15:00頃 チンチラ 16:00頃

団体利用のお申し込みやお問合せ、またご案内のFAXがご不要な場合はご連絡ください。  
【連絡先】〒121-0064 東京都足立区保木間 2-17-1 TEL.03-3884-5577

## (2) J:COM デイリーニュースとのコラボレーション

「地域のいまを切り取り、住民の生活に役立つ情報を素早く伝える」がコンセプトのデイリーニュースとのコラボレーションを2月より開始しました。J:COM アプリ「ど・ろーかる」をダウンロードし、SNS 感覚で投稿することで、生物園の旬な情報を番組内で紹介して頂けるといった内容です。これを用い、庭園での生きものの繁殖やお花の開花状況などを投稿しました。これによって、生物園の情報を2月は放送2回、3月は放送3回と紹介して頂きました。

来年度以降もこの取り組みは継続していきたいと思えます。

## 第二章 生物飼育業務

### I 生物飼育業務

#### 1. 平成 30 年度の飼育状況

##### (1) 昆虫類

今年度、足立区生物園の昆虫類の飼育は、チョウ類、水生昆虫類、陸生昆虫類の3つの区分で管理を行いました。また、チョウ類の管理は分類学上ではチョウ目のみとなるため、科（および亜科）による区分で飼育管理を行いました。なお、分類学上は昆虫ではないが、餌用生体として飼育管理した種（カタツムリなど）については、餌として使用する区分ごとに飼育管理を行いました。



年間飼育種数は 210 種 41,540 匹(チョウ類 72 種 9,101 匹、水生ホタル 2 種 1,379 匹、ホタルを除く水生昆虫類 25 種 2,498 匹、ホタル餌用貝類 6 種 約 3,300 匹、バッタ目 22 種 13,572 匹、陸生甲虫類 28 種 3,862 匹、その他の陸生昆虫 55 種約 7,828 匹)でした。

##### (2) 両生爬虫類

今年度、足立区生物園の両生爬虫類の飼育では、年間 66 種 240 匹（両生類：24 種 138 匹、爬虫類：42 種 102 匹）の飼育管理を行いました。



##### (3) 水族

水族班が飼育管理を行う種は分類学上において多岐に渡るため、綱レベルでの区分とし飼育管理を行いました。水族の年間飼育種数は 255 種 4,492 匹（うち魚類は軟骨魚類綱：2 種 2 匹、条鰭綱：86 種 2,005 匹）でした。

綱	目数	種数	頭数
1 ヒドロ虫綱	1	1	7
2 鉢虫綱	2	2	21
3 花虫綱	5	17	65
4 渦虫綱	1	1	11
5 多板綱	1	5	17
6 腹足綱	7	51	674
7 二枚貝綱	1	2	11
8 多毛綱	5	7	34
9 スジホシムシ綱	1	1	1
10 カブトガニ綱	1	1	2
11 軟甲綱	2	44	707
12 ウミユリ綱	1	3	3
13 ヒトデ綱	3	8	542
14 クモヒトデ綱	1	6	225
15 ウミ綱	3	8	61
16 ナマコ綱	3	10	104
17 軟骨魚類綱	2	2	2
18 条鰭綱	11	86	2005
合計	51	255	4492

##### (4) 鳥類哺乳類

今年度、足立区生物園の鳥類哺乳類の飼育では、年間 22 種 100 匹（鳥類：8 種 31 羽、哺乳類：14 種 69 頭）の飼育管理を行いました。

2. 各飼育区分の飼育種数および頭数のリスト

(1) チョウ類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考		
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	450	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	クロアゲハ	268	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	シロオビアゲハ	562	有	大温室	屋外採集個体を含む		
	ナガサキアゲハ	723	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	キアゲハ	22	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	カラスアゲハ	103	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	アオスジアゲハ	10	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ジャコウアゲハ	327	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ベニモンアゲハ	20	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	オナガアゲハ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	ヤエヤマカラスアゲハ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	ミカドアゲハ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	タテハチョウ科	マダラチョウ亜科	オオゴマダラ	712	有	大温室	飼育個体のみ
リュウキュウアサギマダラ			566	有	大温室	屋外採集個体を含む	
スジグロカバマダラ			94	有	大温室	屋外採集個体を含む	
ヒメアサギマダラ			383	有	大温室	屋外採集個体を含む	
マルバネリリマダラ			1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
アサギマダラ			334	有	大温室	屋外採集個体を含む	
ツمامラサキマダラ			200	有	大温室	飼育個体のみ	
タテハチョウ亜科		ミドリヒョウモン	6	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		ギンボソヒョウモン	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		ツマグロヒョウモン	259	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		コムシジ	126	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		シータテハ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		キタテハ	3	有	大温室	屋外採集個体のみ	
		アカタテハ	20	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
		ヒメアカタテハ	3	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		ルリタテハ	6	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		アオタテハモドキ	1	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		イシガケチョウ	253	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		タテハモドキ	101	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		ヤエヤマムラサキ	7	有	大温室	屋外採集個体のみ	
		ヤエマイチモンジ	3	有	大温室	飼育個体のみ	
		コノハチョウ	17	有	大温室	飼育個体のみ	
		コムラサキ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		オオムラサキ	18	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		クジャクチョウ	2	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		サカハチチョウ	25	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		アサマイチモンジ	1	有	大温室	飼育個体のみ	
		ゴマダラチョウ	3	有	大温室	屋外採集個体のみ	
		テングチョウ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		カバタテハ	170	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
		ジャノメチョウ亜科	リュウキュウヒメジャノメ	510	有	大温室	屋外採集個体のみ
			サトキマダラヒカゲ	73	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
			ヤマキマダラヒカゲ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
			コジャノメ	26	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
			ヒメウラナミジャノメ	313	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
マサキウラナミジャノメ	1		有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
シロチョウ科	モンシロチョウ	282	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	スジボソヤマキチョウ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	スジグロシロチョウ	2	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ツマキチョウ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	モンキチョウ	95	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	キタキチョウ	645	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	クロテンシロチョウ	430	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	ツマベニチョウ	403	有	大温室	屋外採集個体を含む		
	ナミエシロチョウ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	ムラサキツバメ	2	有	昆虫ドーム	飼育個体のみ		
シジミチョウ科	ルリシジミ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	ツバメシジミ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	ベニシジミ	58	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ウラナミシジミ	4	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	ヤマトシジミ	36	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ウラギンシジミ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	ツシマウラボシシジミ	321	有	大温室	飼育個体のみ		
セセリチョウ科	キマダラセセリ	4	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	チャバネセセリ	11	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	オオチャバネセセリ	2	有	昆虫ドーム	飼育個体のみ		
	コチャバネセセリ	2	有	昆虫ドーム	飼育個体のみ		
	ミヤマセセリ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	ダイミョウセセリ	5	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
イチモンジセセリ	56	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む			
総種数	72						
総個体数	9,101						

(2) 水生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
コウチュウ目	ゲンジボタル	720	有	ホタルのタベ ホタルの昼間観賞会	孵化幼虫数45086頭
	ヘイケボタル	659	有	ホタルの昼間観賞会 冬のホタル観賞会	羽化成虫(夏:333頭、冬:326頭) 孵化幼虫数14637頭(夏9705頭、冬:4,932頭)
	オオミズスマシ	40	有	ハンター展 常設展	
	トビイロゲンゴロウ	1	有		
	クロゲンゴロウ	1	有	常設展	
	コガタノゲンゴロウ	22			
	ゲンゴロウ	39	有	常設展 衣食住展	
	ヒメフチトリゲンゴロウ	28			
	シマゲンゴロウ	39	有	常設展	
	ハイイロゲンゴロウ	30	有	常設展	
	コガムシ	6			
	ガムシ	10	有	常設展	
カメムシ目	タガメ	35	有	ハンター展 常設展	
	コオイムシ	52	有	常設展	
	ミズカマキリ	4			
	タイコウチ	10	有		
	ナベブタムシ	11			
	ナミアメンボ	10	有	飼ってみよう展	
	マツモムシ	50	有	常設展 飼ってみよう展	
トンボ目	アジアイトトンボ	20	有		幼虫
	ギンヤンマ	10	有		幼虫
	クロスジギンヤンマ	30	有	常設展 ハンター展	幼虫
	シオカラトンボ	20	有		幼虫
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ	20	有	衣食住展	幼虫
ヘビトンボ目	ヘビトンボ	10	有		幼虫
双翅目	セスジユスリカ	1,000	有		幼虫
	アカイエカ	1,000	有		水生昆虫の餌として (数は概算)
吸腔目	カワニナ	1,000	有		水生ホタル類幼虫の餌として (数は概算)
原始紐舌目	タニシ	1,000	有		
有肺目	インドヒラマキガイ	1,000			
	モノアラガイ	100			
	ヒメモノアラガイ	100			
	サカマキガイ	100			
総種数	33				
総個体数	7,177				

(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
ゴキブリ目	クログキブリ	300	有	ゴキブリ展 人と虫の衣・食・住展	
	コワモンゴキブリ	200	有	ゴキブリ展	
	チャバネゴキブリ	600	有	ゴキブリ展	
	グリーンバナナゴキブリ	30	有	ゴキブリ展	
	ドミノゴキブリ	50	有	ゴキブリ展	
	ヒカリモンゴキブリ	6			グロウスポットローチより改称
	ヤエヤマオオゴキブリ	50	有	ゴキブリ展	
	ヒメマルゴキブリ	500	有	ゴキブリ展	
	ヤエヤマダラゴキブリ	150	有	ゴキブリ展	
	オブロンゴナータマダガスカルゴキブリ	600	有	生きものタッチ展 ゴキブリ展 人と虫の衣・食・住展 生物園の母の日展	
	インシグニスマダガスカルゴキブリ	300	有	ゴキブリ展	
	ヤヴァニカマダガスカルゴキブリ	400	有	生き物タッチ展 ゴキブリ展	
	ヴァンウェレベクキマダガスカルゴキブリ	150	有	ゴキブリ展	
	アルゼンチンモリゴキブリ	500			
	ヨロイモグラゴキブリ	2			繁殖させるためにバックヤード で管理
	チュウトウゴキブリ	1,000			レッドローチより改称 エサ用として飼育
	ブラベルスゴキブリの一種	150			
	ウルシゴキブリ	60			
	ケンランマルゴキブリ	5			
	リュウキュウゴキブリ	800		ゴキブリ展	オガサワラゴキブリより改称
ホタルゴキブリ	500				
カマキリ目	チョウセンカマキリ	3	有	ハンターな虫たち展	
	オオカマキリ	13	有	ハンターな虫たち展 夏だ！生きもの育てよう！ 休憩コーナー	
	ハラビロカマキリ	8	有	ハンターな虫たち展	
	ヒナカマキリ	5			
	ヒシムネカレハカマキリ	3	有	ハンターな虫たち展 だまされた展	
	メダマカレハカマキリ	17	有	アートな生きもの展	
	コモンフラワーマンティス	11			
ハチカマキリ	19	有	アートな生きもの展		
ナナフシ目	ヤエヤマトガリナナフシ	100	有	生きものタッチ展 だまされた展 アートな生きもの展	オキナワナナフシから改称
	コバナナフシ	150	有	生きものタッチ展 だまされた展 生物園のハロウィン展	
	タイワントビナナフシ	70			
	ツダナナフシ	50			
バッタ目	ヤブキリ	6	有	休憩コーナー 夏だ！生きもの育てよう！	
	キリギリス	8	有	鳴く虫night!	
	ケラ	7			
	ウマオイ属の複数種	6	有	鳴く虫night!	
	クツムシ	20	有	鳴く虫night!	
	クサキリ	1			
	エンマコオロギ	60	有	夏だ！生きもの育てよう！ 鳴く虫night!	
	マツムシ	30	有	鳴く虫night!	
	アオマツムシ	1			
	マダラコオロギ	2			
	スズムシ	200	有	夏だ！生きもの育てよう！ 鳴く虫night!	
	カンタン	15	有	鳴く虫night!	
	フタホシコオロギ	3,000			エサ用として飼育
	ヨーロッパイエコオロギ	10,000			エサ用として飼育 毎週購入
	ヤエヤマクチキコオロギ	30			
	タイワンクツムシ	3			
	ダイトウクダマキモドキ	70			
	オキナワモリバッタ	10			
	イシガキモリバッタ	10			
イリオモテモリバッタ	80				
ショウリョウバッタ	7	有	夏だ！生きもの育てよう！		
ツチイナゴ	6	有	人と虫の衣・食・住展		
カメムシ目	シロモンオオサシガメ	90	有	ハンターな虫たち展	

コウチュウ目	マイマイカブリ	1	有	ハンターな虫たち展	
	ミヤマクワガタ	3	有	カブクワ展	
	ノゴギリクワガタ	4	有	夏だ！生きもの育てよう！	
	コクワガタ	2	有	夏だ！生きもの育てよう！	
	サキシマヒラタクワガタ	9	有	カブクワ展	
	オオクワガタ	8	有	生きものタッチ展 カブクワ展	
	チビクワガタ	60	有	カブクワ展 生物園の父の日展	
	ニジイロクワガタ	18	有	カブクワ展 人と虫の衣・食・住展 アートな生きもの展	
	ギラファノゴギリクワガタ	4	有	カブクワ展	
	メタリフェルホソアカクワガタ	34			
	セアカフタマタ	4	有	カブクワ展	
	マンディブラリスフタマタクワガタ	2	有	カブクワ展	
	ライヒヒラタクワガタ	4	有	カブクワ展	
	ダイオウヒラタクワガタ	9	有	カブクワ展	
	ロンギョンベルスミツノカブト	2	有	カブクワ展	
	カブトムシ	60	有	休憩コーナー 夏だ！生きもの育てよう！ カブクワ展 うんち展	
	ヘラクレスオオカブト	19	有	生きものタッチ展 カブクワ展	
	コーカサスオオカブト	4	有	カブクワ展	
	アトラスオオカブト	4	有	カブクワ展	キロンオオカブト
	マルスゾウカブト	4			
	ミヌトウスダテヅノカブト	2			
	オオシママドボタル	30	有	生きものタッチ展 ハンターな虫たち展	
	チャイロコメノゴミムシダマシ	3,000			エサ用として飼育
	ツヤケシオオゴミムシダマシ	200			エサ用として飼育
	クビアカツヤカミキリ	11	有	迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威	特定外来種(使用許可申請済)
	フサヒゲルリカミキリ	22			生息域外保全モデル事業(国内希少野生動物種)
	クロカタゾウムシ	16	有	生きものタッチ展	
ハンミョウ	6	有	アートな生きもの展		
ハエ目	ショウジョウバエ	3		群数	
	イエバエ	1,000	有	人と虫の衣・食・住展	
ハチ目	クロオオアリ	1		群数	
	ムネアカオオアリ	2		群数	
	クサアリの一種	1		群数	
	セイヨウミツバチ	3	有	ミツバチの飼育での解説用 ショップ販売用ハチミツ採取のため	
サソリ目	ヤエヤマサソリ	22			
サソリモドキ目	ダイオウサソリ	5	有	ハンターな虫たち展	
	タイワンサソリモドキ	6	有	ハンターな虫たち展	
オオムカデ目	トビズムカデ	1	有	ハンターな虫たち展	
	アオズムカデ	1		オオムカデ族の一種から改称	
クモ目	ジグモ	5	有	ハンターな虫たち展	
	ウズグモ科の一種	5	有	ハンターな虫たち展	
	アシダカグモ	2	有	ハンターな虫たち展 衣・食・住展	
	メキシカンピンク(タランチュラ)	1	有	ハンター展な虫たち展	
	ローズヘア(タランチュラ)	1			
ワラジムシ目	オカダンゴムシ	100	有	休憩コーナー うんち展 生物園の母の日展	
有肺目	オナジマイマイ	60			
	ウスカワマイマイ	20			
	ヒタチマイマイ	2			
	ヒダリマキマイマイ	15	有	休憩コーナー	
総種数	105				
総個体数	25,262				

(4) 両生爬虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
無尾目	モリアオガエル	27		両生類展	
	シュレーゲルアオガエル	1			
	トウキョウダルマガエル	10	有	常設展/両生類展	
	ニホンアマガエル	10	有	常設展/両生類展	
	ツチガエル	9		常設展/両生類展	
	サドガエル	3		両生類展	
	ヒキガエル	1	有	常設展/タッチ展/ バレンタイン展/ ふれあい/両生類展	
	アフリカツメガエル	14	有	常設展/両生類展	大型魚類の餌としても利用
	マダラヤドクガエル	8	有	常設展	繁殖の技術試験中
	キオビヤドクガエル	1	有		繁殖の技術試験中
	ヤドクガエル類	8			繁殖個体(F1)雑種の可能性アリ
	ベルツノガエル	1		常設展	
	ヒメアマガエル	2		両生類展	
	ヤエヤマアオガエル	1			
カジカガエル	4		両生類展		
ニホンアカガエル	6		両生類展	ヘビ類の餌としても利用	
有尾目	アカハライモリ	9	有	常設展/ハロウィン展 ふれあい/両生類展	
	メキシコサラマンダー	4	有	常設展/Xmas展	繁殖個体(F1:1個体)
	オオサンショウウオ	1	有	常設展	
	ハコネサンショウウオ	2	有	常設展/両生類展	
	トウキョウサンショウウオ	1			
	トウホクサンショウウオ	3			
	クロサンショウウオ	9		両生類展	
	マーブルサラマンダー	2	有	常設展	
	キバラガメ	1	有		
	クサガメ	2	有	ふれあい/タッチ展 水辺展/出張生物園	
カメ目	スッポン	1	有	常設展	余剰(生体交換の可能性)
	ヤエヤマシガメ	2	有	お正月展	繁殖の技術試験中
	チリメンナガクビガメ	1	有	常設展	
	ニューギニアカブトガメ	1	有	常設展	東京タワー水族館より受取
	カロリナハコガメ	2	有	常設展	
	インドホシガメ	4	有	常設展	繁殖の技術試験中
	ヒョウモンリクガメ	1	有	常設展	
	ケヅメリクガメ	3	有	常設展	
	アカアシガメ	4	有	出張生物園/タッチ展	
	バンクーキリクガメ	2	有	常設展	繁殖の技術試験中
	ウンキウ(イシガメ×クサガメ)	3			
	ニホンイシガメ	18	有	常設展	生息域外保全個体(17匹)
	ニシキマゲクビガメ	2	有	常設展	繁殖の技術試験中
	フトアゴヒゲトカゲ	1	有	常設展	
ミンダナオミズオオトカゲ	1			摘発個体の受取	
トッケイヤモリ	1	有			
ヒョウモントカゲモドキ	8	有	常設展/ふれあい/タッチ展		
オオアオジトカゲ	1	有			
インドシナウォータードラゴン	2	有	常設展		
サキシマキノボリトカゲ	4			繁殖の技術試験中	
ニホンカナヘビ	5		ふれあい		
ヒガシニホントカゲ	2				
バーバートカゲ	1			隠蔽種の可能性あり	
ツシマスベトカゲ	1				
オカダトカゲ	2				
有鱗目	ビルマニシキヘビ	1	有	常設展	
	ミドリニシキヘビ	1	有		余剰(生体交換の可能性)
	ポア・インペラートル	2	有	常設展	ポアコンストラクターから学名変更
	ヒバカリ	1			
	シマヘビ	1			展示個体死亡のため新規導入 ふれあいを予定
	コースタルカーベットニシキヘビ	2			
	ボールニシキヘビ	2	有	常設展、ふれあい	
	ペーレンニシキヘビ	2	有	常設展	繁殖の技術試験中
	カリフォルニアキングヘビ	1	有	お正月展	
	カンムリヘビ	1	有		
	ミルクヘビ	1	有	X'mas展/ハロウィン展	
	アオダイショウ	3	有	常設展/プログラム	
	アカダイショウ	1		プログラム	拾得物の受取
	サキシママダラ	1	有	プログラム	
ナンダ	1			余剰(生体交換の可能性)	
総種数	66				
総個体数	240				

(5) 水族の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
<b>軟骨魚類綱</b>					
メジロザメ目	ドチザメ	1	有	常設展	
ネコザメ目	ネコザメ	1	有	常設展	
<b>条鰭綱</b>					
ガー目	スポッテッドガー	5	有	常設展	
アロワナ目	ピラルクー	2	有	常設展	
	シルバーアロワナ	3	有	常設展・父の日展	
	アジアアロワナ	1			紅尾金龍
ウナギ目	ウナギ	2			
	トラウツボ	1	有	常設展	
	ハワイウツボ	1	有	常設展	
	ニシキアナゴ	1	有	常設展	
ダツ目	チンアナゴ	11	有	常設展	
	メダカ属の一種	2	有		流通名:クロメダカ、ダルマメダカ等
	ヒメダカ	60	有	常設展	宇宙メダカ
カダヤシ目	グッピー	100	有	母の日展・ハロウィン展	
	セイルフィン・モーリー	10	有	常設展	流通名:ゴールデンモーリー
	セイルフィン・モーリー	10	有	常設展	流通名:ブラックモーリー
	サザンプラティフィッシュ	10	有	常設展	流通名:サンセットタキシードプラティ
	サザンプラティフィッシュ	10	有	常設展	流通名:ブルータキシードプラティ
	サザンプラティフィッシュ	10	有	常設展	流通名:ミッキー・マウスプラティ
	コクチモーリー	10	有	常設展	流通名:シルバーライヤーモーリー
	コクチモーリー	10	有	常設展	流通名:ブラックゴールデンライヤーモーリー
	コクチモーリー	10	有	常設展	流通名:ブラッドオレングライヤーモーリー
	コクチモーリー	10	有	常設展	
コイ目	ギンブナ	5	有	常設展	
	キンギョ	1,000	有	常設展・金魚展	
	ゴールデンマハシール	1	有	常設展	
	レッドマハシール	3	有	常設展	
	ブルーフィンカーブ	16	有	常設展	
	ハンパバルブ	3	有	常設展	
	イエローフィンバルブ	3	有	常設展	
	レッドフィンバルブ	6	有	常設展	
	ブラックシャーク	1			
	コイ	2	有	常設展	
	ゼブラダニオ	19	有	常設展	
	ジャイアントダニオ	49	有	常設展	
	モツゴ	30	有	常設展・父の日展・出張展	
	タイリクバラタナゴ	10	有	常設展	
	ガラ・ルファ	150	有	生きものタッチ展	
	ドジョウ	2	有	常設展	
ヒガシシマドジョウ	2	有	常設展		
カラシン目	ネオンテトラ	100	有	常設展・アートな生きもの展	
	ピラニア・ナツテリー	14	有	常設展	
ナマズ目	トランスルーセントグラスキャットフィッシュ	13	有	ハロウィン展	
	ナマズ	1	有	常設展	
	ゴンズイ	12	有	タッチプール	
	ジャウ	1	有	常設展	
	リネロリカリアの一種	1			
	アグアブレコ	2			
コリドラス属の複数種	10	有	常設展		
スズキ目	マンジュウイシモチ	5	有	常設展	
	アマノガワテンジクダイ	3	有	常設展	
	アマミイシモチ	12	有	常設展	
	キンギョハナダイ	5	有	常設展	
	クロサギ	3	有	常設展	
	カゴカキダイ	4	有	常設展	
	ヒメツバメウオ	15	有	常設展	
	テッポウウオ属の複数種	9	有	常設展	流通名:テッポウウオ
	シュートロフェウス・ロンパドイ	10	有	常設展	流通名:ゴールデンゼブラシクリッド
	ラビドクレミス・カエルレウス	3	有	常設展	流通名:スノーホワイトシクリッド
	ネオランブローグス・プリチャージ	30	有	常設展	
	クダゴンベ	4	有	常設展	
	カクレクマノミ	2	有	常設展・父の日展	
	デバスズメダイ	2	有	常設展	
	ミズジリュウキウスズメダイ	5	有	常設展	
	オヤビツチャ	1	有	常設展	
	ルリスズメダイ	2	有	常設展	
	リボンスズメダイ	15	有	常設展	
	ミナミトビハゼ	20	有	常設展	
	ハタタテハゼ	6	有	常設展	
	アゴハゼ	10	有	タッチプール	
	ニクハゼ	7			
	ヨシノボリ属の複数種	5	有	常設展	
	ナンヨウハギ	2	有	常設展	
	リーフフィッシュ	1			
	ヒフキアイゴ	3	有	常設展	
ギンユゴイ	4	有	常設展		
オオカミウオ	1	有	常設展		
フサギンボ	1	有	常設展		
カレイ目	ヌマガレイ	9	有	常設展	
	ユメカサゴ	1	有	常設展	
ヨウジウオ目	サギフエ	30	有	常設展	
	ポッドベリーシーホース	10			
	サンゴタツ	11	有	常設展・父の日展	
	ミドリフグ	17	有	常設展	
	クサフグ	1	有	常設展	
	アベニーパーパー	9	有	常設展	
総種数	88				
総個体数	2,007				

平成30年度 足立区生物園におけるその他の水族生物 年間飼育実績

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
ヒドロ虫綱						
花クラゲ目	エダアシクラゲ	7	有	常設展		
鉢虫綱						
旗口クラゲ目	ミスクラゲ	20	有	常設展		
根口クラゲ目	サカサクラゲ	1				
花虫綱						
イソギンチャク目	ウメボシイソギンチャク	4	有	タッチプール		
	ミナミウメボシイソギンチャク	1	有	タッチプール		
イソギンチャク目	ミドリイソギンチャク	1	有	タッチプール		
	ベニヒモイソギンチャク	10	有	タッチプール		
イソギンチャク目	サンゴイソギンチャク	1	有	タッチプール・常設展		
	ディスクコーラル	20	有	常設展		
イシサンゴ目	チヂミウスコモンサンゴ	1	有			
	シコロサンゴ	1	有			
イシサンゴ目	コエダナガレハナサンゴ	1	有	常設展		
	ナガレハナサンゴ	2	有	常設展		
	コハナガタサンゴ	1	有	常設展		
	ハナガタサンゴ	1	有	常設展		
イシサンゴ目	ヒユサンゴ(オオバナサンゴ)	3	有	常設展		
	マメスナギンチャク属の一種	2	有	常設展		
スナギンチャク目	ヤワタコアシカトサカ	3	有	常設展		
	イハバナ	9	有	タッチプール・常設展		
ウミトサカ目	ムラサキハナツタ	4	有	常設展		
渦虫綱						
多板綱						
多板綱	カリオヒラムシ	11	有	タッチプール		
Chitonida目	ヒメケハダヒザラガイ	1	有	タッチプール		
	ケムシヒザラガイ	12	有	タッチプール		
	ヒザラガイ	1	有	タッチプール		
	ニシキヒザラガイ	1	有	タッチプール		
	クサズリヒザラガイ	2	有	タッチプール		
腹足綱						
カサガイ目	マツバガイ	2	有	タッチプール		
	カラマツガイ	1	有	タッチプール		
アマオブネガイ上目	アマオブネガイ	37	有	タッチプール		
	アマガイ	53	有	タッチプール		
古腹足上目	エビスガイ	6	有	タッチプール		
	ヒラスカシガイ	5	有	タッチプール		
	アンヤガイ	9	有	タッチプール		
	イシダタミ	156	有	タッチプール・出張生物園		
	ナツモモ	11	有	タッチプール		
	ハクシャウズ	1	有	タッチプール		
	ウズイチモンジ	15	有	タッチプール		
	クボガイ	17	有	タッチプール		
	クムコガイ	20	有	タッチプール・出張生物園		
	パテイラ	2	有	タッチプール		
	コシダカガンガラ	1	有	タッチプール		
	ウラウスガイ	20	有	タッチプール		
	スガイ	20	有	タッチプール・出張生物園		
	サザエ	6	有	タッチプール		
	コシダカサザエ	1	有	タッチプール		
	吸殻目	ホシキヌタ	12	有	タッチプール	
ハナヒラダカラ		1	有	タッチプール		
オミナエシダカラ		6	有	タッチプール		
メダカラ		3	有	タッチプール		
タマキビ		10	有	タッチプール		
マガキガイ		52	有	常設展・タッチプール		
ボウシュウボラ		1	有	タッチプール		
カコボラ		2	有	タッチプール		
イノニナ		42	有	タッチプール		
アラムシロ		15	有	常設展		
アカニシ		1	有	常設展		
レイシガイ		18	有	タッチプール		
イボニシ		10	有	タッチプール		
ホソウミニナ		10	有	タッチプール		
コオロギ		8	有	タッチプール		
シマハマツボ		20	有	常設展		
ゴマフニナ	2	有	タッチプール			
キバウミニナ	15	有	常設展			
低位異鰓目	ミスガイ	1	有	タッチプール		
頭楯目	ブドウガイ	20	有	常設展		
	コモンウミウシ	1	有	タッチプール		
	シロウミウシ	9	有	タッチプール		
	サラサウミウシ	6	有	タッチプール		
	アオウミウシ	9	有	タッチプール		
	リュウモンイロウミウシ	6	有	タッチプール		
	クロシタナシウミウシ	2	有	タッチプール		
	マダラウミウシ	1	有	タッチプール		
	ミヤコウミウシ	1	有	タッチプール		
	オトメウミウシ	3	有	タッチプール		
	サメジマオトメウミウシ	1	有	タッチプール		
	ムカデミウミウシ	1	有	タッチプール		
	ヒメメリベウミウシ	2	有	タッチプール		
	ハナミドリガイ	1	有	タッチプール		
	二枚貝綱					
	マルスダレガイ目	カガミガイ	1	有	常設展	
アサリ		10	有	常設展		

多毛類	イトコカイ目	タマシキコカイ	7	有	常設展		
	イソメ目	スコカイイソメ	1	有	常設展		
	ケヤリムシ目	ホンケヤリムシ	2	有	タッチプール		
		ケヤリムシ	1	有	タッチプール		
	スピオ目	ミスヒキコカイ	20	有	常設展		
カマノアヒツキ		2	有	タッチプール			
		ヒヤクメニツボンフサゴカイ	1	有	常設展		
スジホシムシ類	スジホシムシ目	スジホシムシモドキ	1	有	常設展		
カブトガニ類	カブトガニ目	アメリカカブトガニ	2	有	常設展		
軟甲類	等脚目	オオクソクムシ	20	有	常設展		
		イソペラムシ	1	有	タッチプール		
	十脚目	カワリヌマエビ属	20	有	常設展	品種名:レッドビーシュリンプ	
		イノスジエビ	2	有	タッチプール・常設展		
		サラサエビ	1	有	タッチプール		
		アメリカザリガニ	50	有	常設展・出張生物園		
		イセエビ	1	有	常設展		
		ホンドオニヤドカリ	10	有	タッチプール		
		ウスイロサンゴヤドカリ	14	有	タッチプール		
		ユビワサンゴヤドカリ	3	有	常設展		
		ベニワモンヤドカリ	1	有	タッチプール		
		イソヨコバサミ	79	有	タッチプール・出張生物園		
	ツメナガヨコバサミ	10	有	常設展			
	ソメンヤドカリ	3	有	タッチプール			
	インダタミヤドカリ	51	有	タッチプール			
	ケフカヒメヨコバサミ	10	有	タッチプール			
	ホンヤドカリ	75	有	タッチプール・出張生物園			
	ユビナガホンヤドカリ	10	有	常設展			
	ホシソラホンヤドカリ	4	有	タッチプール			
	ケアンホンヤドカリ	15	有	タッチプール			
	ヤマトホンヤドカリ	41	有	タッチプール			
	イソカニタマシ	6	有	タッチプール			
	イボトケガニ	31	有	タッチプール			
	マメコフシガニ	10	有	常設展			
	トゲアシガニ	2	有	タッチプール			
	ショウジンガニ	9	有	タッチプール			
	イワガニ	1	有				
	イソガニ	2	有	タッチプール			
	ヒライソガニ	26	有	タッチプール・出張生物園			
	ヨツハマガニ	11	有	タッチプール			
	タカアシガニ	1	有	常設展			
	イノクズガニ	47	有	タッチプール			
	コワタズガニ	10	有	タッチプール			
	オウキガニ	35	有	タッチプール・出張生物園			
	シワオウキガニ	22	有	タッチプール			
	トガリオウキガニ	27	有	タッチプール			
	トゲオウキガニ	2	有	タッチプール			
	ケフカガニ	1	有	タッチプール			
	ヒツメガニ	4	有	常設展			
	トガリヒツメガニ	1	有				
	スペースマンジュウガニ	5	有	タッチプール			
	イボイワオウキガニ	3	有	タッチプール・常設展			
	クロベンケイガニ	15	有	常設展・出張生物園			
	ベンケイガニ	15	有	常設展・母の日展・夏だ！生きもの育てよう！展・出張生物園			
	ウミユリ類		トラフウミシダ	1	有	タッチプール	
			ニッポンウミシダ	1	有	タッチプール・常設展	
			オオウミシダ	1	有	タッチプール	
	ヒトデ類	マヒトデ目	ヤツデヒトデ	75	有	タッチプール・常設展	
			ヒメヒトデ	3	有	タッチプール	
		アカヒトデ目	オオシマヒメヒトデ	2	有	タッチプール	
			イトマキヒトデ	300	有	常設展・生きものタッチ	
			チビイトマキヒトデ	6	有	タッチプール	
			カワリイトマキヒトデ	100	有	常設展	
			アカヒトデ	54	有	常設展・タッチプール	
		アオヒトデ	2	有	常設展		
	クモヒトデ類	クモヒトデ目	アカクモヒトデ	4	有	タッチプール	
コマチクモヒトデ			1	有	タッチプール		
イソコモチクモヒトデ			100	有	常設展		
トウメクモヒトデ			22	有	タッチプール・出張生物園		
ニホンクモヒトデ			97	有	常設展・生きものタッチ		
ウデナガクモヒトデ			1	有	タッチプール		
ウニ類	ガンガゼ目	アラサキガンガゼ	1	有	タッチプール		
		アカウニ	1	有	タッチプール		
	拱歯目	ムラサキウニ	18	有	タッチプール		
		ツマジロウニ	4	有	タッチプール		
		パフンウニ	22	有	タッチプール		
		アカウニ	1	有	タッチプール		
		コシダカウニ	1	有	タッチプール		
	タコノマクラ目	タコノマクラ	13	有	タッチプール		
	ナマコ類	無足目	ムラサキクマナマコ	2	有	タッチプール	
			イソナマコ	21	有	タッチプール	
マナマコ目 (楯手目)		テツイロナマコ	4	有	タッチプール		
		トラフナマコ	22	有	常設展・タッチプール・うんち展		
		フジナマコ	9	有	タッチプール		
		ニセクロナマコ	20	有	常設展・タッチプール・うんち展		
		アカミシキリ	4	有	常設展		
		オキナマコ	3	有	常設展		
		マナマコ	7	有	常設展・タッチプール・うんち展		
楯手目		ムラサキグミモドキ	12	有	タッチプール		
総種数		167					
総個体数		2,474					

(6) 鳥類・哺乳類の年間飼育種数および頭数のリスト

平成30年度 足立区生物園における鳥類の年間飼育種数

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
鳥類	カモ目	アイガモ	1	有	里山のいきもの	家畜型
		アヒル	1	有	里山のいきもの	
	オウム目	オカメインコ	23	有	オージードーム	
		アキクサインコ	1	有	オージードーム	
		セキセイインコ	1	有	オージードーム	
	キジ目	オヒキチャボ	2	有	ふれあいコーナー、里山のいきもの	
		ゴインチャボ	2	有	ふれあいコーナー、里山のいきもの	
	フクロウ目	ホンドフクロウ	0	有	里山のいきもの	
総種数		8				
総個体数		31				

平成30年度 足立区生物園における哺乳類の年間飼育種数

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
哺乳類	カンガルー目	オオカンガルー	2	有	オージードーム	
		パルマワラビー	2	有	オージードーム	
	ウサギ目	カイウサギ	2	有	ふれあいコーナー	
		テンジクネズミ	37	有	ふれあいコーナー	
	げっ歯目	フクロモモンガ	0	無		
		ヒメハリテンレック	2	無		
		チンチラ	13	有	観察展示室	
		シマリス	1	有	出会いの広場	
	サル目	コモンリスザル	2	有	大温室前室	
	食肉目	ネコ	3	有	きつずルーム	家畜種:雑種
	奇蹄目	ウマ	1	有	ふれあいコーナー	家畜種:ミゼットホース
	偶蹄目	ヤギ	1	有	ふれあいコーナー	家畜種:シバヤギ
		ヒツジ	2	有	ふれあいコーナー	家畜種:コリデール
		ミニブタ	1	有	干支の記念撮影、ふれあいコーナー	家畜種:ポットベリー
	総種数		14			
総個体数		69				

3. 特記事項

(1) チョウ類の月別放蝶実績

今年度は各月 15 種 500 頭以上の放蝶数を達成することができました。以下に各月の放蝶種と頭数の一覧を報告します。

平成 30 年度月別放蝶実績

分類	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	19	127	104	67	56	10	15	7	5	12	17	11	450	
	クロアゲハ	9	103	55	38	60	2	0	1	0	0	0	0	288	
	シロオビアゲハ	33	163	125	44	55	107	10	11	5	0	0	9	562	
	ナガサキアゲハ	110	24	170	17	53	123	5	99	86	20	0	16	723	
	キアゲハ	1	1	0	0	2	11	2	0	2	3	0	0	22	
	カラスアゲハ	0	2	37	25	11	5	3	9	3	2	0	6	103	
	アオスジアゲハ	0	0	0	0	1	1	3	1	1	1	2	0	10	
	ジャコウアゲハ	10	12	39	44	60	19	12	47	5	20	9	50	327	
	ベニモンアゲハ	0	0	0	9	0	0	2	0	0	0	0	9	20	
	ギフチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オナガアゲハ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
	ヤエヤマカラスアゲハ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ミカドアゲハ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	オオゴマダラ	78	113	37	57	69	45	47	21	42	64	55	84	712	
	リュウキュウアサギマダラ	112	37	62	79	28	38	17	11	6	18	108	50	566	
	スシグロカバマダラ	14	10	0	36	10	7	16	0	1	0	0	0	94	
	ヒメアサギマダラ	100	45	63	53	9	32	1	68	9	0	0	3	383	
マルバネルリマダラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
アサギマダラ	0	1	73	70	36	104	8	19	21	0	0	2	334		
ツマムラサキマダラ	15	52	44	16	2	7	1	12	35	1	15	0	200		
タテハチョウ科	ミドリヒョウモン	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	メスグロヒョウモン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ギンポルヒョウモン	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ツマグロヒョウモン	4	0	5	8	168	10	19	24	21	0	0	0	259	
	ヨミスジ	0	18	18	21	19	36	13	1	0	0	0	0	126	
	リュウキュウミスジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	シゲタテハ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	キタテハ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	
	アカタテハ	0	1	15	2	1	1	0	0	0	0	0	0	20	
	ヒメアカタテハ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3	
	ルリタテハ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	6	
	アオタテハモドキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	イシガケチョウ	0	0	0	2	3	0	3	3	32	101	71	38	253	
	タテハモドキ	1	1	9	44	4	12	30	0	0	0	0	0	101	
	ヤエヤマムラサキ	0	0	0	2	0	0	5	0	0	0	0	0	7	
	ヤエヤマイチモンジ	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	リュウキュウムラサキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ヨムラサキ	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	
	ヨムラサキ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	オオムラサキ	0	0	1	6	11	0	0	0	0	0	0	0	18	
	クジャクチョウ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
	サカハチチョウ	0	1	0	0	1	23	0	0	0	0	0	0	25	
	アサマイチモンジ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ゴマダラチョウ	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	テングチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	カバタテハ	0	0	52	43	10	5	43	4	4	2	7	0	170	
	リュウキュウヒメジャノメ	11	18	5	6	7	0	80	0	76	133	117	57	510	
ヒメジャノメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
サトキマダラヒカゲ	0	0	1	0	14	0	1	57	0	0	0	0	73		
ヤマキマダラヒカゲ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
ウスイロノマチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
クロノマチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
クロヒカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
シロオビヒカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
コジャノメ	2	0	5	12	7	0	0	0	0	0	0	0	26		
ヒメウラナミジャノメ	0	0	14	105	60	3	39	0	43	4	22	23	313		
マサキウラナミジャノメ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
ジャノメチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
シロチョウ科	モンシロチョウ	15	101	34	35	46	1	3	36	4	4	3	0	282	
	スシボロヤマキチョウ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
	スシグロシロチョウ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
	ツマキチョウ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	モンキチョウ	1	14	49	12	0	1	7	0	0	0	0	11	95	
	キタキチョウ	125	121	41	61	18	8	53	47	54	57	22	38	645	
	クロテンシロチョウ	39	54	46	38	15	4	0	14	46	47	49	78	430	
	ツマベニチョウ	84	62	41	25	28	0	111	8	20	19	3	2	403	
	ナミエシロチョウ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	ムラサキツバメ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
ジミチョウ科	ルリジミ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	
	コツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツバメジミ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	ベニジミ	0	23	8	15	10	0	2	0	0	0	0	0	58	
	ウラナミジミ	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	4	
	ヤマトジミ	3	6	4	1	10	0	10	0	0	0	0	2	36	
	ウラギンジミ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ツンマウラボシジミ	103	0	77	21	0	0	120	0	0	0	0	0	321	
	セセリチョウ科	キマダラセセリ	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		チャバネセセリ	0	1	0	0	0	3	3	4	0	0	0	0	11
オオチャバネセセリ		0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
コチャバネセセリ		0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	
ミヤマセセリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
ダイミョウセセリ		0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	5	
イチモンジセセリ		0	1	0	4	3	7	13	28	0	0	0	0	56	
合計種数		23	31	33	39	45	33	37	24	23	17	15	27	72	
合計頭数	906	1119	1243	1028	903	631	703	534	522	508	501	503	9101		

## (2) ホタルの飼育展示実績

今年度、水生ホタル類 2 種（ゲンジボタル、ヘイケボタル）の観賞会において、以下の通り各種個体数を展示することができました。

### 平成 30 年度 夏のホタル観賞会（夏季）の展示頭数

	6/16	6/17	6/23	6/24	6/30	7/1	7/7	7/8	計
ゲンジボタル	100	100	50	50	30	30	10	10	380
ヘイケボタル	20	20	50	50	80	80	90	90	480

※合計は延べ展示数

### 平成 30 年度 冬のホタル観賞会（光の祭典）の展示頭数

	12/1	12/2	12/8	12/9	12/15	12/16	12/22	12/23	12/24	12/25	計
ヘイケボタル	30	30	30	30	40	40	60	60	60	60	440
オオシマドボタル	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	300

※合計は延べ展示数

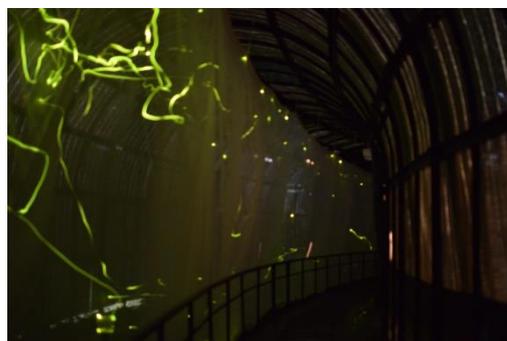
### 平成 30 年度 昼間ホタル観賞会（冬季）の展示頭数

	1/2	1/3	1/4	1/5	計
ヘイケボタル	70	70	70	70	280
オオシマボタル	0	0	0	0	0

※合計は延べ展示数

## (3) 「ホタルの夕べ」の実現

今までホタルの大型展示イベントは室内型の「ホタル見 night!」を行っていましたが、今年から屋外型でより大規模な「ホタルの夕べ」を開催いたしました。飼育面ではこの展示に備え、より大規模な飼育を行い、展示期間中 500 匹以上のホタルを展示することができました。



### 平成 30 年度ホタルの夕べ展示実績

	6/7	6/8	6/9	6/10	計
ゲンジボタル	500	500	500	500	2,000
ヘイケボタル	20	20	20	20	80

※合計は延べ展示数

また屋外の展示場所として昆虫ドームを再整備しました。外灯などの周囲の明かりを遮り、ホタルの飛翔に十分な暗さを保つために、暗幕としてドームの外側を農業用防草シートで覆いました。ドーム内は観覧者とホタルを仕切るために大型の蚊帳を設置しました。

暗いドーム内を歩くお客様への配慮として、



ぶつかる危険性のある箇所の突起部分を緩衝材で養生しました。また手すりのない場所はロープで延長し、伝いながら進めるようにしました。

#### (4) フサヒゲルリカミキリの生息域外保全モデル事業について

環境省からの依頼を受け、今年度よりフサヒゲルリカミキリの生息域外保全モデル事業を開始しました。6月5日より幼虫22個体を譲り受け、飼育を開始しました。同日に飼育技術移転を目的とした勉強会を実施し、管理方法を学びました。3月時点で13個体の幼虫を管理しています。

また、同事業に取り組んでいる伊丹市昆虫館の職員と10月23日に飼育技術交流会を実施しました。管理方法の確認や課題を話し合い、今後の管理の方針を決定しました。

#### (5) 観察展示室「ジャングルの世界」の改修

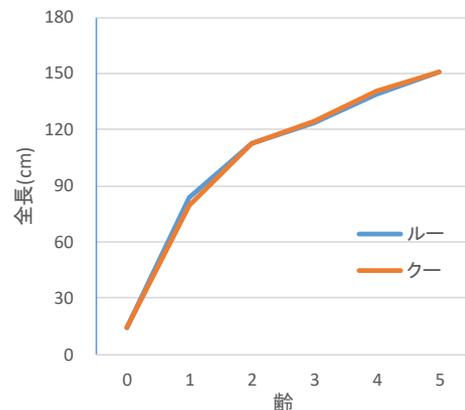
老朽化のため漏水が多発していた観察展示室「ジャングルの世界」の展示改修を行いました。本展示では特定動物であるビルマニシキヘビを展示するため安全性に優れることはもちろん、大型魚類やカメ類など複数の生物との混生展示を行える設備を設置しました。工事後には新たにニューギニアカブトガメや東南アジアの大型コイ類6種を導入し、アジアの湿潤な河川環境を再現しました。



#### (6) ピラルクーの成長実績

昨年度に引き続きピラルクー（個体名：ルー、クー）の成長を記録しました。導入当初想定していた成長限界の150cmを超え、両個体共に151cmまで成長しました。今後も給餌量を調整してさらなる成長を目指します。

また今年度は赤色の発色を促すために特殊な餌料を追加しました。その結果、身体全体に発色が広がりました。今後も継続して給餌し、個体の魅力向上を図ります。



年齢ごとのピラルクーの全長変化



ルーの発色状況(2018年4月11日)



ルーの発色状況(2019年3月13日)

(7) コモンリスザルのオス個体導入

昨年度までコモンリスザルはメス1個体のみ飼育していましたが、今後の繁殖も視野に入れ、今年度はオス個体を導入しました。今後は群れで生活する「行動展示」と個体繁殖を目標として飼育を行います。



(8) オオカンガルーのメス個体導入

生物園開園25周年のお祝いとして、埼玉こども自然動物公園から、オオカンガルーの雌個体を譲受しました。最初は環境の変化に戸惑う様子も見受けられましたが、放飼回数を増やすことで徐々に適応していくよう試みています。今後は、雄個体とのお見合いを実施し繁殖に繋げると共に、仕切り柵などの飼育環境を整えていきたいと考えています。



(9) 干支の生きものと記念撮影

2019年の干支である「亥」の近似種としてミニブタをリースで導入しました。記念撮影のプログラムの他に、干支の引継ぎ式や、ごはんの時間などにも登場し、そのかわいらしい姿が来園者から人気を博しました。現在の環境では継続飼育は困難であるため、今後ふれあいコーナーリニューアルを検討していく中で、改めて導入を検討したいと考えます。



## 第三章 施設維持管理業務

### I 元湊江公園の維持管理業務

#### 1. 公園管理上の留意事項

本共同体は、元湊江公園の維持管理業務を遂行するにあたり、「元湊江公園・生物園管理運営業務仕様書」に基づき、以下の点に留意し、適正かつ、適切な公園の維持管理に努めました。

- 日常及び定期的な施設の点検と修繕、清掃などの保守管理を適切に行うとともに、遊具や工作物の故障、台風や降雪等、休園日・夜間においても緊急時に迅速に対応できる体制を確保すること。
- 公園内の見回りを行い、他の公園利用者や近隣住民等の迷惑や危険となる行為については、適正かつ安全な利用を行うよう指導すること。  
(特に喫煙や犬のノーリード、バイクの乗り入れ、草地広場のボール遊びなど)
- 不審者・不審物の発見に努め、不法占拠等、不適切な利用が確認された場合は、公園管理者として撤去、退去を指導すると共に、必要に応じて区と協議し、必要な措置をとること。

#### 2. 公園維持管理業務の主な内容

##### ① 公園内清掃作業

園内は毎日、拾い清掃や掃き清掃を適宜組み合わせて行いました。園路・広場、園地の清掃を行い、常に園内をきれいな状態に保つことに努めました。公園外周道路の落葉やゴミについても清掃範囲にふくむものとし、定期的に外周清掃を行いました。またトイレは毎日水洗いを行い、衛生面に配慮した清掃を行いました。ゴミは分別を行ったうえで所定箇所に集積し、適切に処理をしました。その他公園入口の噴水モニメントや集水桝など適宜高圧洗浄等を行い、美観の保持に努めました。

##### ② 樹木管理

来園者の安全を最優先事項とし、枯枝の有無を日常的に点検し、発見次第速やかに撤去を行いました。樹木の剪定や刈り込み時は、樹木特性に応じて最も適切な時期と方法で行いました。高木に関しては定期的に高所作業車を使用し剪定や間引き作業などを、計画的に行いました。園内で発生した剪定枝等は定期的にチップ化して遊具広場を中心に敷き均すなど園内リサイクルに努めました。

##### ③ 病虫害防除及びカラスの巣撤去

病虫害防除にあたっては早期発見に努め、剪定防除、補殺等により行いました。定期的に点検を行ったので、薬剤を使用する必要はありませんでした。

カラスの巣に関しましては、東京都に鳥獣捕獲申請を行い、対応出来る体制を整えておりましたが、予防策として取り組んでいたカラスが巣を作りやすい樹木の枝抜き剪定を強化した結果、今期は巣を作られる事はありませんでした。

#### ④ 植込み地及び草地管理

公園利用者の憩いと安全に配慮し、定期的に除草、草刈りを行いました。来園者が公園を快適に利用できるように、草の刈り高を少し高めに設定し、埃が立ちにくいように配慮しました。草地広場のうち、草地Aについては年5回程度均一に機械刈りを行い、草地Bについては、半面ずつ交互に刈込み、「いきもの原っぱ」として昆虫などが生息出来る環境づくりに努めました。半面を交互に年5回程度機械刈りを行いました。また草地A、B以外の草地については、年5回程度均一に機械刈りまたは除草を行いました。(図1参照)。刈草は基本的には刈放しとしましたが、状況に応じ場外処分としました。A、B以外の草地は公園利用者の利用状況やイベントに合わせた作業を行いました。



(図1)

#### ⑤ 花壇管理

公園正面の花壇及び庭園内プランターは、季節に応じて年間3回、草花の植付けを行いました。植え付け後は定期的に花柄摘みや灌水をボランティアさんと一緒に行い、景観の維持に努めました。公園正面入口花壇は、来園者の方を迎え入れるスペースとして、花の色は華やかなものを選び植え付けました。また草花の植え替え時には種名板を毎時更新し、草花の名前や特徴を来園者にお知らせしました。

#### ⑥ 遊具点検

月1回、定期的を目視、触診等による遊具及び工作物の点検を行い、ボルトナットの増し締め、滑り止めや緩衝材の取り付け、グリスアップ、消耗部品の交換などを行いました。また毎日の遊具広場の清掃作業時も目視による点検を行い、安全管理を心掛けました。その他年1回、区が委託する専門業者による点検を行い、点検結果に従い速やかに修繕を行いました。

⑦ つり池清掃・釣り池噴水装置点検

水面のゴミや落葉等を網等で随時除去しました。鯉、鮒の死亡数、水温を毎日記録し、月報に添付し報告しました。また釣り池内に設置してある循環ポンプも適宜清掃点検を行いました。釣り池の水を循環させる「せせらぎ水路」も定期的に清掃し、釣り池の水質維持に努めました。

※元渚江公園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「平成30年度施設維持管理業務年間報告(元渚江公園)」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

3. 平成30年度 施設管理業務実施報告（元湊江公園）

作業内容	実施回数											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園維持管理	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
噴水モニュメント高圧洗浄	適宜			10日	29日							
樹木剪定	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
枯枝撤去	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
落葉清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
剪定枝・枯れ枝・チップ化	適宜	適宜	適宜	2日～6日			散布				6日～8日	
病害虫駆除	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
カラスの巣 撤去	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
除草	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
花壇植栽・管理	除草 灌水 適宜	除草 灌水 10日・適宜	適宜	適宜	適宜	13日・適宜	適宜	適宜	6日・適宜	適宜	適宜	適宜
遊具日常点検	28日	26日	30日	28日	26日	29日	27日	24日	30日	28日	23日	23日
釣り池 清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
釣り池 噴水装置清掃	11日											
公園内 補修	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
スミラブ発砲錠投与	23日	25日	25日	31日	31日	28日	29日					
公園機械設備 甲府ビルサービス			9月に変更			12日・13日						
公園照明巡回点検				31日					31日			
	計画	適宜	適宜	除草	実行	灌水	仕様の予定					

#### 4. 公園維持管理作業の様子

##### ■公園内清掃作業

落葉、ゴミ、トイレなどの清掃作業 公園外周の清掃 排水口の清掃など



##### ■噴水モニュメント高圧洗浄

高圧洗浄機を使用しての洗浄作業 噴水雨水ピットの清掃



## ■ 樹木剪定

樹木の特徴に合わせて適期に剪定作業を行う。樹木の大きさによっては高所作業車を使用した。



## ■ 枯枝撤去

日常の巡回作業を行い、発見次第剪定、伐採作業で随時対応した。



■剪定枝・枯枝・チップ化

公園内で発生した剪定枝や枯枝をチップ化して公園内に敷きならす。緑のリサイクルを実行した。



■除草

刈払機や手作業での除草作



## ■花壇植栽・管理

年間3回の植え替え作業を実地した。日常管理として花柄摘みや灌水作業などを行い維持管理に努めた。



## ■遊具日常点検

毎月1回定期遊具点検の対応



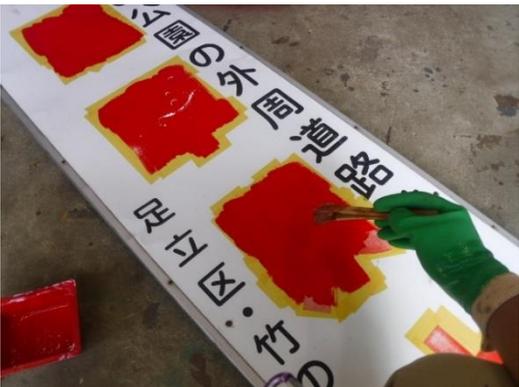
■釣り池清掃 噴水装置清掃

水面のゴミや落葉等の清掃や、釣り池内の噴水の洗浄を行った。状態を確認し、必要に応じて水中ポンプを解体し清掃を行った。



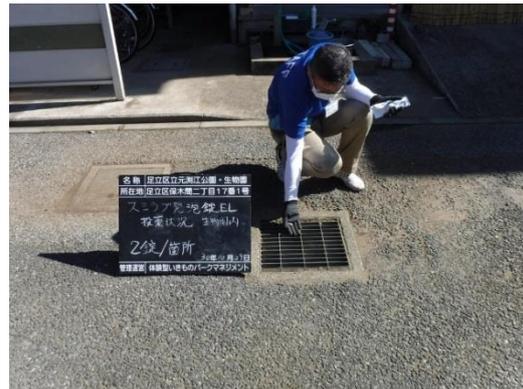
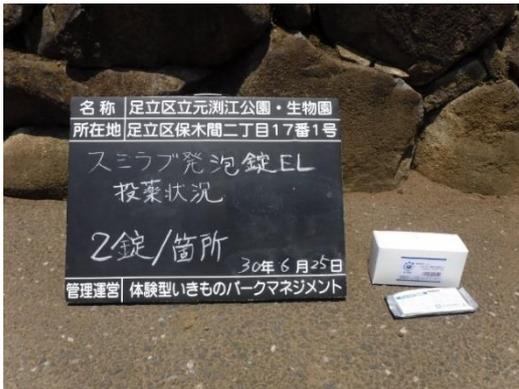
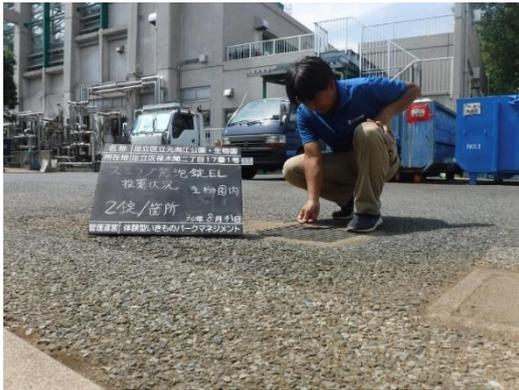
■公園内 補修

日常点検を行い修繕の対応を行った。



## ■スミラブ発砲銃投与

4月から10月まで毎月1回投与を行った。(2銃/箇所)



## Ⅱ 生物園の維持管理業務

### 1. 生物園維持管理業務の内容

#### ① 館内清掃

利用者が施設を気持ちよく利用できるよう、定期清掃、日常清掃、メンテナンスを計画的に実施し、常に館内の美化及び衛生管理に努めた。

#### ② 植物管理

各種熱帯植物や雑木、野草、水生植物等についてその特性や生態的役割について十分理解し、剪定、除草、間引等必要な作業を適宜行った。また来園者が生物を安全に観察しやすいように管理を行った。

#### ③ 機械設備

日常及び定期的な施設点検を行い、施設及び工作物の適正な維持管理に努めた。毎日温度や機械数値のデータを観測し、異常の有無を早期発見出来るようにして施設の異常が発見された場合は、速やかに修繕し対応した。

維持管理の仕様は、特記仕様書のほか東京都建設局「設備保守標準仕様書」及び「足立区維持保全業務標準仕様書」に基づき実施した。

※生物園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「平成30年度施設維持管理業務年間報告（生物園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

## 2. 平成 30 年度 施設管理業務実施報告（生物園）

作業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
館内清掃	実施回数												
定期清掃	6回												
丸三興業		9日		11日		9月に変更	10日	9日	12日	10日		12日	
大温室ガラス清掃	1回												
フジメンテニール		28日・16日・23日											
除塵	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
各所水拭き・洗剤拭き	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
ゴミ収取	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
消耗品補充	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
植物管理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
散水	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
剪定	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
除草	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
間引き	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
補植・植替等	適宜					適宜	適宜	適宜				適宜	適宜
機械設備		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エレベーター	毎日【遠隔監視】	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
	毎月【遠隔診断】	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
日立ビルシステム	4回【有人点検】	16日			17日			22日			21日		
自動ドア													
子ボシステム	2回						10日						4日
消防用設備													
吉田防災	2回						18日						11日
機械警備	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
モコム													
自家用電気工作物													
村山電気	毎月	8日	11日	9日	8日	11日	8日	8日・15日	10日	8日	12日	10日	9日
吸収式冷温水機(ガス焚)													
甲府ビルサービス	2回			12日						11日			
温水ボイラー													
甲府ビルサービス	3回						13日				22日		14日
湧水・排水槽													
甲府ビルサービス	1回			4日									
電話													
甲府ビルサービス	2回				12日						22日		
自動制御設備総合点検													
甲府ビルサービス	1回											28日	
環境測定													
甲府ビルサービス	6回		24日		12日		13日		6日		22日		14日
グリストラップ													
丸三興業	3回			4日				29日				1日	
第二種 ヘッター	1回							31日					
第二種 密閉式膨張タンク	1回				27日								
ポンプ類	1回					14日							
空気調和機 AHU	2回					18日					24日		
ファンコンベクター 19基	2回					21日					26日		
エアコン 空調機 24基	2回					9月に変更	20日				25日		
排気ファン	1回										24日		
加熱冷却ユニット	2回				28日			31日					
ポンプ類(雑)	1回							31日					
天窓・自動	1回									31日			
フィルター洗浄	6回	28日		30日		25日		11月に変更	30日	29日		14日	
クーリングタワー	4回	12日		30日	31日		28日		30日				
定期巡回点検	毎月	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
塩素除去装置	4回			30日				29日			22日		31日
		11日	適宜		除草		実行		灌水		書類の予定		

### 3. 生物園維持管理作業の様子

#### ■各所水拭き、洗剤拭き

モップによる水拭き、洗剤を用いたのポリッシャー掛け、高圧洗浄など



#### ■ゴミ収取、消耗品補充

毎日の基本作業



■除塵、清掃作業

館内、庭園内、大温室のゴミの清掃



■除草

庭園や食草温室周りの除草作業



■ 灌水

大温室、庭園、食草温室の灌水作業 スプリンクラーが届かない部分の手灌水。



■ 剪定作業

大温室や庭園の剪定作業 閉園後や休園日に作業を行いチョウなどの昆虫に適した環境を創り出す。



■間引き、植え替え、補植

食草温室や大温室、庭園での間引き作業や植え替え、補植作業

